資料１

「参画と協働」に関する審議の進め方について

１　審議経過

前期（第 11 期）県民生活審議会では、下記調査審議を実施

- 参画と協働の更なる展開に向けた調査審議
- 「参画と協働」関連施策の年次報告に関する審議
- 推進状況のフォローアップ

２　第 12 期県民生活審議会（県民生活部会）の審議内容

前期の審議過程を踏まえ、参画と協働の更なる展開に向けた調査審議等を継続して実施し、次期「参画と協働の推進方策」（2021～2025）の策定につなげる。

（県は、平成 28 年３月に「参画と協働の推進方策」を改訂（運用期間：平成 28 年度～32 年度）。同方策に基づき、「参画と協働」関連の諸施策を展開している。）

第 11 期県民生活審議会（県民生活部会）での検討概要（論点）

地域社会の課題

個人・家庭への支援機能（共助機能）の脆弱化／地域の活力の低下

重点方向　住民主体の地域づくりを進めるためには、
地域力（課題解決力＋人材確保・養成力）強化が必要

地域ｺﾐｭﾆﾃｨの課題解決力を高める仕組み

- 多様な主体と協働する力
- 事業を展開する力
- 情報収集・発信する力
- 地域を持続的に運営する力

地域ｺﾐｭﾆﾃｨの人材確保・養成力を高める仕組み

- できる時にできる方法で関わる仕組み
- 参加・スキルアップのきっかけづくり
- 若者等がチャレンジできる機会や雰囲気
- 何かしたいときに気軽に立ち寄れる拠点

ふるさと意識＝地域への愛着と誇り＋帰属意識

今後の検討課題　**住民主体の地域づくり・地域運営と、個人との関係**

価値観やﾗｲﾌｽﾀｲﾙが多様化した現代社会において、地域社会への参加義務や、住民による自治組織（自治会やまちづくり協議会等）の性格をどのように位置づけるか

論点例
- 義務付けの可否：「ただ乗り」（ﾌﾘｰﾗｲﾄﾞ）を防ぐため、地域活動への参加や費用負担を求める仕組み
- 住民代表性：自治会やまちづくり協議会が住民の意思を代表しているとみなすための要件
- 法 人 制 度：住民自治組織と既存法人制度（認可地縁団体、ＮＰＯ等）との関係

第 12 期県民生活審議会（県民生活部会）の審議スケジュール

年度	参画と協働の更なる展開に向けた調査審議	年次報告（参画協働条例（※1）第 11 条第２項）	参画と協働の推進方策（2021～2025）（参画協働条例第６条第４項、第８条第３項）
平成30年度	第１回全体会（10/19） ・審議事項に係る意見交換 ↓ 第１回部会（2/18） ・ゲストスピーカー報告① ・審議事項に係る意見交換		
令和元年度	**第２回部会（6/27）** **・ゲストスピーカー報告②** **・提言に係る意見交換** ↓ 県民意識調査・ボランタリー活動実態調査結果 ↓ 第３回部会（２～３月） ・提言の骨子検討	**第２回部会（6/27）** ・H30 参画と協働関連施策年次報告	
令和２年度	第４回部会（５～６月） ・提言とりまとめ 第 13 期県民生活審議会(R2.10/19～) １回部会（R3. ２月） ・提言とりまとめ	第４回部会（５～６月） ・R1 参画と協働関連施策年次報告	第４回部会（５～６月） ・参画と協働の推進方策の改定について意見交換 第１回部会（R3. ２月） ・参画と協働の推進方策とりまとめ パブリック・コメント手続

※１　参画協働条例＝県民の参画と協働の推進に関する条例
※２　上記のほか、「県民ボランタリー活動の促進のための施策の推進に関する基本方針」の改定が必要な場合は、県は本審議会の意見聴取を行う（県民ボランタリー活動の促進等に関する条例第６条第３項）。

〔参考〕参画と協働の推進方策（運用期間：平成 28 年度～32 年度）の概要

(1) 性　格

参画協働条例に基づく「地域づくり活動支援指針」及び「県行政参画・協働推進計画」として一体的に策定

(2) 内容（方向性）

ⅰ　地域づくり活動の支援の方向（地域づくり活動支援指針）

①　情報提供・相談体制整備　　②　知識・技能の習得機会提供
③　活動・交流拠点確保　　④　人材確保
⑤　資金調達支援　　⑥　連携支援

ⅱ　参画と協働による県行政推進の方向（県行政参画・協働推進計画）

①　情報公開の推進　　②　政策形成への参画機会確保
③　協働事業の機会確保　　④　評価・検証への参画機会確保

資料２－１

みんなが主役
“ふるさと兵庫”

平成３０年度　参画と協働関連施策の年次報告（案）

兵庫県マスコット　はばタン

令和元年７月
兵　庫　県

～ 目　次 ～

Ⅰ　「参画と協働」とは---------- 1

Ⅱ　参画と協働関連施策の推進状況---------- 2

1　地域づくり活動の支援---------- 3
①　情報提供・相談体制整備---------- 3
県政 150 周年記念事業の実施---------- 6
②　知識・技能の習得機会提供---------- 8
③　活動・交流拠点確保---------- 10
④　人材確保---------- 12
⑤　資金調達支援---------- 14
⑥　連携支援---------- 16
2　県行政への参画と協働の推進---------- 18
①　情報公開の推進---------- 18
②　政策形成への参画機会確保---------- 18
③　協働事業の機会確保---------- 19
④　評価・検証への参画機会確保---------- 20
⑤ その他（市町における参画と協働の取組状況）---------- 20

[参考]
県民の参画と協働の推進に関する条例---------- 21

資料編（別冊）
※　全施策の概要については、資料編（別冊）をご参照ください

Ⅰ 参画と協働とは

「参画と協働」とは、わたしたち一人ひとりが、自分たちの地域を住みやすくするために、知恵やアイデアを出し合い、みんなで力を合わせて地域の課題解決に主体的に取り組んでいくことです。少子高齢化や人口減少が進み、地域課題が複雑・多様化する中、地域創生の取組をはじめ、元気で豊かな地域社会を築いていくためには、「参画と協働」が欠かせません。

兵庫県は、今後とも社会の変化を的確に捉え、常に時代の先を見据えた地域づくりを進めていくため、「参画と協働」を基本姿勢とする県政を展開していきます。

○県民の参画と協働の推進に関する条例

兵庫県では、県民の地域づくり活動や県行政への参画と協働を促進するため、参画と協働のあり方や基本理念等を明らかにした「県民の参画と協働の推進に関する条例（以下「参画・協働条例」という。）」を平成 15 年４月から施行しています。

〔参画と協働の２つの場面〕

地域づくり活動
（県民と県民のパートナーシップ）

住みやすい地域づくりのため、県民の皆さんが知恵や力を出しあって、地域のことをみんなで考え、力を合わせて、取り組むことです。

※「地域づくり活動」は、地域社会の共同利益の実現のための活動です。

県行政への参画と協働
（県民と県行政のパートナーシップ）

県民と県行政が、地域の課題や情報を共有し、共に考え、共に取り組むことです。

地域づくり活動支援指針

県民の参画と協働による地域づくり活動の拡がりに向けた県の支援施策の展開方向等を明らかにしたもの

① 情報提供･相談体制整備
② 知識･技能の習得機会提供
③ 活動･交流拠点確保
④ 人材確保
⑤ 資金調達支援
⑥ 連携支援

県行政参画・協働推進計画

県民の視点に立った参画と協働による県行政を推進するため、県の施策の展開方向等を明らかにしたもの

❶ 情報公開の推進
❷ 政策形成への参画機会確保
❸ 協働事業の機会確保
❹ 評価･検証への参画機会確保

○参画と協働関連施策の年次報告

参画と協働の推進に関する兵庫県の取組状況を、県民の皆さんにお伝えするとともに、これからの取組について考えるきっかけとなるよう、参画・協働条例第 11 条の規定に基づく年次報告を作成しています。

年次報告を参考に、自治会、婦人会等の地域団体、ボランティアグループ、ＮＰＯ法人、企業、学校など、様々な活動主体が「参画と協働」の考え方を共有し、明日の兵庫づくりに向けた取組の輪が広がっていくことを期待しています。

Ⅱ 参画と協働関連施策の推進状況

平成 30 年度も、県民の参画と協働を推進するため、621 施策を実施しました。
○地域づくり活動の支援については、地域創生や県政 150 周年記念事業など 449 施策を実施。事業分野別では、「まちづくり」が 148 施策（33%）と最も多く、「環境保全」が 58 施策（13%）、「農山漁村振興」が 39 施策(9%)の順となっています。
○県行政への参画と協働の推進については、①情報公開の推進、②政策形成への参画機会の確保、③協働事業の機会確保など 172 施策を実施しました。

＜分野別の施策数＞

■地域づくり活動の支援に関する施策

項　　目	施策数
① 情報提供・相談体制整備 ＊地域づくり活動に関する情報をわかりやすく提供 ＊活動の段階に応じた幅広い相談に対応	62
② 知識・技能の習得機会提供 ＊実践活動につながる知識や技能の学習機会を充実	99
③ 活動・交流拠点確保 ＊身近な活動拠点や地域の「たまり場」づくりを支援	41
④ 人材確保 ＊活動に参画・協賛する人材を確保 ＊活動団体の担い手を確保 ＊地域活動に取り組む多様な主体を育成	163
⑤ 資金調達支援 ＊活動の立ち上げと自立に向けた財政的支援を実施 ＊活動資金を生み出す仕組みづくりを支援	15
⑥ 連携支援 ＊人や活動のネットワーク形成 ＊地域を越えた連携・交流を促進	69
合　　計	449

■県行政への参画と協働を推進する施策

項　　目	施策数
① 情報公開の推進 ＊主体的に選択できる情報を提供	13
② 政策形成への参画機会確保 ＊県民提案の具体的な取組の推進 ＊審議会などへの県民の参画機会の拡充	23
③ 協働事業の機会確保 ＊公民協働の取組の拡充	125
④ 評価・検証への参画機会確保 ＊県行政の評価・検証への県民参画の促進	11
合　　計	172

1 地域づくり活動の支援

県では、県民の主体的な地域づくり活動を広げ、支えるための多様な支援施策を実施しました。これらの中から、平成 30 年度の主な取組事例を紹介します。

1 情報提供・相談体制整備

情報提供の充実

ＩＣＴ利活用の普及が進み、多くの人がインターネットにより様々な情報にアクセスし、ＳＮＳ等で情報の発信・共有を行う環境が整備されつつある一方で、ボランティア活動への参加や地域づくり活動の展開を妨げる要因に情報不足があげられています。

そこで、インターネットやＳＮＳ等の情報の即時性、拡散性をもった媒体を活用し、ひょうごのイメージづくりや地域の魅力、地域創生に関する情報に加え、地域づくり活動への関わりを促進し、ふるさと意識の醸成につながる情報を発信しました。

【ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ利用率】20～50 代 96.6%、60 代 76.6%、70～80 代 36.3%（通信利用動向調査・総務省(H30)）
【ボランティアの参加に妨げとなる要因】
・活動に関する十分な情報がない　39.8%[２位]（市民の社会貢献に関する実態調査・内閣府」(H28)）
【活動を展開する上での課題】
・情報不足等による活動内容のマンネリ化 54.3%　（県民交流広場アンケート（H30））

『ひょうご五国の地域創生』の広報展開

各種メディアを活用し、他府県との差別化を図りつつ、年齢層・地域ごとのＰＲを行い、地域間交流等を通じて兵庫県への移住・定住に直結する広報を重点的に展開

○メディアを活用した交流促進

①地域創生インスタグラム
(https://www.instagram.com/love_hyogo/)
〔フォロワー約 14,000 人、いいね件数約 1,500 件〕
・県政 150 周年記念を通じたフォトコンテストの開催

②マスメディアの取材誘致（地域創生版ファムトリップ等）

③フリーペーパー・WEB 等広告掲載
（若者向け）WEB 広告、フリーペーパーによる大学 PR
（ファミリー層向け）各戸配布型新聞広告
（シニア層向け）ラジオパーソナリティによる五国 PR、新聞広告

兵庫県公式 instagram ｱｶｳﾝﾄ
love_hyogo

【フォトコンテストの開催】
「兵庫県公式地域創生インスタグラム(love_hyogo)」のフォロワーが 10,000 人を突破したことを記念し開催（応募：10 万点以上、lovehyogo 大賞 5 点、県政 150 周年記念特別賞 5 点、lovehyogo 賞 10 点）

【観光部門】
chigusa.66tenさん
別宮の棚田（養父市）

【風景部門】
nomad0451さん
新舞子海岸（たつの市）

【ｽｲｰﾂ･ｸﾞﾙﾒ部門】
van.suu3346さん
魚の棚･タコ（明石市）

【ｽｲｰﾂ･ｸﾞﾙﾒ部門】
fumiy0_234さん
生しらす丼（淡路市）

【イベント部門】
takupocho さん
東光寺田遊び・鬼会(加西市)

ホームページや SNS（Facebook、Twitter、Instagram 等）を活用した情報提供

県政情報や地域の魅力等に関する情報をインターネットの媒体を通じて積極的に発信

〔具体の取組〕

兵庫五国連邦ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（U5H＝United 5koku of HYOGO）の実施

「五国」の地域性や内面的な個性・違いを切り口に、県民みんなの声で地域の魅力を再発見していくプロジェクト。WEB 上で広く「五国あるある」を募集。地域で共感を得られるような漫画を作成し、WEB とポスターで紹介

U5H ホームページ　https://u5h.jp/

五国あるある
一例（播磨）

はばタンなび（ facebook ）
https://www.facebook.com/habatannavi

あいたい兵庫（ Twitter ）
https://twitter.com/Hyogo_Tourism

ひょうごの景観ﾋﾞｭｰﾎﾟｲﾝﾄ 150 選（ Instagram ）
https://www.instagram.com/hyogoview150

『ひょうご e-県民制度』の推進（新規）

兵庫県にゆかりのある方（出身者、県内大学・高校の卒業生、勤務経験者、関心のある方等）とのネットワークをつくり、日々の情報交流や将来の移住につなげる取組。登録者には、ふるさと情報の提供、②兵庫県産品の購入、③県内地域との交流促進など県民証を通じた様々なサービスを提供するとともに、積極的な広報展開により登録者の拡大を推進（平成 31 年 3 月末時点、登録者数約 2,100 人）

〔取組例〕

①希望する地域・イベント等の情報提供
　e-県民アプリによる配信（令和元年 10 月稼働予定）
②県産品インターネットモールを開設し、独自ポイントを付与（令和元年 9 月稼働予定）
③ポスター、チラシ、東京駅構内でのデジタルサイネージ等に著名人を起用、県内外にて積極的に広報を実施
④県外イベントでの PR
⑤その他本県関連施設や発行物等による広報展開

ひょうご e-県民証

デジタルサイネージ

「兵庫 2030 年の展望」の推進（新規）

県政 150 周年を契機として、これからの兵庫のめざす姿を示し、今後の地域づくりの基本方針とするため、平成 30 年 10 月「兵庫 2030 年の展望」を策定

時代潮流や地域課題への理解を深め、展望で描く兵庫の未来を考えるきっかけとするため、次の取組を実施

①各地域ビジョン委員・地域住民との展望実現に向けた地域別意見交換会を実施(10 地域、約 720 名参加)
②高校等への展望出前講座を実施（12 回、約 1,000 名参加）
③若者向けリーフレットを作成・配付、ひょうごチャンネルにおける展望の紹介映像「2030 君が輝くひょうご」配信を実施

2030 君が輝くひょうご

相談体制の充実

NPO 法人やボランティア団体等の活動促進・取組の拡充には、団体への情報提供や活動相談に応じる等の支援体制が必要とされています。

また、移住・定住者が新たな地域活動の担い手として注目されており、県内への移住・定住を促進するために、希望者のニーズに応じた情報提供、しごとや住まいなどの関係機関が連携した総合的な相談体制が求められます。

そこで、ひょうごボランタリープラザやカムバックひょうごセンター等において、利用者の状況に応じた相談対応など、支援体制の促進を図りました。

【ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ支援機関の利用状況（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ組織対象）】
・利用している 77.5%（全国ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動実態調査報告書・(社福)全国社会福祉協議会(H22)）
【移住の際に利用した行政施策】
・移住や移住後の暮しに関する総合的な相談窓口 8.8%・空き家情報の提供や斡旋、紹介 13.1%
・移住先の地域や暮しに関する情報の提供 13.1%（「田園回帰」に関する調査研究報告書　総務省(H30.3)）

ひょうごボランタリープラザでの活動相談

ひょうごボランタリープラザにおいて、NPO 法人の設立申請、報告書の作成や、災害ボランティア活動等に関する相談に対応。また、県内各地域で活動する NPO 法人とも連携してコミュニティ・ビジネスの起業、法人運営、資金調達等に関する相談対応を実施（相談件数 78 件）

ひょうごボランタリープラザ窓口

地域活動コーディネーターの設置

地域づくりや青少年の分野において幅広く活動できる地域活動コーディネーターを兵庫県青少年本部に設置し、各地域における参画と協働の総合窓口としての体制確保と機能を充実、地域情報の提供や地域資源のつなぎ役となり、青少年活動や地域づくり活動の発展に貢献（H30 年度活動実績　8,285 件）

【具体の取組】
『親子ハイキング』（青少年本部神戸事務部）
H30 年 10 月、東お多福山にて、東お多福草原保全・再生研究会のガイドにより『親子ハイキング』を実施。自然とのふれあいを通じて 親子の絆を深めるとともに、ガイドの説明により東お多福山の植生について学ぶ機会となる『親子ハイキング』の企画・運営に携わる。

親子ハイキングの様子

カムバックひょうご促進事業

兵庫県への移住（UJI ターン）を促進するため、東京・神戸のカムバックひょうごセンターにおいて、ハローワークやひょうご住まいサポートセンターと連携し、移住に必要な様々な相談を総合的に実施

・カムバックひょうごセンターでの移住相談：
　窓口相談 700 人/年、イベント相談 4,611 人/年
・就農/就職ｾﾐﾅｰ、移住相談会等への出展：34 回/年
・移住者数：107 人（H28.1～）
　※「カムバックひょうごセンター」Facebook
　https://www.facebook.com/comebackhyogo/
　※「夢かなうひょうご（生活･仕事･カムバックポータルサイト）」https://www.yume-hyogo.com/

カムバックひょうごセンター

県政 150 周年記念事業の実施

平成 30 年 7 月 12 日に兵庫県は成立 150 周年を迎えました。この節目を、これまでの歩みを振り返り、これからの兵庫を考える契機として生かしていきます。
そこで、県政 150 周年の機運を盛り上げ、多くの県民の皆さんが地域の魅力を再発見し、交流の輪を拡げる契機となるよう、様々なイベントや事業を展開しました。

県政 150 周年記念式典の開催（新規）

県民とともに 150 周年を祝い、将来への展望を共有する機会を目的に県政 150 周年記念式典を開催し、記念演奏や小中校生による発表、記念講演を実施

(1)開催日：平成 30 年 7 月 12 日(木)
(2)会　場：神戸国際会館　こくさいホール
(3)参加者：約 1,500 名

兵庫 2030 年の展望」（案）の発表

県政 150 周年記念事業の広報展開

ノベルティ等啓発物の作成・配布や、マスコミ等との連携による県政 150 周年関連の番組放送により、７月 12 日を中心に記念事業実施期間中に兵庫の魅力や県政 150 周年を広く周知し県政 150 周年を PR

(1)啓発物の作成
リーフレット、ピンバッジ、うちわ各 15,000 個を作成・配布
(2)マスコミ等との連携
・NHK「新兵庫史を歩く」平成 30 月 11 日 16 日放送
・サンテレビ「150 周年記念特別番組」平成 30 年 7 月 8 日放送
・ラジオ関西「県政 150 周年ラジオ番組」
平成 30 年 4 月 7 日～平成 31 年 3 月 30 日放送

NHK「新兵庫史を歩く」

県政 150 周年を記念した情報発信事業の推進

県政 150 周年にあたり、様々な催しにおいて、ＶＲ（仮想現実）技術で再現した 150 年前の初代兵庫県庁舎へタイムスリップするような体験の場を提供し、県政への親しみを深めるなど、県政 150 周年をアピール

県庁設立の日記念イベント、国際フロンティア産業メッセ、ふれあいの祭典等にてＶＲ体験コーナーを設置（計 16 日出展）

VR 体験

県民との協働推進事業

県内の地域団体、NPO 法人、ボランティア団体等が「五国の魅力を磨く」、「交流の輪を拡げる」、「兵庫の未来を創る」といったテーマのもとで企画・実施する様々な取組を支援

〔実績〕1,131 件・390,070 千円（H30．4～H31．3）

〔取組例〕

- 伊能忠敬・五国の足跡フォーラム
- 講演会『兵庫津の歴史を語る』
- 山陰海岸ジオパーク再認定審査に向けての連携強化策ミーティングスキル向上セミナー
- グッドストックフェスティバル ～ひょうご五国の味めぐり～
- 音楽で触れる東西文明の出会いと兵庫の未来

伊能忠敬・五国の足跡ﾌｫｰﾗﾑ

山陰海岸ジオパーク再認定審査に向けての連携強化策 ミーティングスキル向上セミナー

ひょうご五国博　ふれあいの祭典「ふれあいフェスティバル in 東播磨」の開催

県民の様々な活動発表の場として「ひょうご五国博　ふれあいの祭典　ふれあいフェスティバル in 東播磨」を開催し、ステージイベント、地域づくりに取り組む多様な県内団体のブース出展のほか、周辺施設や県内団体・学校・企業等多様な主体と連携のもと各会場で賑わいを創出、来場者がひょうご五国の魅力を体感するイベントを実施し、地域内外の交流を促進（10/20～21：県立明石公園及び周辺）・来場者：約 10 万 7 千人

県内団体のブース出展

ステージイベント

県政１５０周年記念コーナー

フィナーレイベントの開催（新規）

県政 150 周年記念のフィナーレを飾るイベントを開催。15 カ月間の記念事業の振り返り等や県政に貢献のあった団体に対する知事表彰により、兵庫の魅力を発信すると共に県関係団体等の県政発展への意欲向上の推進に寄与

(1)開催日：平成 31 年 3 月 16 日(土)
(2)会　場：県公館
(3)参加者：約 400 名

知事表彰

2 知識・技能の習得機会提供

地域の魅力や課題を学ぶ

地域創生を実現する上で、ふるさとを愛する心を育てることが、参画と協働による地域づくりの推進力になります。
そこで、多様な世代が地域の魅力や課題について学び、ふるさとへの想いを高める取組を各地域で幅広く展開することにより、ふるさと意識の共有につなげました。

【住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合】65.0%（兵庫のゆたかさ指標(H30)）
【郷土の自然や文化などの感動体験を通して、ふるさとを愛する心を育てることがこれからの兵庫を担う人づくりのために大切だと思う人の割合】40.7%（県民意識調査（H29））

ひょうご地域再生塾の開催

地域活性化のための講義、事例発表、意見交換等を通じ地域資源を活かした地域活性化の担い手や地域を牽引するリーダーを育成（基礎研修１回（神戸）、起業化・法人化研修を２回（神戸、但馬）開催。参加者 91 名）

起業化・法人化研修の様子

楽農学校事業

生きがいとして農業を楽しむ人を対象とした基礎的技術の習得や、本格的に就農を目指す人を対象とした総合的技術の習得に係る研修等を実施し、県民の楽農生活の実践を支援（H30 年度受講者数 138 人）

兵庫楽農生活センター就農コースにおける栽培技術指導（トマト接木実習の様子）→

県民局・県民センターにおける多彩な事業への参画機会の提供

各地域の歴史、文化、自然等で十分知られていない地域の魅力を学ぶ機会を提供

○淡山疏水の偉業に触れるツアーの実施〔神戸〕

明治から大正にかけて建設された歴史ある産業遺産、そして、今もなお農地を潤し続け地域農業の振興や景観保全に大きく寄与している「淡山疏水」の理解を深めるとともに、地元直売所で安全安心な農産物に触れることで、地元農産物のファンを増やすとともに、都市と農村の交流を促進

練部屋（ねりべや）分水所の見学

○尼崎の森ファミリークラブ植樹会の実施〔阪神南〕

長期にわたる森づくり活動（植樹・除草・間伐）を子どもの成長とともに家族で体験することにより、森への愛着、家族愛、ふるさと意識を醸成するとともに、森づくりの担い手を養成（11 月 10 日、1 月 6 日　計 143 人参加）

植樹会

○「北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）」構想の推進〔阪神北〕

「新宮晋　風のミュージアム」水上ステージにて野外イベントを開催。「北摂里山博物館」構想のシンボルとして、有馬富士公園の新たな魅力を情報発信し、公園の活性化を促進

・春のイベント「風のジャズ Vol.4」（4/21　500 人参加）
・秋のイベント「風の音楽会」（10/28　300 人参加）

風の音楽会

○水辺の地域づくりの推進〔東播磨〕

東播磨を象徴するため池群と水路網を地域の財産として守り、活かし、次世代へ継承することを目的とした「いなみ野ため池ミュージアム」の取組を多様な主体の参画により展開し、持続可能な地域づくりを推進。・ため池保全活動の実施（300 回実施、計 39 万 2 千人参加）

青池かいぼり（高砂市）

○高校生による北播磨地産地消活動の推進〔北播磨〕

地産地消に積極的に取り組む管内の高校生が実施する特産物の加工品開発や販売実習、高校生レストランを支援し、斬新な若者の視点で北播磨の「農」と「食」の魅力を発信（桃ピューレを活用したアイスの開発等）

高校生が開発した商品を対面販売

○銀の馬車道プロジェクトの推進〔中播磨〕

銀の馬車道を地域内外へ発信することに重点をおいたプロモーションを実施、また銀の馬車道ブランド戦略に基づいた事業の推進

・日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」川柳コンテスト（応募数　385 名、967 句）
・JR 姫路駅播但線ホーム階段において、播但線全 18 駅の木版画掲示
・ＰＲサインの設置（旧ﾔﾏﾄﾔｼｷ姫路店ｼｮｰｳｳｲﾝﾄﾞｳ）
・銀馬車かぼちゃを用いた体験イベント等

銀馬車かぼちゃ収穫体験

○西播磨フロンティア祭 2018 の開催〔西播磨〕

播磨科学公園都市の賑わい創出、地域の活性化と連携・交流の促進を図るため西播磨フロンティア祭を開催（平成 30 年４月 29 日 約２万１千人参加）

・第 17 回出る杭大会（49 団体）
・西播磨ふるさとバザール（49 団体）
・第 7 回イケ麺グランプリ in 西播磨（16 団体）
・親子ふれあいキッズランド、安全・安心コーナー

西播磨フロンティア祭 2018

○山陰海岸ジオパーク活動の推進〔但馬〕
　山陰海岸ジオパーク推進協議会が中心となり、ジオパークの普及啓発やジオパークの素材を活かした地域づくり事業を展開(ビジネス創出支援事業４件、ジオパークガイド魅力向上支援事業５件、ジオパークを守る活動への補助 16 件)

ジオパークを守る活動

○学生等による地域貢献活動推進事業〔丹波〕
　丹波地域で大学のフィールドワーク等に参加した経験のある学生が、自治会などの地域団体と連携し、地域の祭りや農作業の手伝い、放置竹林の整備と獣害対策等に取り組み、地域活性化を推進（これまで 17 地区に 10 大学、延べ 46 団体が活動）

ライトアップイベント
（かいばらいと）の運営に協力

○日本遺産「国生みの島」推進事業〔淡路〕
　島内外に広くＰＲするとともに、島民の関心を一層高め、ふるさと意識の醸成を図るため事業を展開
・日本遺産フェスティバル開催（参加者：約 8,500 人）
・「国生みの島」をテーマにしたスマホ向けＲＰＧを開発敵キャラクターを住民公募（応募数：138 件）
・淡路島日本遺産サポーターの養成（25 人、4 団体）
・松帆銅鐸復元品の島内常設展示（3 施設）

スマホ向けＲＰＧチラシ

3　活動・交流拠点確保

地域の活動・交流拠点づくりを支援

　地域のつながりや活力の維持増進を図っていくには、地域団体等の拠点整備が求められています。
　そこで、地域の交流の拠点として整備を行った県民交流広場の機能維持・強化を図るとともに、多様な分野にわたる県民の活動の拠点施設として、生活創造センターや文化会館等を運営し、関係機関のネットワーク化を推進しました。

【地域運営組織の活動上の課題と望まれる支援】H30 年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究事業報告書（総務省地域力創造グループ地域振興室（H31））
・施設の不足：課題認識 15.4%、行政からの支援に期待 15.9%
・物品の不足：課題認識 13.4%、行政からの支援に期待 13.4%

県民交流広場を活用した地域力の強化　（新規）
　平成 16 年～29 年度に整備した、県民交流広場の拠点機能の維持・強化を図るため、地域づくり活動に必要な備品更新等に要する経費を助成
〔実績〕助成件数：112 団体 19,330 千円
〔取組例〕
・広場の情報発信力を強化するためのパソコン等の更新
・広場が実施するイベント等で使用するテント等の更新など

祭りで使う櫓提灯一式を更新

生活創造センター・文化会館等の運営・生活創造センター等における地域づくり活動の推進(新規)

多様な分野にわたる県民の活動の拠点施設として、生活創造センターや文化会館等を運営し、生涯学習・地域づくり活動を支援するとともに、市町の市民活動センター、生涯学習センター、公民館等のネットワーク化への取組を推進。県政 150 周年を機に地域の歴史や地域文化、地域づくり活動等を振り返り、将来像を考えるフォーラムや、ふるさと意識の高揚を図るイベント等を実施

(単位：万人)

施設名	場　所	指定管理者	利用者	取組例
神戸生活創造センター	神戸市中央区	大阪ｶﾞｽﾋﾞｼﾞﾈｽｸﾘｴｲﾄ(株)	12.4	・グループ・団体との連携事業展開 登録グループや博物館等との協働による講座の開催等、多様な学習機会を提供
東播磨生活創造センター	加古川市 加古川町	ｼﾐﾝｽﾞｼｰｽﾞ・BAN-BANﾈｯﾄﾜｰｸｽ JV	21.5	・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｽﾀｯﾌによる事業企画運営 イベントの実施や広報誌の編集等、多様なテーマに応じてﾎﾞﾗﾝﾃｨｱが活躍する機会を創出
丹波の森公苑	丹波市 柏原町	(公財)兵庫丹波の森協会	25.9	・伝統文化活性化支援事業 丹波地域の民俗芸能団体に発表の機会を提供し、伝統文化の継承と活性化を図る。また、子ども対象にワークショップを開催し、伝統文化に触れる機会を提供
但馬文教府	豊岡市 妙楽寺	(公財)兵庫県生きがい創造協会	7.4	・文教府ギャラリーの運営 但馬地域の特色ある文化活動の発掘と発表及び交流の場を提供
西播磨文化会館	たつの市 新宮町		9.7	・播州段文音頭伝承 地域に唄い継がれてきた播州段文音頭の保存会が一堂に集まり交流することで、活動の活性化とともに、地域文化の振興を促進
淡路文化会館	淡路市 多賀		4.6	・淡路人形浄瑠璃の振興 公演などを通じ、淡路人形浄瑠璃の魅力を発進するとともに、後継者を育成
嬉野台生涯教育センター	加東市 下久米		15.6	・ひょうご冒険教育(HAP) スポーツ指導者等冒険教育を必要とする人のための体験会や HAP に携わる教職員等の研修会及び講習会を開催し、指導者の資質向上を実施

パネルディスカッション「生涯学習と地域づくり」(いなみ野学園)
(平成 30 年 8 月 26 日　約 300 人)

丹波の森フェスティバル(丹波の森公苑)
(平成 30 年 10 月 28 日　約 1,000 人)

ジャンボ書道協働パフォーマンス
(淡路文化会館)
(平成 30 年 11 月 25 日　約 500 人)

４ 人材確保

シニア、若者、女性をはじめとする全ての世代の活躍推進

高齢者がこれまで培ってきた知識や技能を生かし、将来の後継者となる若者が活躍し、女性が持てる力を発揮するなど、全ての人がそれぞれのライフステージで社会を支える主人公になることが期待されます。
そこで、活動の機会づくりや起業支援等に取り組むとともに、人材養成の取組を実施しました。

【住んでいる地域の活動に参加している人・したい人の割合】36.3%（兵庫のゆたかさ指標（H30））
【50 歳以上が中心となっているボランタリー活動団体】85.1%（県民ボランタリー活動実態調査(H26)）
【34 歳以下が中心となっているボランタリー活動団体】 2.7%（〃）
【女性が中心となっているボランタリー活動団体】64.3%（〃）

女性の活躍推進

様々な分野で活躍する女性や経済団体等と連携・協働し、社会全体の気運醸成を図るとともに、職場の意識改革や環境整備を推進するため、企業訪問や研修の開催等、様々な取組を実施

・ひょうご女性の活躍推進会議開催（２回）
・第２回ひょうご女性の活躍企業表彰実施（表彰企業６社）
・企業訪問の実施（76 社）及び研修講師派遣（19 社）
・女性活躍のための各種セミナー開催（13 回）
・女子大学生向けキャリアデザインセミナー開催（３回）
・ひょうご女性の活躍推進会議専用ホームページの開設

ひょうご女性の活躍企業表彰式

地域づくり活動に関する人材養成講座

地域の担い手・リーダーとして活躍する人材を養成するため、地域づくり活動に関する講座を実施

〔主な講座〕
・ふるさとひょうご創生塾（39 人）
・高齢者大学・大学院（2,893 人）
・ひょうご地域再生塾（91 人）
・こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業（303 人）

ふるさとひょうご創生塾
でのグループ討論

シニア・若手・女性起業家支援事業

地域経済の活性化を図るため、有望なビジネスプランを有し県内で起業又は第二創業を目指す起業家を支援し、地域経済の活性化に貢献

・シニア起業家（満 55 歳以上）（申請件数：78 件　補助件数：35 件）
・若手起業家（満 35 歳未満）（申請件数：62 件　補助件数：19 件）
・女性起業家（申請件数：207 件　補助件数：58 件）

祥雲寺 寺カフェ 一休(朝来市)
無住寺の庫裏(くり)を活用した飲食店を開業。和食料理店での勤務経験を生かし、飽きさせない料理の提供と地域の交流拠点を創出
（シニア起業家支援事業）

いえしまコンシェルジュ(同) (姫路市)
島の新たな魅力を創出するため、週末に島外から島へ通う人が、自らのスキルを活用して行う「週末島活」の拠点となるカフェの運営
（若手起業家支援事業）

坂の上の嬉しなる（姫路市）
糀などの発酵食品を使用した体に優しい和テイストの焼菓子等と自家焙煎したほうじ茶を楽しめるカフェスペース併設のケーキ屋（女性起業家支援事業）

地域祖父母モデル事業（男女家庭課）

子育て支援に携わりたいというシニア世帯が、支援を受けたい子育て世帯に対して祖父母のように日常的に行う見守りや相談、緊急時の一時預かり等を通じ、地域における三世代家族の育成、地域全体で安心して子育てができる環境づくりを推進（実施地区 55 地区、実施団体 21 団体、H30 ﾏｯﾁﾝｸﾞ数 892 組）

絵本の読み聞かせ

地域活動に取り組む多様な主体の育成

持続的・自立的な地域づくりの基盤の再構築への取組が拡がりつつあり、市町の施策でも地域包括交付金や地域担当制の導入例が増えています。

そこで、地域団体等による地域課題の解決に向けた取組への支援を行い、地域活動の多様な主体の育成を図りました。

【地域包括交付金】19 市町、【地域担当制】18 市町　（兵庫県県民生活課調べ）(H30)

「地域ふれあいの会」による地域安全活動の推進

地域住民と協働して地域安全活動を推進するため、県下全域に地域ふれあいの会を設置し、防犯パトロール・キャンペーン等を実施（委員活動回数述べ 47,847 回、参加人員延べ 77,530 人）

地域ふれあいの会キャンペーン（姫路）

企業の社会貢献活動の促進

地域密着型の社会貢献活動を行っている兵庫県内の企業をピックアップし、経営者もしくはＣＳＲ担当者に対するインタビューをホームページ「地域とともに歩むひょうごの企業」に掲載

取材団体(H19 年度からの累計、掲載企業は合計 100 社)

・神姫バス株式会社、西山酒造株式会社、株式会社ウィル、シスメックス株式会社

ホームページ URL　http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/v-hyogo/csr/

商店街ご用聞き・共同宅配の実施

買い物利便性の低い市街地または中山間地域等における商店街等が行う、地域特性や住民ニーズに応じた買い物利便性を高める取組を支援（補助実績４件）

【具体の取組】

長田区全域、兵庫区・須磨区の一部で、商店街等がカタログの配布や住民から掲載されていない商品の受け付け(ご用聞き)を行い、電話・FAX による注文を受けて共同宅配を実施(神戸市)

地域運営組織法人化推進事業

地域活動から事業活動への転換を促進し、持続的、自立的な地域づくりの実現、地域活動運営の担い手育成や活動を継続していくための組織体制の整備を図るために、専門アドバイザーなどの派遣を行うとともに地域運営組織の設立（法人化）のために必要な経費を支援（補助実績５件）

【具体の取組】

新温泉町春来地区では、より効果的・持続的な取組を目指すため、自治会組織、そば生産組合、営農組合の３組織を整理・統合して法人化を計画。そばの生産・販売の強化から地域課題の解決まで一体的に取り組める組織となるよう、専門家の指導のもとで検討

地元産のそば粉を使った人気の十割そば　→

5 資金調達支援

寄附文化の醸成・活動資金を生み出す仕組みづくり

地域課題解決に向け、県民の自発的な取組が求められる一方、活動上の課題として資金不足を挙げる団体・グループも少なくありません。

そこで、ふるさとひょうご寄附金の活用や地域づくり活動等へ助成するとともに、コミュニティ・ビジネスの起業等、団体・グループの行う持続的で自立に向けた取組を支援するなど、多様な資金確保の仕組みによる地域づくり活動への支援を行いました。

【団体が抱える課題】３位：資金不足　24.1%（県民ボランタリー活動実態調査（H26））活動資金が足りない 32.7%（県民交流広場アンケート(H30)）
【寄附経験がある】41.2%（市民の社会貢献に関する実態調査・内閣府（H28））

「ふるさとひょうご寄附金」の募集

地域づくりへの参画の手段として、寄附金を募集。寄附者の共感と賛同を得られる事業を寄附対象に追加した結果、寄附件数、寄附額とも増加

〔実績〕1,846 件、177,816 千円

〔募集プロジェクト（主なもの）〕　（寄附申出金額）

- 未来を担う県立大学生への応援団募集プロジェクト　(　5,872,000 円)
- 県立学校環境充実応援プロジェクト　(101,813,028 円)
- 児童養護施設や里親の下で育つ子ども応援プロジェクト　(　4,301,500 円)
- 小児筋電義手バンクへの応援プロジェクト　(　3,382,865 円)
- 子犬子猫の飼い主捜し応援プロジェクト　(　　570,500 円)

※その他のプロジェクトはＵＲＬを参照
https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kihu01.html

【具体の取組】
ひょうご若者被災地応援プロジェクト
ひょうごの若者が被災地で行う活動を応援し、被災地の復興を支援。今後の被災地支援を担う人材を養成する事業として実施。県内の高校・大学をはじめとする若者の団体・グループが、東日本大震災や熊本地震、平成 30 年７月豪雨等の被災地に赴いて実施した活動に助成（派遣実績：16 団体（活動人数 206 人）、寄附申出金額：8,530,300 円　交流会(12 月 18 日)79 名参加（今後の取組に係る課題等について情報を共有）

熊本地震被災地の幼稚園児との交流

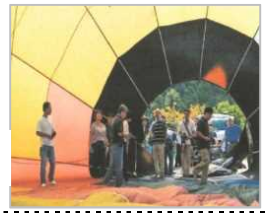
地域づくり活動応援事業

地域社会の共同利益の実現を図るため、地域団体が提案する地域活性化やコミュニティの充実など様々な創意工夫の取組に対して、県民局・県民センターごとにそれぞれの地域特性に応じて助成。公開提案会や報告交流会を実施（実績 233 件 46,883 千円）

〔取組例〕

- 熱気球サポータークラブ 人材育成事業（加西市）
- 医療と介護について「話せて学べて仲良く助け合う」場づくり（太子町）
- 兵庫・篠山とっておきの音楽祭（丹波篠山市）

【具体の取組】
熱気球サポータークラブ 人材育成事業（加西市）
日本気球連盟安全委員を講師に招き、気球のトラブル事例を聞いた後、実際に気球を立ち上げ、市内のフライトエリアで問題が起きた場合の対処法や、危機回避の予測的行動を学習。


トラブル対応講習→

ひょうごボランタリー基金助成事業

ボランティアグループ・団体やNPO法人等が行う地域づくり活動に対する資金支援を行い、活動の活性化を推進

交流会の開催等を通じ、団体・グループの活動のレベルアップを支援

助成事業報告会 ポスターセッション

県民ボランタリー活動助成	地域づくり活動NPO事業助成	中間支援活動助成
NPO 法人格を持たないグループによる草の根の活動に対し助成	NPO 法人が地域団体等と連携し、機動力、専門性を生かして地域づくりを進める活動に対し助成	地域のNPO法人等の活動を支援するNPO法人、公益法人等の活動に対し助成
【助成例】朗読・点訳・傾聴ボランティア、手話サークル、ふれあい喫茶・給食、いきいきサロン、防犯パトロール、子育て支援、読み聞かせ、留学生支援 等	【助成例】就学後の子育て支援、田舎暮らし体験、生活再建及び再犯防止のための支援、古民家再活用による地域活性化、認知症予防プログラムの実施 等	【助成例】団体の組織力向上、活動資金の調達を中心とした相談、NPO・地域団体連携マッチング、中堅スタッフ育成、ネットワーク強化 等
実績　3,517件・87,925千円	実績　32件・14,385千円	実績　21件・15,439千円

コミュニティ・ビジネス等総合支援事業

中間支援NPO法人等からの企画提案に基づいて選定した団体が運営する、６つの「生きがいしごとサポートセンター」が行う、地域貢献と生きがいのある働き方を目指す者のコミュニティ・ビジネス等の起業・就業に関する支援事業と、地域性や補助団体の特長等を活かした提案事業に必要な経費を補助し、活力ある地域社会づくりと新たな働き方を創出（実績　相談件数18,985件、起業団体数131件）

【取組例】

ＨＰによる情報提供、広報誌の発行、面談・電話・E-mail相談、無料職業紹介、各種講座の開催

講座の様子

高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業

高齢者の生きがいづくりとして、高齢者の多様な経験や資格・能力を持った人材を活用し、コミュニティ・ビジネスを立ち上げようとする団体に経費を補助することにより、高齢者の就業機会を創出　応募件数：13件　認定件数：11件　雇用創出数：25人

【具体の取組】

託児事業・子育て講座運営事業：

特定非営利活動法人子育て応援隊スマイルキッズ

元保育士等による地域住民向けの託児事業。また、専門家による子育て講座やリズム遊び、親子体操講座等の開催

託児の様子→

6 連携支援

多様な主体の連携促進

地域団体やボランティアグループ、NPO、大学、企業等がネットワークを形成し、分野や地域を越えて、多様化する地域の課題やニーズへの対応を図っていくことが求められています。

そこで、交流機会の提供等を通じ、多様な主体が連携して地域課題を解決するための取組を積極的に支援しました。

【NPO が望む支援】２位：交流会・ネットワーク支援 32.4%（県民ボランタリー活動実態調査（H26））

ひょうごの元気ムラ大交流会

10/13・14 日の２日間にわたり、特産品の販売や活動ＰＲに加え、地域活動を応援する団体も参画した活動発表会や研修会を開催、地域での取組を通して都市住民との交流の機会を創出

１日目：元町商店街での物販・展示（60 団体）、こうべまちづくり会館での活動発表

２日目：県民会館で有識者による事例発表等の研修会（40 名）を開催

元町商店街での物販・展示

活動発表会

有識者による研修会

参画協働フォーラムの実施（新規）

県政 150 周年及びＮＰＯ法人制度 20 年を機に、これまでの地域づくり活動の成果や課題、今後の展望等について意見交換するフォーラムを開催

○開催日 2019 年８月 10 日　約 150 人参加

○基調講演

「参画と協働の更なる展開の可能性」

山崎　亮氏（studio-L 代表、ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾅｰ）

○分科会テーマ

①ｺﾐｭﾆﾃｨ・ﾋﾞｼﾞﾈｽ、②公益活動への寄附・投資等

③地域資源の発掘・発信、④地域の人材養成

⑤団体・NPO 等の組織ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ、⑥公益活動の評価

⑦多様な主体の協働、⑧災害ボランティア、

⑨行政への参画協働

○報告書ＵＲＬ

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk12/sankakukyodo_forum.html

基調講演

分科会全体会

いなみ野学園 50 周年プレ事業の実施（新規）

学園創立 50 周年を広く周知するため、いなみ野学園大学自治会、大学院自治会並びに同窓研修会（OB 会）の協働により、多世代との交流を図り、地域とのつながりを強化する前年イベント「生涯学習フェスティバル」を開催

日時：平成 30 年 8 月 26 日　参加者数：延べ 3,000 人

内容：①ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ演奏（兵庫大学附属幼稚園）
②記念講演
③パネルディスカッション
④作品展示・地元の子どもとの交流等

オープニング演奏

アート de 元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業

県内各地で開催されている地域資源を活かした芸術祭や、地域の文化力向上・まちおこしのためのアートプロジェクト等の連携を促進し、ノウハウの共有や県内外への情報発信力を強化（参画団体：９団体）。龍野アートプロジェクトの会場において、参画芸術祭の共同出品を行い、各地域の芸術祭及び開催地のＰＲを実施

龍野アートプロジェクトでの
コラボレーション展

ひょうご環境担い手サミットの開催

NPO や企業、個人など多様なスタイルで環境保全・創造活動に取り組んでいる担い手が世代や分野を越えて一堂に会し、活動紹介や意見交換を通じて連携を深め、協働の取組による活動の拡がりを促進（参加者数 358 人）

・口頭発表(分科会)
　次世代の担い手達 18 団体の活動を紹介
・ポスター発表＆ワークショップ体験＆昼食
　見て!聞いて!触れて!食べて!キラリ☆輝く 53 団体の担い手達の活動にふれる
・グループディスカッション
　2050 年 環境未来予想図を「ほんと」にするには？

グループディスカッション

2 県行政への参画と協働の推進

県では、地域課題や県民ニーズの多様化に対応するため、県民参画による広報・広聴事業を通じた情報公開や、政策の企画立案、実施、評価・検証の各段階での県民の参画と協働により、県民の視点に立った県行政を推進しました。

1 情報公開の推進

県民が的確に判断できるよう、施策や各種調査データなどの情報を、様々な手段で提供しました。

各種媒体を活用した広報活動

きめ細かな県政情報をわかりやすく提供するため、読者編集員（７人）の参画を得て、県政情報を提供

○印刷媒体：
- 全世帯配布広報紙「県民だよりひょうご」
- 「あなたの県政―ひょうごＥＹＥ―」

○電波映像等：
- 県民情報番組「ひょうご発信！」
- ラジオ関西「こちら知事室！井戸敏三です」
- ラジオ関西・兵庫エフエム「兵庫県からのお知らせ」
- 兵庫県インターネット放送局「ひょうごチャンネル」　等

平成 30 年度　ひょうごＥＹＥ

情報公開制度の運用

公正で透明な県民に開かれた県政を実現するため、公文書の公開、情報提供等、情報公開制度を運営

〔請求件数〕4,193 件　〔公 開 率〕89.0%（※公開率＝（全部＋部分公開）／（請求件数－取下げ））

広報官等外部専門人材の登用（新規）

外部専門人材として登用した広報官、メディアディレクター、編集・デザインディレクターのもと、統一コンセプトにより、県庁全体の広報力アップに向けた取組を実施
- 全庁広報会議の開催（原則週１回）

【具体の取組】

「ひょうご五国博　ふれあいの祭典「ふれあいフェスティバル in 東播磨」（再掲）のＰＲについて、全庁広報会議で助言を実施（目標来場者数の 10 万人を大きく上回る 10 万 7 千人が来場）

大勢の来場者で賑わう会場（県立明石公園）　→

2 政策形成への参画機会確保

県民から広く意見を求める機会を確保するとともに、県民による提案が行われる仕組みを運用し、県民が県行政に提案できる多様な機会を確保しました。

県民モニター

県民の意向を的確に把握し、施策や事業の立案等に生かすため、県民に身近な課題について、インターネットで募集した「県民モニター」の意見を聴取

〔登録者数〕2,555 人　〔実施回数〕年４回（平均回答率 74.8%）

さわやか県民相談

県民から寄せられる県政への意見や日常生活の諸問題等に関する相談に電話や面談で直接対応（相談件数 18,938 件）

県民意見提出手続（パブリック・コメント手続）制度

県民生活に密接に関わる計画･方針等を策定する際に意見を募集し、対応を公表

〔実施件数〕26 件（対応未公表１件）（令和元年４月末日現在）

〔意見提出件数〕1,677 件　〔意見提出人数〕581 人

〔意見への対応〕反映 184 件(10.9%)、計画等に既に盛込済 654 件(39.0%)、今後の検討課題 298 件(17.8%)、対応困難 105 件(6.2%)、その他 436 件(26.0&)

〔実施案件（主なもの)〕

・第３期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画)」
・受動喫煙の防止等に関する条例改正骨子
・兵庫県保健医療計画（圏域版）
・兵庫県特別支援教育第三次推進計画　　等

審議会等の委員公募及び公開

県民の意見を審議会等の審議に反映させるため、委員公募を実施するとともに、傍聴や議事録等の公開を推進

〔公募機関数〕24 機関　〔公開機関数〕49 機関

〔実施機関（公募・公開とも実施した主なもの)〕

県民生活審議会、長期ビジョン審議会、男女共同参画審議会、地域安全まちづくり審議会　等

県民生活審議会

3 協働事業の機会確保

地域の課題解決に向けた、グループ、団体・NPO 法人、大学、企業等との協働事業を展開するとともに、県民との協働による、道路・河川等の共同管理、連携協定の締結、推進員の設置等を行いました。

NPO と行政の協働会議

中間支援団体と連携しながら、地域に関わる様々な課題について、NPO、団体、行政等が協働で解決に取り組むための情報交換・意見交換会を実施

また、NPO 法人の手引きプロジェクトチーム会議を開催し、「NPO 法人の手引き」を改訂

〔実施内容〕

・NPO と行政の協働会議（ひょうご中間支援団体ﾈｯﾄﾜｰｸとの意見交換会）（２回、53 人参加）
・NPO 法人手引きプロジェクトチーム会議（５回開催）
・メーリングリストを活用した意見交換

ひょうごアドプト

道路・河川・海岸などにおいて、地域団体・県・市町の３者による合意書を締結し、県民とのパートナーシップによる軽易な維持管理や美化活動を推進

〔団体数〕376 団体

【具体の取組】

河川清掃・除草、ミズアオイの保護活動：谷山川を育む会（豊岡市）

但馬の小京都と呼ばれる出石の城下町を流れる谷山川において、河川内の清掃や除草作業、準絶滅危惧種に指定されているミズアオイの保護活動を実施し、地域住民や観光客に愛される環境・景観づくりに貢献

谷山川での河川清掃活動

企業等との連携協定の締結

男女共同参画社会づくりや子育て支援に向け、団体や企業、行政の協定締結を推進

〔実施内容〕

・男女共同参画社会づくり協定（1,322 社・３団体）
・子育て応援協定(1,329 社・38 団体)
・健康づくり推進サポート企業との健康づくり応援協定（12 社）
・地域見守りネットワーク応援協定（29 社）

推進員等の設置

地域福祉、防犯・防災、教育など特定分野の課題の解決に向けて県行政と協働して取り組む推進員を設置。その活動が円滑に進むよう、必要な情報提供や活動のＰＲ、他の推進員とのネットワークづくりを推進（推進員委嘱数　70 職種、27,028 人）

〔主な推進員〕子育て家庭応援推進員（2,012 人）、男女共同参画推進員（1,397 人）、くらしの安全・安心推進員（312 人）、健康づくり推進員（1,933 人）等

４ 評価・検証への参画機会確保

県施策の推進状況や成果等をわかりやすく公表し、県民との情報共有を推進するとともに、県民が県施策の事業評価に参画する機会を確保し、兵庫づくりの目標を県民と共有することで、県政への理解と参加を促進しました。

○「21 世紀兵庫長期ビジョンの推進状況報告書」の作成
　ビジョンの４つの社会像と 12 の将来像の体系に沿って報告書を作成しＨＰ上で公表

○「ひょうごの男女共同参画」の作成
　県における男女共同参画社会づくりの現状や、県・市町の取組状況を公表

○「ひょうごみどり白書」の作成
　農林水産ビジョンの実現に向けた取組を評価・検証し、ＨＰ上で公表

○企業庁経営評価の実施と評価結果の公表
　「企業庁経営評価委員会」において、事業の経営状況等に係る指標を評価・検証し、ＨＰ上で公表

５ その他（市町における参画と協働の取組状況）

参画と協働の取組は、市町においても積極的に進められています。近年では、住民の参画と協働の推進に関する理念等を定めた条例等の制定や、施策に住民の声を反映させるためのパブリック・コメント手続などの制度が取り入れられています。

○条例及び指針等制定市町数（※１）	：	条例 22 市町、指針等 32 市町 （条例・指針両方を制定済 18 市町）
○パブリック・コメント手続導入市町数	：	40 市町
○附属機関等の委員公募実施市町	：	41 市町
○地域包括交付金制度導入市町（※２）	：	19 市町
○職員の地域担当制導入市町（※３）	：	18 市町

※１　住民の参画と協働の推進に関する理念や基本的な考え方等を定めた条例、指針・計画、都市宣言、市民憲章等
※２　「地域包括交付金」とは、おおむね小学校区単位で設立された複数の地域団体によって構成される自治組織に、地域の実情に応じて柔軟に活用できるよう、一括して交付される交付金
※３　「職員の地域担当制」とは、自治体の一定の地区ごとに担当の職員を定め、コミュニティづくりのための情報提供や計画策定支援など担当地域への支援を行う制度

[参考]

1　県民の参画と協働の推進に関する条例

県民の参画と協働の推進に関する条例（平成14年兵庫県条例第57号）

目次

前文
第１章　総則（第１条－第５条）
第２章　参画と協働による地域社会の共同利益の実現（第６条・第７条）
第３章　参画と協働による県行政の推進（第８条－第10条）
第４章　雑則（第11条・第12条）
附則

21世紀の本格的な成熟社会を迎えた今日、人々の価値観が量的拡大より質的充実を求める方向へと変化するとともに、中央集権・一極集中による画一性と効率性を優先する社会システムから、地方分権・多極分散による多様性と個性を優先する生活者の視点に立った新しい社会システムへの転換が求められている。

兵庫県では、これまで、自主的な生活意識の確立と生活の合理化を目指す「生活の科学化」や、生きがいなどの人間の内面に配慮する「生活の文化化」を推進するほか、県民が主体的に行動し、自ら社会を創り上げていく「生活創造」を推進し、様々な形での県民運動の展開を支援するなど、県民生活を基本とする県行政を展開してきた。

阪神・淡路大震災においても、被災者相互の助け合いの精神や、県民一人ひとり、自治会、婦人会等の地縁団体、ボランティア等による草の根の活動が、被災者への支援と被災地の復興を支える大きな力となったことに、自発的かつ自律的な意思に基づく県民による主体的な取組の大切さを改めて確認した。

また、新しい世紀における兵庫づくりを目指す「21世紀兵庫長期ビジョン」に県民自らが地域の将来像を描き、自らの責任でその実現を図ろうとする県民主役・地域主導による先導的な取組が進められつつある。

これらの貴重な経験とその積み重ねを踏まえつつ、自然と調和し、共に生きることを基本に、人類の安全と共生にも寄与する志高い地域づくりを進めるためには、県民一人ひとりが、自ら考え、判断し、責任を持って行動する取組が大切である。

あわせて、県民の多様なニーズに的確に対応しつつ、より一層県民生活を重視した県行政を推進していくためには、県民の参画と協働の多様な機会の確保を図り、県民とのパートナーシップに基づく県行政を推進していく必要がある。

このような認識に基づき、共に県民を代表し、地方自治を支える双輪である議会と知事の緊密な連携の下、施策の決定と確実な推進が図られることを基本に、参画と協働の理念を明らかにし、県民の参画と協働の推進に関する基本的事項を定め、もって県民の総意により、多様な地域に多彩な文化と暮らしを築く美しい兵庫を実現することを目的として、この条例を制定する。

第１章　総則

（参画と協働の意義）

第１条　多様な地域に多彩な文化と暮らしを築く豊かな地域社会は、自律と共生を基調とした、県民一人ひとり、地縁団体、ボランティア団体その他民間の団体及び事業者（以下「県民」という。）の参画と協働による地域社会の共同利益の実現及び県民の参画と協働による県行政の推進により、実現されなければならない。

（参画と協働による地域社会の共同利益の実現）

第２条　地域社会の共同利益の実現のための活動（以下「地域づくり活動」という。）は、県民の自発的かつ自律的な意思に基づく参画及び県民の相互の協働により、行われなければならない。

（参画と協働による県行政の推進）

第３条　県行政は、県民の積極的な参画及び県と県民との協働により、推進されなければならない。

（県民の役割）

第４条　県民は、前３条に定める参画と協働の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、地域社会の一員としての自覚と責任を持って、地域づくり活動に対する理解を深めるとともに、自らが県行政を推進するという自覚と責任を持って、県行政への積極的な参画と県行政の推進に係る県との協働に努めるものとする。

（県の責務）

第５条　県は、基本理念にのっとり、県民の参画と協働の推進に関する基本的かつ総合的な施策を策定し、及びこれを実施するものとする。

２　県は、前項の施策を策定し、及びこれを実施する場合においては、地域づくり活動が、県民の自発的かつ自律的な意思に基づくものであるべきことに配慮するものとする。

３　県は、第１項の施策を策定し、及びこれを実施する場合においては、市町との役割分担に配慮するとともに、地域づくり活動に関する市町の施策を尊重するものとする。

第２章　参画と協働による地域社会の共同利益の実現

（地域づくり活動に対する支援）

第６条　県は、基本理念にのっとり、地域づくり活動に対して必要な支援を行うため、次に掲げる施策を講ずるものとする。

(1) 地域づくり活動に必要な情報を提供し、及び地域づくり活動に関する相談に応ずる仕組みを整備すること。

(2) 地域づくり活動に必要な知識及び技能の習得の機会を提供すること。

(3) 地域づくり活動及び県民の交流の拠点を確保すること。

(4) 地域づくり活動を支える人材の確保及び資金の調達並びに地域づくり活動を行う県民相互の連携に対して支援をすること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、地域づくり活動を支援するために必要な措置を行うこと。

２　知事は、前項に規定する施策を総合的に講ずるための基本指針（以下「地域づくり活動支援指針」という。）を定めるものとする。

３　知事は、地域づくり活動支援指針に県民の意見が反映されるよう必要な措置を講ずるものとする。

４　知事は、地域づくり活動支援指針を定めようとするときは、あらかじめ、附属機関設置条例（昭和36年兵庫県条例第20号）第１条第１項に規定する県民生活審議会の意見を聴くものとする。

５　知事は、地域づくり活動支援指針を定めたときは、これを公表するものとする。

６　前２項の規定は、地域づくり活動支援指針の変更について準用する。

（登録）

第７条　地域づくり活動を行う県民は、自らが行う地域づくり活動に関する情報を相互に提供し、及び活用するとともに、相互の連携及び交流を深め、もって地域づくり活動の活性化に資することができるよう、地域づくり活動の内容その他当該地域づくり活動に関する事項の登録をすることができる。

２　県は、前項の登録をした地域づくり活動に対して、情報提供その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

３　第１項の登録に関して必要な事項は、知事が別に定める。

第３章　参画と協働による県行政の推進

（県行政における参画と協働の推進）

第８条　県は、基本理念にのっとり、県民の参画と協働による県行政を推進するため、次に掲げる施策を講ずるものとする。

(1) 県行政の透明性を高め、県民に対する説明責任を果たすための情報公開を推進すること。

(2) 県の政策の形成に県民が参画する機会を確保すること。

(3) 県が実施する事業と県民の地域づくり活動とを共同で実施する機会を確保すること。

(4) 県の政策の評価及びその効果の検証に県民が参画する機会を確保すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、県行政における県民の参画と協働の機会を確保すること。

２　知事は、前項に規定する施策を総合的に講ずるための計画（以下「県行政参画・協働推進計画」という。）を定めるものとする。

３　第６条第３項から第６項までの規定は、県行政参画・協働推進計画について準用する。

（委員の公募）

第９条　知事その他の執行機関（以下「知事等」という。）は、県の政策の形成に県民が参画する機会を確保するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の４第３項に規定する附属機関その他委員会等で、県の政策の形成に関して調査審議するために設けられるものの委員（以下「委員」という。）を選任しようとする場合において、これらの審議が県民生活に密接に関連し、県民の意見を反映させることが適当であると認めるときは、広く県民に対して公募を行うものとする。

２　公募により委嘱された委員は、基本理念にのっとり、誠実に職務を遂行するものとし、自らの学識、経験等に基づき、自己の責任において意見を述べるものとする。

３　委員の公募に関して必要な事項は、知事等が別に定める。

（推進員等）

第10条　知事等は、特定分野の行政課題の解決を図り、県行政を効果的に推進するための職（以下「推進員等」という。）を県民に委嘱することが、県民の参画と協働による県行政の推進に資することにかんがみ、推進員等を委嘱された者の職務が円滑に遂行されるよう必要な措置を講ずるものとする。

２　推進員等を委嘱された者は、基本理念にのっとり、誠実に職務を遂行するものとする。

第４章　雑則

（年次報告）

第11条　知事は、毎年、県民の参画と協働の推進に関する施策の実施状況を明らかにする年次報告を作成するものとする。

２　第６条第４項及び第５項の規定は、前項の年次報告について準用する。

（補則）

第12条　この条例の施行に関して必要な事項は、知事等が別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この条例は、公布の日から起算して６月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

（検証）

２　県民の参画と協働の推進に関する施策については、この条例の施行の日から起算して３年以内にその効果の検証を行い、その結果に基づいて必要な措置が講ぜられるものとする。

この条例は、「県民の参画と協働の推進に関する条例の施行期日を定める規則(平成15年兵庫県規則第6号)」により、平成15年4月１日から施行しています。

平成 30 年度　参画と協働関連施策の年次報告

令和元年　月

兵庫県企画県民部県民生活局県民生活課
参画協働・ボランタリー活動支援班
〒650-8567　神戸市中央区下山手通 5-10-1
電話：078-362-3996
E-Mail：kenminseikatsu@pref.hyogo.lg.jp

資料２－２

平成 30 年度　参画と協働関連施策の年次報告

［資料編］（案）

～ 目　次 ～

1　地域づくり活動の支援---------- 1

（１）情報提供・相談体制整備---------- 1

（２）知識・技能の習得機会提供---------- 9

（３）活動・交流拠点確保---------- 17

（４）人材確保---------- 21

（５）資金調達支援---------- 35

（６）連携支援---------- 36

2　県行政への参画と協働の推進---------- 41

（１）情報公開の推進---------- 41

（２）政策形成への参画機会確保---------- 43

（３）協働事業の機会確保---------- 46

（４）評価・検証への参画機会確保---------- 52

3　平成 30 年度　参画と協働関連施策一覧---------- 53

1　地域づくり活動の支援

（1）情報提供・相談体制整備

◆ 地域づくり活動に関する情報をわかりやすく提供

地域創生の加速化・本格化を図るため、次代を担う若者目線でのひょうごのイメージづくりと魅力発信の取組をはじめ、即時性、拡散性を生かしたSNS等多様な媒体を活用し、地域創生に関する情報や、地域を元気にしている人、兵庫の魅力などを広く発信しました。

ふるさと意識醸成につながる情報発信

□ひょうごチャンネルの運営（広報戦略課）
　インターネット上で県政情報を動画で配信する「ひょうごチャンネル」を運営。誰もが自由に利用･加工可能な動画素材の制作及び配信（配信動画2,603本）

□「兵庫2030年の展望」の推進（ビジョン課）
　平成30年の県政150周年を契機として、これからの兵庫のめざす姿を示し、今後の地域づくりの基本方針とするため、「兵庫2030年の展望」を策定
　展望で描く時代潮流や地域課題への理解を深め、兵庫の未来を考えるきっかけとするため、高校・地域団体等への出前講座を実施（計12回）したほか、若者向けリーフレットの作成･配付やひょうごチャンネルにおける展望の紹介映像「2030君が輝くひょうご」配信を実施

□『ひょうご五国の地域創生』の広報展開（地域創生課）
　各種メディアを活用し、他府県との差別化を図りつつ、年齢層・地域ごとのＰＲを行い、地域間交流等を通じて兵庫県への移住・定住に直結する広報を重点的に展開。県公式インスタグラムやラジオ２番組を通じて、ひょうご五国の魅力を発信

□「ひょうごe-県民制度」の推進（新規）（地域創生課）
　兵庫県にゆかりのある方（出身者、県内大学・高校の卒業生、勤務経験者、兵庫県に関心のある方等）とのネットワークをつくり、日々の情報交流や将来の移住にもつなげていくための取組。登録者には①ふるさと情報の提供、②兵庫県産品の購入、③県内地域との交流促進など、県民証を通した様々なサービスを提供。登録者数は平成31年3月末時点で2,100人を突破

□高校生が考える県政150周年記念事業（高校教育課）
　生徒が、高校生の視点で兵庫県の地域の歴史、産業、文化等について新たな価値を見いだし、兵庫県あるいは地域の在り方を考察することを通して、生徒のふるさと兵庫を愛する態度を醸成するとともに、将来、兵庫県を支える人材づくりを推進

□県政150周年記念式典の開催（新規）（県政150周年記念事業課）
　県民とともに150周年を祝い、将来への展望を共有する機会を目的に県政150周年記念式典を開催し、記念演奏や小中学生による発表、記念講演を実施（平成30年7月12日神戸国際会館にて 約1,500名が参加）

□フィナーレイベントの開催（新規）（県政150周年記念事業課）
　平成30年1月から平成31年3月までの15か月にわたる県政150周年記念のフィナーレを飾るイベントを開催（平成31年3月16日兵庫県公館にて 約400名が参加）

□県政150周年記念事業の広報展開（新規）（県政150周年記念事業課）
　ノベルティ等啓発物の作成や、マスコミ等との連携により、7月12日を中心に記念事業実施期間中、県政150周年をPR(リーフレット・ピンバッジ・うちわ各15,000個を作成・配布、NHK・サンテレビ・ラジオ関西と連携し、番組を放送)

□県民との協働推進事業（県政150周年記念事業課）
　県政150周年の節目を迎えることから、県内で活動する団体が企画・実施する創意工夫にあふれた様々な取組を支援（補助実績：1,131件、補助額約390,070千円）

□県政150周年みなと神戸花火大会の実施（新規）（県政150周年記念事業課）
　県政150周年記念事業の一環として、「みなとこうべ海上花火大会」に兵庫県も参画し、特別版の花火大会を実施（平成30年8月4日神戸港にて、打ち上げ数15,000発）

□ひょうごのふるさと魅力発見事業（資料の作成）（新規）（義務教育課）
　子どもたちの兵庫に対する愛着をさらに高めていくため、兵庫の歴史、自然、産業、伝統、ゆかりの人物等の魅力を俯瞰的に見たり、知識を統合したりできる中学生向けの資料を作成・配布

□ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業（県民生活課）
　兵庫を元気にしている人（すごいすと）や地域の伝統行事、場所、人材等の地域の魅力を高校生が取材し発信する「高校生が発見した“すごい○○”）など、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報をインターネットを通じて発信（すごいすと12人、未来のすごいすと2グループ、高校生が発見した“すごい○○”3校）
・来日して阪神・淡路大震災で被災した経験から、スペイン語の防災ガイドブック作成や、ラテン系コミュニティの人たちが災害対策に取り組む契機をつくる
・ナメラ商店街周辺で開催の昭和レトロを体感できる「レトロヂ」やリレーマラソンの「三木ナメラン」は毎回多くの観光客が訪れ、アイデアと地元愛で地域と地場産業を盛り上げる

□ふれあいの祭典「ふれあいフェスティバルin東播磨」の開催（県民生活課・東播磨）
　県民の様々な活動発表の場として「ひょうご五国博　ふれあいの祭典　ふれあいフェスティバルin東播磨」を開催し、ボランティアの参画のもと、地域内外の交流を促進（10/20～21：県立明石公園及び周辺、来場者：約107千人）

□県政150周年を記念した情報発信事業の推進（情報企画課）
　県政150周年にあたり、様々な催しにおいて、VR（仮想現実）技術で再現した150年前の初代兵庫県庁舎へタイムスリップするような体験の場を提供し、県政への親しみを深めるなど、県政150周年をアピール（VR体験コーナー計16日出展）

□外国人県民安全安心ネットの推進（外国人県民相談・情報提供事業）（国際交流課）
　外国人県民を取り巻く課題に対し、行政と外国人団体がその取組を協議する場として「兵庫県外国人県民共生会議」を開催するとともに、外国人県民インフォメーションセンターの運営や、NGO・市町との連携による相談窓口を設置し、様々な生活情報等を提供（相談数 2,514 件、NGO 等と連携した外国人県民相談 959 件）

□「あいたい兵庫 2018 キャンペーン」の実施（観光振興課）
　県、市町、観光関連団体、ＪＲ西日本、地域団体が連携し、本県へのさらなる誘客を図る「あいたい兵庫キャンペーン」を実施（観光客入込数対前年 106.4%）

□農のゼロエミッションの推進（消費流通課）
　農山漁村等における資源の有効利用と循環型社会の構築をめざし、県、市町、民間事業者、県民等が連携し、バイオマス（食品廃棄物、間伐材等）について、たい肥化などのマテリアル利用や、メタン発酵などのエネルギー利用を推進

□地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業（温暖化対策課）
　バランスのとれた再生可能エネルギーの導入拡大に向け、小水力発電や小規模バイオマス発電、小型風力発電の導入を検討する地域団体等による事業立ち上げ時の取組等の経費の一部を補助。また、全県的なモデルとなり得る先進的な地域団体等の取組に対し、設備導入に必要な経費の一部を無利子貸付により支援(立ち上げ時取組支援５団体、基本調査等補助２団体、無利子貸付１団体)

□明石公園・明石城　築城 400 周年記念プレ事業の推進（新規）（公園緑地課）
　平成 31 年度に行う明石城築城 400 周年記念事業に向けて、機運を醸成するため、築城 400 周年･市制 100 周年合同ＨＰ及びインスタグラム公式アカウントを開設したほか、駅前市民講座、絵画コンクール、フォトコンテストなどのプレイベントを実施

□ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会の運営（住宅政策課）
　自然と調和した豊かなライフスタイルの実現、地域間連携の強化及び都市農村交流の促進による交流人口の拡大を図るため、県、市町、ＮＰＯからなる協議会を運営。ひょうご田舎暮らし臨時相談所を設置し、多種多様な相談に対応

□兵庫県の祭り・行事調査の実施（文化財課）
　県内の祭り・行事の実情把握のため地区ごとに調査票による基礎調査を行い、その中から、個別テーマによる実地調査を実施。調査成果を報告書として刊行し、保護措置を検討

□ひょうごの遺産魅力発見事業（文化財課）
　県内の豊かな歴史文化を、地域への誇りや愛着の醸成に活かすだけでなく、地域振興や観光交流に活用。日本遺産認定への支援を行い、認定後は地域の魅力発信を支援
平成 29 年度:「播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道～資源大国日本の記憶をたどる 73㎞の轍～」　平成 29 年４月 28 日認定
平成 30 年度:「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地･船主集落～」　平成 30 年５月 24 日追加認定

□松帆銅鐸等埋蔵文化財を活用した地域振興への積極的支援（文化財課）
　松帆銅鐸について国生み神話との関係を明らかにし、周知することで文化財を通じた地域振興、ふるさと意識醸成

□「あにあん倶楽部」での阪神南の情報発信（阪神南）
　地域情報総合ポータルサイト「あにあん倶楽部」を運営し、尼崎、西宮、芦屋の多彩な観光資源や魅力、特色を情報発信し、３市の交流を促進（会員 5,043 人）

□阪神アグリパーク構想推進事業（阪神北）
　阪神地域の多様な「農」と「食」に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークと見立てた「阪神アグリパーク構想」の推進において、阪神産フル

ーツの認知度向上や消費拡大を図るため、阪神フルーツ♥スイーツコレクションを県政 150 周年記念事業として実施（参加者 225 人）

□東播磨観光ツーリズムの推進（東播磨）
　兵庫大学との連携事業として、海外バイヤー等が集まる観光商談会へ出展（２日間で 16 団体と商談）するとともに、外国人向けの東播磨ツーリズムマップを作成（英語(2,100 部)、中国語(簡体字、繁体字各 500 部)、韓国語(1,000 部)）し、東播磨地域の観光をＰＲ

□北播磨移住促進事業の推進（北播磨）
　移住希望者に対して北播磨地域の魅力・利便性等を紹介する、定期相談窓口を開設（毎月第 2 土曜日・神戸)、合同移住相談会の開催（主催 3 件・出展２件)、“ ちょうどいい ” 北播磨 LIFE 体験バスツアーの実施（1 回）

□日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト（中播磨）
　日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会を中心に、認定ｽﾄｰﾘｰの魅力発信や日本遺産を通じて、周辺の魅力を含めた地域のﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化や活性化の取組を実施
・JR 播但線を「銀の馬車道・鉱石の道」に見立て、沿線の歴史的背景や食文化を発信する特別列車ｻｲｸﾙﾄﾚｲﾝを運行（平成 31 年 3 月 24 日（日））
・人情喜劇「銀の馬車道・鉱石の道」の新たな脚本製作・公演（平成 30 年 8 月 19 日（日））
・銀馬車かぼちゃを活かした料理教室、銀馬車かぼちゃ特別ﾒﾆｭｰの重点ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ

□「思わず行きたくなる中はりま」誘客促進事業（新規）（中播磨）
　ひょうごｺﾞｰﾙﾃﾞﾝﾙｰﾄの南北軸を担う「銀の馬車道　鉱石の道」を核としつつ、中播磨全体の魅力を発信することにより、「思わず行きたくなる中はりま」を推進
・中播磨管内ﾓﾆﾀｰﾂｱｰを実施（4 回）
・姫路郵便局屋上での撮影会（平成 30 年 11 月 21 日（水））
・思わず人に知らせたくなる「中はりまの写真ｽﾎﾟｯﾄ」の選定と Web ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ

□銀の馬車道プロジェクトの推進（中播磨）
　銀の馬車道ネットワーク協議会が主体となって銀の馬車道をＰＲ

□「宿場町平福」まちづくり（西播磨、中播磨）
　景観資源や歴史・文化資源を生かした地域の活性化を進めるため、住民団体が実施する「利神城跡及び平福地区の景観資源を生かしたイベントの開催」等を支援
【イベント内容】①利神城跡周辺の環境整備、②瓜生原邸におけるカフェ、ファッションショーの開催、③景観フォトコンテスト、④平福の町歩きイベント等　計６件

□「但馬で働こう」大作戦の推進（但馬）
　若者の地元就職促進のための就職面接会、合同企業説明会の開催や、但馬で暮らす先輩達の声をまとめた「UI ターン就活応援ブック」を発行

□夢但馬周遊ツーリズムの推進（但馬）
　JR 西日本等と協働した広域観光キャンペーンや、京阪神地域への観光プロモーション、観光素材説明会等を通じ、但馬地域の多様な観光資源を一体的に PR

□山陰海岸ジオパーク活動の推進（但馬）
　山陰海岸ジオパーク推進協議会が中心となり、ジオパークの普及啓発やジオパークの素材を活かした地域づくり事業を展開(ビジネス創出支援事業４件、ジオパークガイド魅力向上支援事業５件、ジオパークを守る活動への補助 16 件）

□但馬地域の近代化遺産の情報発信（新規）（但馬）
　約 10 年前に作成した「但馬の近代化遺産ガイドブック」を更新。新たな遺産の発掘や利活用状況などの内容更新を行うとともに、英語版ガイドマップを新たに作成。但馬県民局管内の観光協会や道の駅などで配布するとともに、県ＨＰでデータ公開（ブック(マップ付き)4,000 部、マップ(日本語版)18,000 部 (英語版)2,000 部）

□移住・環流プロジェクト推進事業（丹波）
　丹波地域での田舎暮らしの魅力を紹介するセミナー等を実施（たんば暮らしセミナー・カフェ 参加者 369 人、たんば暮らしファン NET 登録者 288 人）

□丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム開館記念イベント開催事業（新規）（丹波）
　平成 30 年を野外博物館開館元年と位置付け、「篠山層群ドローン空撮イベント」の開催やプロモーションビデオの作成・上映等、様々な事業を展開

□観光情報の戦略的発信事業（丹波）
「ぶらり丹波路」で統一した観光イメージ戦略を展開し、四季折々の観光情報を様々な媒体により情報発信（ホームページの刷新、イメージポスター、リーフレットの発行）

□「淡路島文枝 100 選」動画の活用（淡路）
　淡路島名誉大使の桂文枝さんが淡路島の自然、景観、歴史、文化、食など島の魅力から選定した「淡路島文枝 100 選」PR 動画を更新し、阪急梅田 BIGMAN で放映

□淡路島日本遺産ロールプレイングゲーム（ＲＰＧ）の開発（新規）（淡路）
　島民のふるさと意識醸成と国内外からの誘客を促進するため、淡路島日本遺産の構成文化財を巡る形でストーリーが展開するスマートフォン用ＲＰＧを開発（平成 31 年 4 月配信開始）

□都市住民の転入促進事業の推進（淡路）
　「あわじ暮らし・交流」情報を一元的に受・発信するワンストップ窓口「あわじ暮らし総合相談窓口」を運営し、移住希望者へきめ細やかな相談対応を実施（53 件 123 人が当窓口を経由し移住)。また、移住ニーズを把握するため、県、市、NPO からなる「あわじ島に住もう促進協議会」を設け、島内３市が連携し、移住者の受入強化を促進

地域づくり活動に役立つ情報提供

□多自然地域アンテナショップ運営事業（地域振興課）
　多自然地域の集落等で生産された生鮮野菜、花卉、加工食品、特産品等を販売するとともに、多自然地域と都市との交流拠点となるアンテナショップを運営（来店者 278,801 人）

□地域づくり活動情報システム「コラボネット」による情報発信（県民生活課）
　活動ノウハウの共有や団体間の交流を促進するため団体・ＮＰＯ等の概要や活動概要を登録し、サイトで発信（活動登録件数 5,546 件）

□のじぎくボランタリーネットの運営（県民生活課）
　登録者にメールマガジン等によりボランティア募集情報等を提供し、イベントや地域におけるボランタリー活動への参加を支援（個人登録 2,030 件、団体 253 件、メールマガジン発行回数 29 回）

□生涯学習情報コーナーでの情報提供（県民生活課）
　県民の生涯学習を支援するため、情報提供コーナーを設置（神戸クリスタルタワー６Ｆで開設（月～金））

□こころ豊かな美しい兵庫をめざす県民運動の推進（県民生活課）
　県民一人ひとりが地域課題に応じたネットワークを築きながら連携・協働する“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動を展開（年間テーマ「家族・地域の絆を深め、ふるさと意識を育もう」のもと、12 の実践目標を「こころ豊かな美しい兵庫推進会議」を通じて提唱）※県民局・県民センターごとにも地域推進会議を通じ研修交流会等を実施

□医療ビッグデータを活用した健康づくりへの支援（健康増進課）
　特定健診や医療費データ等を収集・解析し、健康課題を明らかにし、県・市町・県内企業の健康づくりの推進を図るとともに、個人の将来の健康リスクを提示するための「ひょうご健康づくり支援システム」の開発に着手（H31 年度運用開始予定）

＜参考＞

■ＳＮＳ等を活用した情報提供

区 分	名 称	件 数
Ｆａｃｅｂｏｏｋ	「ひょうごの元気ムラ」 「ひょうご減災活動の日」 「あいたい兵庫」　など	72 件
Ｔｗｉｔｔｅｒ	「hyogokoho」 「兵庫県安全安心な消費生活推進本部」 「兵庫県子ども・子育て支援推進本部」など	19 件
Ｌ　Ｉ　Ｎ　Ｅ	「はばタン」 「いのち支える（兵庫県いのち対策室）」 「ひょうごで働こう！プロジェクト」	３件
Ｉｎｓｔａｇｒａｍ	「兵庫県公式地域創生インスタグラム」 「ヒョーゴアーカイブス」 「ひょうごの景観ビューポイント 150 選」 「兵庫県立美術館公式インスタグラム」	４件
メールマガジン	「ひょうごさわやか通信」 「のじぎくボランタリーネット」 「県民交流広場メールマガジン」など	８件

■各分野別の地域づくりに役立つ情報紙

＊〔男女共同参画〕ひょうご男女共同参画ニュース　年 12 回、 6,400 部発行
＊〔家庭応援〕ひょうご家庭応援県民運動だより　ホームページ上で発信
＊〔青少年〕青少年ひょうご　年３回、 19,500 部発行
＊〔消　費〕生活情報リポートＡらいふ　年３回、 11,000 部発行
＊〔人　権〕ひょうご人権ジャーナルきずな　年 12 回、28,500 部発行
＊〔環　境〕エコひょうご　年４回、 2,000 部発行

◆ 活動の段階に応じた幅広い相談に対応

活動の立ち上げや団体運営、ＮＰＯ法人の設立、地域資源を生かした起業など地域づくり活動に関する様々な相談に応じました。
また、兵庫に移住しようとする人たちへの相談体制の充実を図りました。

地域づくり活動に役立つ情報提供

□カムバックひょうご促進事業（地域創生課）
兵庫県への移住（UJI ターン）を促進するため、東京・神戸のカムバックひょうごセンターにおいて、ハローワークやひょうご住まいサポートセンターと連携し、移住に必要な様々な相談を総合的に実施
・カムバックひょうごセンターでの移住相談：窓口相談 700 人/年、
イベント相談 4,611 人/年(H30 実績)
・就農/就職セミナー、移住相談会等への出展：34 回/年(H30 実績)
・移住者数：107 人（H28.1～）

□ひょうごボランタリープラザでの活動相談（県民生活課）
ひょうごボランタリープラザにおいて、ＮＰＯ法人の設立申請、報告書の書類作成や、災害ボランティア活動等に関する相談に対応。また、県内各地域で活動するＮＰＯ法人とも連携してコミュニティ・ビジネスの起業、法人運営、資金調達等に関する相談対応を実施（相談件数 78 件）

□中間支援組織を通じた活動相談（県民生活課）
ひょうごボランタリー基金「中間支援助成」により、中間支援組織による相談（活動相談、ＮＰＯ法人立ち上げ相談等）業務を支援

□生活創造センター・生活創造情報プラザでの活動相談（県民生活課）
子育て、青少年育成、男女共同参画、環境保全など多彩な分野の生活創造活動を支援するため、生活創造センターや文化会館等において相談対応や活動スペース等を提供（生活創造センター３か所、生活創造情報プラザ５か所）

□ICT を活用した市町消費生活相談支援事業（消費生活課）
遠隔地や一人体制の市町にも研修受講機会が設けられるよう、県及び市町消費生活センターを結ぶＷＥＢシステムを導入し、市町の消費生活相談の充実を支援

□地域活動コーディネーターの設置（青少年課）
地域情報の提供や地域資源のつなぎ役となるコーディネーターの設置（県民局・県民センター圏域ごとに１人設置、活動実績 8,285 件）

□西播磨暮らしサポートセンターの運営等（西播磨）
西播磨地域への移住や短期滞在など田舎暮らしに関する相談・情報提供等をワンストップで行う「西播磨暮らしサポートセンター」を運営するなどの取組を推進（西播磨暮らしサポートセンターでの情報提供・相談 903 件、移住 11 世帯）

□たじま暮らしの推進（但馬）
但馬の多様な魅力とＵ・Ｉターン関連情報を、管内市町及び関係団体と連携して、「オール但馬」として総合的に発信（たじま田舎暮らし情報センターへの相談件数 134 件／年、移住情報提供希望者数 30 件／年）

＜参考＞地域づくり活動に関する相談窓口

分野	機関・施設名
県民運動・地域づくり	各県民局・県民センター県民交流室
ボランタリー活動	ひょうごボランタリープラザ
生涯学習・実践活動	生涯学習情報コーナー
	神戸生活創造センター 東播磨生活創造センター 丹波の森公苑 但馬文教府 西播磨文化会館 淡路文化会館 嬉野台生涯教育センター 中播磨県民センター県民交流室
生きがいしごと （コミュニティ・ビジネス含む）	生きがいしごとサポートセンター神戸東　ワラビー 生きがいしごとサポートセンター神戸西　ＮＥＸＴ 生きがいしごとサポートセンター阪神南　ＵＮ（ｱﾝ） 生きがいしごとサポートセンター阪神北　ＣＤＣ 生きがいしごとサポートセンター播磨東 生きがいしごとサポートセンター播磨西
ＮＰＯ法人制度ほか	兵庫県企画県民部県民生活局県民生活課
認知症高齢者見守り	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課認知症対策室
健康づくり	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課
環境学習・教育	ひょうごエコプラザ
男女共同参画	兵庫県立男女共同参画センター

※分野別の活動相談は、上記の他にも各分野の関係機関で受付

（２） 知識・技能の習得機会提供

◆ 地域で活動するための知識や技能の学びを支援

地域創生を実現する上で、ふるさとを愛する心を育てることが、参画と協働による地域づくりの推進力になることから、多様な世代が地域の魅力や課題について学び、ふるさとへの想いを高める取組を各地域で幅広く展開しました。

青少年の体験学習の充実

□シニア世代から子育て世帯へのふるさと伝承事業（男女家庭課）
　シニア世代と子育て世帯が交流する機会を増やし、地域での一体感やきずなを深めるとともに、地域の伝統を再認識し、愛着心や誇りを育み、子どもや子育て世帯のふるさとへの想いを高める取組を支援（実施地区 19 地区、実施団体 13 団体、実施テーマ 16 件）

□「ひょうごっ子・ふるさと塾」の実施（青少年課）
　青少年が、“ 身近な地域での社会体験 ” や、“ 豊かな自然に触れる多様な体験 ” をしながら、世代間や地域間で交流し、ふるさと意識を醸成（149 件）

□こどもの館子育てふれあい事業（青少年課）
　高校生等が関係団体等と連携し、イベントを企画立案・運営し活躍するとともに、意識向上を推進（高校生等ボランティア数延べ 988 人）

□高等学校における消費者教育の推進（消費生活課）
　自ら考え、行動する自立した消費者を育成するため、教育委員会や学校現場と協働で実施（消費生活センター等による出前講座 73 回）

□若者の消費者力アップ事業（消費生活課）
　大学生協との連携により養成した「くらしのヤングクリエーター」を中心に、大学生等の消費者力アップに向けた取組を多様な団体等と連携して実施（啓発活動 28 回、消費者教育講座の導入支援 2 回）

□ふるさと文化の伝承・発信サポート事業（芸術文化課）
　地域の文化団体や住民等が主体となって、かつて継承されていた民俗芸能の復活や維持発展、生活文化の伝承など、地域固有の魅力的な文化資源を体験し保存することで、ふるさとの魅力発信に取り組む事業を支援（補助件数 22 件）
　[主な内容]
　・湯村の火祭り等の伝承行事を次代へ継承する事業（新温泉町）
　・担い手が減少している伝統的な踊りの保存と地域の祭りでの披露（宍粟市）
　・現存する茅葺古民家を会場として、芸術文化イベントを開催（神戸市）
　・国登録有形文化財を拠点に、町歩きの実施や伝統芸能の鑑賞会（加西市）
　・一時期途絶えた獅子舞の完全な形での復活・継承を目指す事業（神戸市）等

□はばタンの環境学習（環境政策課）
　幼稚園・保育所・認定こども園等にはばタンと訪問し、大型の紙芝居を使い、資源を大切にすることを伝えるなど、環境に配慮した生活習慣を育成（訪問園数 15 園）

□環境体験事業の実施（義務教育課）
　小学生のふるさとの自然への愛着を醸成するため、保護者、地域ボランティア、ＮＰＯ等との協働により、体験型環境学習を全公立小学校で実施(支援者延べ 12,381 人(749 校))

□伝統文化の学びの充実事業（義務教育課）
　伝統文化に関する学習を充実するため、モデル校を指定し、指導方法や地域の人とともに取り組む方法について、実践研究と成果の普及・啓発を推進（モデル校 12 か所、連絡協議会の実施２回）

□地域に学ぶ「トライやる・ウイーク」の実施（義務教育課）
　全公立中学２年生を対象に、地域や自然の中で生徒の主体性を尊重した様々な社会体験活動を展開（実施校数 359 校、生徒数 43,614 人、活動場所 17,180 か所、指導ボランティア数 23,487 人）

□地域に活かす「トライやる・アクション」の実施（義務教育課）
　中学生が土日や長期休業日等を利用して、地域の祭りや清掃事業など既存の地域行事を企画運営するなど、主体的に地域に貢献する取組を校区推進委員と協働で実施（実施校 219 校、参加生徒 45,733 人）

□自然学校の推進（義務教育課）
　小学生が自然に触れる機会を確保するため、技術指導員、自然学校に帯同する大学生等の指導補助員やボランティア等の支援を受けて、全公立小学校で実施（支援者延べ 5,149 人、749 校）

□道徳教育推進事業の実施（義務教育課）
　児童生徒の道徳性を育成するため、道徳教育実践推進協議会の設置や実践研修の実施、実践事例集の作成等を実施(道徳教育実践研修の実施（年２回全県・地区別）)

□特別支援学校交流・体験チャレンジ事業（特別支援教育課）
　特別支援学校において、在籍する児童生徒等の自立と社会参加に向け、交流・体験活動にチャレンジ。地域への特別支援教育の理解啓発を推進（すべての県立・市立特別支援学校 44 校）

□高校生ふるさと貢献活動事業（高校教育課）
　高校生の地域社会の一員としての自覚を育むため、地域行事などふるさとへの貢献活動を支援（実施校 147 校、参加生徒 85,429 人）

□社会参画推進学習プログラム研究事業（高校教育課）
　高校生の主権者意識、社会発展に寄与する力など、社会参画のための実践力育成に資する調査研究を実施

□高等学校地域オープン講座の開設（高校教育課）
　地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校の特色となる科目や地域住民の関心が高い科目について、地域住民に対して高校生とともに学ぶ場を提供（実施 12 校 24 講座、受講者 173 人）

□伝統文化研修館の活用推進（中播磨）
　伝統文化を人間形成の軸とし、青少年の文化力アップ、国際交流と異文化理解、文化発信と人材育成の推進を図るための各種事業を展開し、中播磨から兵庫県全域に広く兵庫県伝統文化研修館の意義や取組を発信

□たじま子ども体験バスの運行（新規）（但馬）
　小学生を対象に、但馬の観光資源や地域資源、先進的な取組を進める地元企業等を訪問する体験バスを運行。但馬の歴史、風土、産業等に触れ、地域の魅力を実感してもらう機会を提供（参加者：夏 43 人、冬 37 人）

□“もりびと”育成事業（丹波）
　小・中学校、高校において、児童・生徒の発達段階に応じて、ふるさとの自然環境や歴史、文化、特産物等について学習・研究活動を行い、その成果を発表（フォーラムでの発表やパンフレット等の作成・配布）

多様な世代の生涯学習の充実

□ひょうご地域再生塾の実施（地域振興課）
　専門科目の講義と先進地の視察を通じ地域資源を活かした地域活性化の担い手を育成（基礎研修１回（神戸）、起業化・法人化研修を２回（神戸、但馬）開催）

□文化会館等の活性化（県民生活課）
　文化会館等（但馬文教府、西播磨文化会館、淡路文化会館、嬉野台生涯教育センター）において日常的・継続的な賑わいを創出するため、施設ごとの地域特性やニーズを踏まえ、地域の各種団体等が参画し、協働する活性化事業を実施

□高齢者大学講座の運営（県民生活課）
　園芸や健康づくり、教養など、受講者の多様な興味を深めると同時に、それらを地域活動にも活かせる学習プログラムを提供。地域活動支援センターを活用し、学生や卒業生に対して地域づくり活動に関する相談やマッチング等の支援を実施
【いなみ野学園(受講生)】
　４年制[園芸学科・健康づくり学科・文化学科・陶芸学科] 1,081 人、
　大学院（２年制）118 人、高齢者放送大学（1 年制）1,957 人
【阪神シニアカレッジ(受講生)】
　４年制[園芸学科・健康学科・国際理解学科] 562 人、
　阪神ひと･まち創造講座（２年制）46 人
【地域高齢者大学講座(受講生)】
　うれしの学園生涯大学講座、但馬文教府みてやま学園、
　西播磨文化会館ゆうゆう学園、淡路文化会館いざなぎ学園、
　丹波ＯＢ大学講座　計 1,086 人

□ひょうごインターキャンパス（県民生活課）
　講座、イベント、学習場所等の生涯学習情報をインターネット上で一元的に提供（参画機関数 512 機関）

□県立広域防災センターの運営（消防課）
　来館者に対して県立広域防災センターの平常時と災害時の役割を PR し、災害時の自主防災組織の役割や防災関係機関との連携について周知するとともに、起震車による地震体験、煙避難体験等を通じて、県民の防災意識付けを強化（訪問者数 53,062 人）

□楽農学校事業（楽農生活室）
　生きがいとして農業を楽しむ人を対象とした基礎的技術の習得や、本格的に就農を目指す人を対象とした総合的技術の習得に係る研修等を実施し、県民の楽農生活の実践を支援（受講者 138 人）

□ふるさとカムバック農業塾推進事業（農業改良課）
　中高齢者の就農を支援するため、農業・農村に係る知識及び技術習得等のための講座を実施（受講者 214 人、うち就農者 63 人）

□森林ボランティアの育成（豊かな森づくり課）
　森林ボランティア活動の維持・強化を図るため、地域の環境保全の担い手として、森林ボランティア講座や森林ボランティアリーダー養成講座を開催（受講者計 79 人）

□エコツーリズムバス運行支援事業（環境政策課）
　環境関連施設での学習機会や貴重な自然環境に触れる機会を提供するため、団体等が借り上げたバス等の経費の一部を助成（利用台数 289 台）

□ひょうご環境体験館の運営（環境政策課）
　「ひょうご環境体験館」において、地球温暖化対策技術等の展示や体験型環境学習・教育事業を実施（利用者数 32,684 人）

□社会基盤学習の実施（技術企画課、各県民局・県民センター）
　道路・河川等の社会基盤施設を題材にした出前講座の実施により、子どもたちが災害の恐ろしさや社会基盤の役割・必要性を学ぶ機会を創出（82 小学校、1 中学校、6 高等学校で実施）

□地域に学ぶ人権学習推進事業（人権教育課）
　地域にある豊かな学習素材を活用した人権学習資料集を開発・発信（6 地区に事務所を設置し調査員を配置、13 市町で 44 講座実施）

地域の魅力や課題を学ぶ取組の支援

□地域遺産活用指針（仮称）の策定（新規）（地域遺産課）
　市町・個人・事業者等様々な主体が、地域遺産を活用した取組を行う際に活用できるガイドラインとなる地域遺産活用指針（仮称）を策定する（平成 30 年 8 月 27 日、兵庫県民会館にて検討委員会を開催）

□若者等による地域資源の発掘・魅力の継承（地域遺産課）
　五国に存在する多彩な文化・自然資源を保全・活用できるよう、データベース化を行うとともに、若者の視点を活かした地域資源の発掘を行う（データベースの公開・閲覧方法を検討）

□神　戸：淡山疏水の偉業に触れるツアーの実施
　明治から大正にかけて建設された歴史ある産業遺産、そして、今もなお農地を潤し続け地域農業の振興や景観保全に大きく寄与している「淡山疏水」の理解を深めるとともに、地元直売所で安全安心な農産物に触れることで、地元農産物のファンを増やすとともに、都市と農村の交流を促進
　○六甲山における生物多様性保全事業の推進
　○ミュージアムロード魅力発信事業の推進
　○県庁発祥の地再発見事業（新規）
　○神戸ジャズの歴史と魅力発信事業
　○農都こうべ食農教育推進事業の実施

ツアー参加者全員の記念写真

□阪神南：阪神南リレーミュージアムの実施

地域の文化施設と連携し“ 文化で感じる阪神南の 150 年 ”をテーマに施設紹介冊子の作成やフォーラムを開催。地域の豊かな文化の発信力を強化

○尼崎の森ファミリークラブの実施

阪神南リレーミュージアムフォーラム（甲子園会館ツアー）

□阪神北：「北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）」構想の推進

北摂里山の魅力の国内外への発信と持続的な保全に向けた取組や里山の新たな利活用を進めるため、「北摂 SATOYAMA 国際セミナー」を開催（131 名参加）

○「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の開催

○地域ビジョン委員会シンボルプロジェクト「地域見本市」の開催

北摂 SATOYAMA 国際セミナー

□東播磨：東播磨「農」のブランド化大作戦

東播磨産農畜水産物を活用した新たな名物料理（９品目）の創出、地産地消フェア商談会等（参加者約２００名）の開催、ふれあいフェスティバルｉｎ東播磨や神戸ハーバーランドカルメニ等での販売（５回）等による県内外へのブランド力強化と需要拡大を推進

○水辺の地域づくりの推進

新たな名物料理お披露目会

□北播磨：来た、見た、知った！食の探検隊（バスツアー）

HACCP 施設を見学し、その製品や北播磨産農産物等の試食を通じて、北播磨の地の利を活かした企業の事業展開や食の安全性確保に向けた取組を学習

○地域活動づくりへの支援

○ホントにゴミ？ゴミからお宝発見！リサイクルツアーに出かけよう

○北はりま田園空間博物館交流事業の推進

○孫ターンの推進

食の探検隊
(ﾊﾞｽﾂｱｰ)

□中播磨：日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト

JR 播但線を「銀の馬車道・鉱石の道」に見立て、沿線の歴史的背景や食文化を発信する特別列車ｻｲｸﾙﾄﾚｲﾝを運行（平成 31 年 3 月 24 日（日））

○銀の馬車道プロジェクトの推進

サイクルトレイン

□西播磨：県立龍野北高等学校との連携事業

西播磨文化会館と県立龍野北高校との間で締結した協定に基づき、地域貢献を目指した人材育成を促進することを目的として、高校生と高齢者大学生との意見交換会や看護・介護体験講座、ユニバーサルファッションショー、会館内のゆうゆうの森づくり等様々な連携事業を実施

○西播磨環境学習の推進

○県立高校との連携による人材育成

○西播磨アグリフロンティアカレッジプロジェクト

○西播磨フロンティア祭 2018 の開催

環境建設工学科による会館内整備

□但　馬：たじま子ども体験バスの運行

小学生を対象に、但馬の観光資源や地域資源、先進的な取組を進める地元企業等を訪問する体験バスを運行。但馬の歴史、風土、産業等に触れ、地域の魅力を実感してもらう機会を提供（参加者：夏 43 人、冬 37 人）

○環境学習の推進

○産業活性化の推進

○コウノトリと共生する地域づくりの推進

○因幡・但馬・丹後広域観光キャンペーンの推進

○ハチ高原ウスイロヒョウモンモドキ保護対策と交流の促進

○但馬グリーン・ツーリズムの推進

○「但馬みどりの回廊計画」の推進

たじま子ども体験バス

□丹　波：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム開館記念イベント開催事業

平成 30 年を野外博物館開館元年と位置付け、「篠山層群ドローン空撮イベント」の開催やプロモーションビデオの作成・上映等、様々な事業を展開

○丹波の環境パートナーシップづくり事業

○「丹波ファン」拡大チャレンジ事業

○観光情報の戦略的発信事業

○関西学院大学柏原スタジオの運営支援事業

○学生等による地域貢献活動推進事業

プロモーションビデオ

□淡　路：「淡路ふるさと学習副読本」、「あわじ環境未来島副読本」の活用

「淡路ふるさと学習副読本」、「あわじ環境未来島副読本」を小学校５・６年生の授業で使用し、子どもたちのふるさと意識を醸成するとともに、教員を対象とした研修会や「淡路ふるさと検定」を実施

ふるさと学習副読本

○あわじ環境未来島構想の推進
○日本遺産「国生みの島」推進事業
○「淡路くらしのひろば展」の開催
○「あわじ菜の花エコプロジェクト」の推進
○淡路島の景観づくり運動の推進
○「あわじ緑花スタイル」の推進
○ため池交流保全の全島展開

地域づくり活動の実践的な知識やノウハウを学べる学習機会の確保

□子育て応援ネットの推進（男女家庭課）

小学校区ごとに地域の団体や住民がネットワークを組み、地域ぐるみの子育て家庭支援を全県的に推進（県内の全小学校区でネットワークを立ち上げ）

□「参画と協働ガイドブック」を活用した県民への普及・啓発（県民生活課）

参画と協働に関する県民意識を醸成するため県民の地域づくり活動のためのヒントや県行政へのアプローチ方法などをまとめたガイドブックを公表

□高齢者の特殊詐欺被害防止に向けた啓発事業（消費生活課）

特殊詐欺の標的となりやすい高齢者に対し、自治会・老人クラブ等のリーダーを対象とした出前講座を実施（52 講座）

□防災リーダーの活動推進育成（消防課）

自主防災組織など地域防災の担い手となる人材を主な対象として、防災に関する知識・技術を体系的・実戦的に習得するための講座を実施（修了者 319 名）

□「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの実施（社会福祉課）

地域住民が共に支え合うことのできる社会づくりを進めるため、地域フォーラムの開催などの普及啓発事業に要する経費を補助（248 団体参加・全県対象の「推進フォーラム」のほか、地域ごとのフォーラムを開催）

□民生・児童協力委員活動支援事業（社会福祉課）

地域における福祉活動の充実強化を図り、県民の参加と連帯を基調とする「すこやかな社会づくり」を推進するため、社会奉仕の精神に基づき、民生委員・児童委員に協力して福祉活動を行う民生・児童協力委員の設置及び活動等を支援（民生・児童協力委員定数：9,070 人）

□地域における認知症支援体制の強化（街頭キャンペーン等）（認知症対策室）

認知症への理解を促進するため、啓発月間に街頭キャンペーンやウォーキング等により認知症の人とふれあう機会を創出するとともに、情報交換や早期発見・早期支援での関わり方を学ぶ認知症カフェ連絡会・研修会を開催（全県キャンペーン３回、ウォーク 10 回、カフェ連絡・研修会２回）

□ひょうご介護サポーター研修事業（高齢政策課）
　特別養護老人ホームや介護老人保健施設において、中高年齢層、子育てが一段落した女性、離職者等を対象に、介護業務の１日体験を実施し、興味を抱いた参加者に「ひょうご介護サポーター」として登録してもらい、就労関係等の情報を提供（107 人）

□介護支援専門員への自殺予防研修の実施（いのち対策室）
　介護を受ける高齢者や家族の自殺を防止するため、介護従事者に対する研修を実施（３か所 218 人参加）

□いのちとこころを支える相談職員養成研修（いのち対策室）
　自殺対策に従事する職員等が自殺リスクの高いものから援助を求められた場合に適切に対処できる対応力を習得するための研修を開催（30 人養成）

□ひょうごいのちとこころのサポーター養成事業（いのち対策室）
　相手の心に寄り添い、安心感を与え、ほほえみや笑いを引き出す「いのちと心のサポーター」を養成（93 人養成）

□新規就農駅前講座等推進事業（農業経営課）
　サラリーマン等が現在の職業を続けながら就農に必要な農業の基礎知識が習得できる講座を開催することにより、新規就農意欲を喚起し、就農を促進（受講者 63 人）

□認知症サポート商店街モデル事業（新規）（阪神北）
　認知症の人も安心して買い物ができる商店街を認定・助成し、認知症サポーター養成講座等を開催（認定箇所４か所）

（３） 活動・交流拠点確保

◆ 身近な活動拠点や地域の「たまり場」づくりを支援

地域づくり活動に取り組む団体が行う、住民の交流を促進する地域のたまり場づくりや地域間交流とにぎわいの拠点づくりを支援するとともに、生涯学習、地域づくり活動の広域的な拠点の充実を図りました。

身近なたまり場づくり支援

□子育てほっとステーション設置事業（男女家庭課）
子育て家庭の孤立防止のため、商店街等の空き店舗を活用して親子がくつろげるスペースを設置（設置箇所 52 か所（累計））

□まちの子育てひろば事業の推進（男女家庭課）
子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みや情報共有の場として、「まちの子育てひろば」を開設し、コーディネーターや専門家を配置（ひろば開設数 1,964 か所）

□子どもの冒険ひろば事業の推進（青少年課）
身近な地域の大人が子どもたち（主に小学生）を見守り、安心して自由に遊べる場である「子どもの冒険ひろば」を開設し、地域ぐるみの子育てを推進（ひろば開設数 620 か所）

□県民交流広場を活用した地域力の強化（新規）（県民生活課）
平成 16 年～29 年度に整備した、県民交流広場の拠点機能の維持・強化を図るため、備品更新等に要する経費を助成（助成件数 112 団体、助成額 19,330 千円）

□高齢者自立支援ひろば設置事業（高齢政策課）
災害復興公営住宅に、高齢者の自立を支援するひろばを設置し、自治会等と連携して常駐型の見守りや介護予防事業等を実施（設置箇所 38 か所）

□職場と地域の健康づくり環境整備事業（健康増進課）
働き盛り世代の健康づくりを支援するため、企業等の空きスペース等の運動施設への改修や運動機器の整備、健康管理機器の購入のための経費を補助（補助件数 21 件）

□商店街新規出店・開業等支援事業（経営商業課）
商店街の空き店舗への新規出店・開業や、子育て・高齢者支援等の地域交流・生活支援施設の設置運営等を支援し、商店街の魅力向上と活性化・コミュニティ機能強化を促進する取組に加え、若者・女性チャレンジ枠を拡充し、幅広い世代の参画を促進（新規出店・開業支援事業 31 件、空き店舗再生支援事業 11 件）

□地域直売所整備促進事業（楽農生活室）
ＪＡ、農林漁業者等が組織する団体、ＮＰＯ、自治会等が、農産物等の直売（買）活動を行うのに必要な施設・備品の整備等を支援（直売所利用者 2,765 万１千人）

□ふるさとむら活動の支援（楽農生活室）

集落（ふるさとむら）に都市部の県民をボランティアとして受け入れ、共に農作業や交流イベント等を行う活動を支援（ボランティア参加者 4,167 人）

□空き家活用支援事業の推進（住宅政策課）

空き家の有効活用や地域活性化を図るため、地域交流拠点として活用する場合の改修費を補助（実績３件）

[主な内容]どぶろくの製造･販売所（加西市）、地元産品を利用した飲食店（丹波市）、地元産品を利用したカフェ・直売所（市川町）

□古民家再生促進支援事業の実施（住宅政策課）

既存ストックの有効活用、伝統的木造建築技術やまちなみ景観の維持・継承を図るため、地域活動や交流・宿泊施設、店舗など地域のにぎわいや地域活性化に資する施設改修費を補助（実績３件）

[主な内容]

・景観重要建造物を改修し、喫茶店として活用（西宮市）
・日本酒発祥の地宍粟の地酒と地域食材をアピールする旅館として活用（宍粟市）
・地酒業者が集積する地域で、地酒販売店として活用（宍粟市）

□「阪神南地域ビジョン交流プラザ」の運営（阪神南）

阪神南地域ビジョン委員の活動拠点となる場を阪神南県民センターに設置し、地域ビジョンの実現に向けた継続的な活動を支援

□ため池コウノトリプロジェクト（東播磨）

ため池を核とした地域団体が取り組む、コウノトリが住みやすい生息環境の整備や地域住民への啓発活動等を支援（浅瀬造成・保全、ビオトープ整備、浚渫、ＰＲ看板設置、視察など６地区）

□空き家活用まちづくり（西播磨・中播磨）

地区住民が実施する空き家を活用したまちづくりの取組を支援するため、モデル地区（上郡町鞍居地区、佐用町西徳久地区）において勉強会を開催（２地区で各５回）

①上郡町鞍居地区：鞍居ふるさと館にて５回開催
②佐用町西徳久地区：西徳久公民館にて５回開催

□西播磨ふるさとの風景づくり（西播磨）

地域資源を活かした地域づくりを進める「西播磨ふるさとの風景づくり活動」を実践してきた集落等の活動がステップアップできるよう、市町や団体による集落再生に必要な施設整備を支援（活性化施設等の整備 10 件）

□丹波の里山づくり促進事業（新規）（丹波）

美しい里山の大切さを再認識し、次世代へつなぐ取組を推進するため、住民意識を醸成するフォーラムや研修会の開催、モデルとなる里山づくり活動団体を選定（活動団体選定数６団体）

生涯学習・地域づくり活動の広域的な拠点づくり

□青少年交流プラザの運営（青少年課）
　青少年や青少年団体の主体的な活動を支援するため、学習・交流の場を提供（来所者数 6,956 人）

□生活創造センター・生活創造情報プラザの運営（県民生活課）
　生涯学習や地域づくり活動に取り組むグループを支援するため、活動・交流の場を提供（利用者計 972,070 人）
　［機能］①情報収集発信、②相談・助言、③学習機会提供、④ネットワーク化、⑤協働事業企画実施、⑥支援機関連携促進

□阪神シニアカレッジ専用学舎の整備（県民生活課）
　多様な学びの提供や学生同士及び卒業生等との交流の活性化を図り、新たな地域づくり活動につなげるため、阪神シニアカレッジの専用学舎整備を推進（平成 31 年 3 月供用開始）

□但馬文教府の機能強化（新規）（県民生活課）
　昭和 38 年の開設以降、但馬地域の芸術・文化、生涯学習等の振興と発展に寄与してきた但馬文教府について、①老朽化が著しい「活動体験館」をふるさと意識を醸成するための拠点としての機能を充実させる「ふるさと交流館」として建替整備、②来館者の回遊性を高め、施設の一体的利用を促進するため、各施設を結ぶ連絡通路の整備、等により、地域文化、スポーツ、生涯学習・地域づくり活動の拠点としての機能のより一層の強化を実施

□生活創造センター等における地域づくり活動の推進（県民生活課）
　生涯学習・地域づくり活動のより一層の活性化を図るため、県政 150 周年を機に、生活創造センター等において、地域の歴史や地域文化、地域づくり活動等を振り返り、将来像を考えるフォーラムや、ふるさと意識の高揚を図るイベント等を実施

□いなみ野学園 50 周年プレ事業の実施（県民生活課）
　創立 50 周年を広く周知するとともに県政 150 周年を記念して、学びながら交流する前年イベント「生涯学習フェスティバル」を開催（来園者数 6,685 人）

□ひょうごボランタリープラザの運営（県民生活課）
　ボランタリー活動に取り組む団体・グループ等を支援するため、活動・交流の場を提供（来所者数 12,747 人）
　［機能］①交流・ネットワーク　②情報提供・相談　③人材養成　④活動資金支援　⑤調査研究　⑥災害ボランティアの支援

□兵庫陶芸美術館の運営（芸術文化課）
　陶芸文化の裾野拡大を図るため普及事業や、県民交流を促進する取組を実施（来館者数 112,589 人)

□芸術文化センターの運営（芸術文化課）
　舞台芸術を鑑賞・創作し、発表する機会を提供して芸術文化振興を図るとともに、地元商店街と連携したまちの賑わいづくりにも参画（公演入場者数 537,021 人）

□ピッコロシアターの運営（芸術文化課）
　県立ピッコロ劇団の公演などを通じて県民が舞台芸術に触れる機会を創出（入場者数 116,999 人（H30.4～H31.2 速報値。年間実績は R01.6 頃確定））

□原田の森ギャラリーの運営（芸術文化課）
　造形芸術の情報発信拠点や創作活動の発表の場として施設を運営。利用団体等からなるギャラリー運営会議を設け県民の参画を促進（来館者数 151,212 人）

□横尾忠則現代美術館の運営（芸術文化課）
　アーティストのライブやトーク、音楽家による施設内コンサートの開催など来館者だけでなく地域住民との交流も推進（来館者数 60,983 人）

□人と防災未来センターの運営（防災企画課）
　震災や防災に関する資料収集・展示をはじめ、実践的な防災研究、災害対策専門職員や若手防災専門家の育成、行政･研究者･市民･企業のネットワークの形成等を通じて、防災に関する知識及び技術の普及を促進（来館者数 507,595 人）

□ひょうご国際プラザの運営（国際交流課）
　国際交流を実践するための場所、情報を提供し、ボランティアとの連携強化や、国際交流に関心のある県民とのネットワークづくりを推進（来所者数 24,750 人）

□ひょうごエコプラザの運営（環境政策課）
　環境学習や実践活動に関する情報提供や支援、人材の紹介など、「環境」に関する取組を促進（利用者数 975 人）

□県立考古博物館の運営（文化財課）
　県内の遺跡及び考古資料の調査研究を行い、その成果を活用して、誰もが主役として参加できる参加体験型･ネットワーク型の博物館活動を展開（来館者数 113,487 人）

□県立歴史博物館の運営（文化財課）
　多くの県民が交流し、新しい学びの場となる「交流博物館」として、県民に親しみのある博物館を目指し、魅力ある特別展等を実施（来館者数 81,513 人）

□県立美術館の運営（社会教育課）
　「元気で賑わいのある美術館」を目指し、特別展、コレクション展の開催をはじめ、ギャラリー、ミュージアムホール、アトリエ、Ando Gallery 等の各施設を活用し、県民が様々な芸術や文化活動に親しむことができる機会と場を創出（入館者数 956,617 人）

（４） 人材確保

◆ 活動に参画・協賛する人材を確保

将来の後継者となる若者が活躍し、女性が持てる力を発揮し、高齢者がこれまで培ってきた知識や技能を生かすなど、全ての人々が活躍できる地域活動の機会づくり等を通じて、活動への参画を促進しました。

地域資源を活かした多彩なプロジェクト事業への住民参画の促進

□ひょうご地域安全ＳＯＳキャッチ事業（地域安全課）
県民が日常生活の中で身近な異変に気付いた際に、匿名で通報できる窓口を設置。地域安全まちづくり推進員等とも連携し、積極的な通報を促進

□潮芦屋まちびらき 20 周年事業（新規）（分譲推進課）
まちびらきから 20 周年の節目に、街の成り立ちを振り返ると共に、未来予想図と先進的な取組等を公民が協働して発信（台風第 21 号の影響により記念式典、シンポジウム等の一部事業を中止）

□ワールドマスターズゲームズ 2021 関西参加促進事業（新規）（スポーツ振興課）
「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」への県民参加促進のため、地域企業及び大学と「スポーツクラブ 21 ひょうご」との連携チーム設立支援や「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」開催競技の新チーム設立支援を実施（H30 年度は 44 チーム設立）

□ミュージアムロード魅力発信事業の実施（神戸）
沿道の魅力を高め、県民が参画・交流し、賑わいと活気あふれるまちづくりに寄与する活動を支援

□県庁発祥の地再発見事業（新規）（神戸）
県庁発祥の地である兵庫津地域等において、県の歩みや当地の歴史遺産を再発見・発信するため、県政 150 周年を記念するイベントを実施（1,554 名来場）

□神戸ジャズの歴史と魅力発信事業（新規）（神戸）
神戸ならではの特色あるエリアでジャズイベントを開催（県政 150 周年記念「KOBE JAZZ DAY 2018」スペシャルステージ 出演バンド数４組／聴衆 600 人、1 DAY JAZZ ROAD 出演バンド数 10 組／聴衆 1,000 人、六甲山夜景ジャズライブ 出演バンド数４組／聴衆 250 人、兵庫津ジャズライブ 出演バンド数７組／聴衆 500 人）

□六甲山ビジターセンターの管理・運営（神戸）
管理・運営に加え、「山の案内人」やコーディネーターを配置することで六甲山の魅力発信と自然環境の重要性への理解促進による誘客促進

□六甲山ビジターセンター環境学習プログラムの実施（神戸）
環境学習プログラムの実施や環境学習運営委員会による環境学習の選考検証など、六甲山のフィールド及び六甲山ビジターセンターを活かした環境学習（283 人参加）

□六甲山名建築物特別公開事業の実施（神戸）
六甲山・摩耶山のツーリズム振興を図るため、常時公開されていない歴史的・建築美術的に貴重な建築物への見学ツアー（111 人参加）の実施に対して補助

□川に親しむ多彩な活動の場整備（神戸）
　天王ダムの貯水池の空間を活用して地元小学校と連携し、児童に河川環境保全の意識を醸成してもらうため、生物観察ができるビオトープを整備し、環境学習の場を提供

□河川愛護活動の支援（神戸）
　県民の河川愛護活動の振興、良好な河川環境の保全を目的として、河川を環境学習の場とする活動（まなぶ）、河川環境保全活動（まもる）、河川を主体とした地域交流活動（ふれあう）に取り組む団体の活動を支援

□尼崎 21 世紀の森づくりの推進（阪神南）
　尼崎臨海地域（約 1,000 ha）において、魅力と活力ある地域に再生するため、緑の回復、創造と水環境の改善による環境共生型のまちづくりを推進

□新たなため池文化の創設（新規）（東播磨）
　人的・知的財産や東播磨の地域資源の活用を図り、地域づくりや多様な分野で相互に協力し、活力ある地域の形成・発展を目的に、平成 30 年６月 30 日に現地解決型の研究・交流拠点「東播磨フィールドステーション」を開設。この拠点を活用し、新たなため池文化の創造やさらには、新たな地域づくりシステムの構築をめざす

□地域でキラリ☆走る環境学習教室（東播磨）
　温室効果ガス排出量が少ない乗り物である鉄道車両を利用し、県下最大の河川「加古川」に棲む生き物や、環境施設の存在など、加古川を取り巻く環境について学び、深く理解することで、加古川に親しみ、さらに水辺環境保全の意識を高揚（２ 回、参加者 50 組 111 人）

□シニア世代地域デビュー交流フェスタの開催（東播磨）
　シニア世代の地域づくり活動への参画を支援し、きめ細やかなマッチングが図られるよう、交流フェスタを開催（18 回、参加者延べ 224 人）

□水辺の地域づくりの推進（東播磨）
　東播磨を象徴するため池群と水路網を地域の財産として守り、活かし、次世代へ継承することを目的とした「いなみ野ため池ミュージアム」の取組を多様な主体の参画により展開し、持続可能な地域づくりを推進

□東播磨の農業経営力アップ事業（東播磨）
　東はりま生活研究グループ連絡協議会（農村女性の農産加工組織）が、ＪＡ農産物直売所のキッチンスタジオを拠点とし、東播磨の農畜水産物を活用した消費者との交流体験（食育）教室「畑と海のキッチン」を開催

□若手農業者のステップアップ事業（東播磨）
　トマト、いちご等を栽培する若手の施設栽培農家を支援し、ICT を活用して施設内の温・湿度や炭酸ガス濃度等を測定しデータに基づいた栽培管理により生産性を向上

□生物多様性保全活動の推進（北播磨）
　開発・乱獲・シカの食害等により絶滅の危機にある貴重な生物種を保全するため、これら貴重な動植物が生息するため池・湿地等の環境整備に取り組む、ＮＰＯや地域団体、市町等を支援（１件）

□JR 加古川線、神戸電鉄栗生線、北条鉄道利用促進・活性化事業の推進（北播磨）
　北播磨の鉄道ネットワークを守り育てるため、沿線市町や関係団体と協力して、列車内鉄道絵画展（応募 892 点）、車両基地見学会等のイベント（４回、応募 1,176 名・当選者 425 名）を開催

□東条川疏水ネットワーク博物館構想の展開（北播磨）
　「疏水百選」に選ばれている「東条川疏水」を、疏水の大切さを学習する場や地域の人たちが集える場などの地域資源として活用（イベント等参加者 6,000 人）

□北播磨の６次産業化促進（北播磨）
　農産加工の開発･商談･ＰＲについて、一連のパッケージとして実施し、北播磨の「農」の６次産業化を促進（多可町のみつばグループでとりめしの缶詰等５企画）

□高校生による北播磨地産地消活動の推進（北播磨）
　北播磨地域の豊かな「農」と「食」の魅力を広く発信するため、高校生による地産地消活動を支援（小野工業高校で小野市産小麦粉を使用したクッキー開発支援等６団体）

□日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト（中播磨）
　日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会を中心に、認定ｽﾄｰﾘｰの魅力発信や日本遺産を通じて、周辺の魅力を含めた地域のﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化や活性化を促進
・JR 播但線を「銀の馬車道・鉱石の道」に見立て、沿線の歴史的背景や食文化を発信する特別列車ｻｲｸﾙﾄﾚｲﾝを運行（平成 31 年 3 月 24 日（日））
・人情喜劇「銀の馬車道・鉱石の道」の新たな脚本製作・公演（平成 30 年 8 月 19 日（日））
・銀馬車かぼちゃを活かした料理教室、銀馬車かぼちゃ特別ﾒﾆｭｰの重点ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ

□銀の馬車道プロジェクトの推進（中播磨）
　銀の馬車道ネットワーク協議会が主体となって銀の馬車道をＰＲ

□「中はりま縁結び交流会から～家島四十四（しあわせ）の島々ｱｲﾗﾝﾄﾞﾌﾞﾘｰｽﾞから」の開催（中播磨）
　こうのとり大使による縁結び交流会をより一層効果的に実施するため、地域の観光事業組合（家島観光事業組合）と協力し、貴重な地域資源である家島諸島の魅力を活かした空間で婚活イベントを実施（参加者：男性 15 人、女性 14 人、カップル成立数：６組）

□姫新線利用促進・活性化対策事業（西播磨）
　年間乗車人員 300 万人の維持と沿線地域のさらなる活性化、賑わい創出のため、沿線の地域資源を生かしたイベント列車を運行するとともに、沿線小学生を対象とした姫新線車両基地の見学会などの体験学習を実施

□西播磨環境学習の推進（西播磨）
　エコツーリズム事業として「むしむし号で行く虫とり大作戦」など計４回実施（参加者 177 人）。また、小学生とともに行う水生生物調査を実施（参加者 346 人）

□「西播磨アグリフロンティアカレッジ」プロジェクト（西播磨）
　西播磨地域で就農を希望する若年者を対象に、栽培技術や経営手法習得のための研修や、就農から定着までの支援を総合的に行い、担い手農業者として育成

□日本遺産認定記念「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力推進（新規）（但馬）
・日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」アートフェスティバル
　かつて馬車やトロッコが鉱石を運んだ道を現代アートで繋ぐアートフェスティバルとして「鉱山（ヤマ）と道の芸術祭を開催。実施にあたってはエリアマネージャーを中心とした地域団体と連携して実施
・鉱石の道エリアの記憶をたどる特別ツアー
　非公開エリアである一円電車の発着点を一般向けに特別公開するツアーの実施に向けて行政担当者、地域団体関係者（明延・神子畑）が見学、検討を実施

□環境学習の推進（但馬）
「たじままるごと感動市」にあわせ、「さわやか環境フェスティバル」を開催
　環境保全団体や高等学校、関連企業が参加し、オオサンショウウオの展示や水生生物の展示、メタンハイドレート燃焼実験等を実施し、子どもも大人も楽しめる環境学習の場を提供（参加者：86,000 人）

□クリーン但馬 10 万人大作戦の推進（但馬）
　但馬地域の環境美化を推進するため、毎年６月第１週の日曜日を基準日として、地域団体、住民や小・中学生による清掃活動を行っており、海岸漂着ごみもあわせて回収活動を実施（活動回数：442 回、参加人員：81,855 人、ごみ回収量：2,884t）

□ラムサール条約湿地の調査・保全活動による人材の育成（但馬）
　ラムサール条約湿地等で、高校生を主体とした若者によるフィールド観察・生態調査、保全活動等を実施し、湿地環境の保全推進と人材を育成。高校生が活動結果を発表する場を設定し、教育効果に貢献（調査・保全活動：７回、参加者延べ 74 人、活動発表会：１回、参加者 58 人）

□但馬地域鉄道利用の促進（但馬）
　県政 150 周年を記念し車両内外で但馬の地域資源に触れるイベント列車を運行、山陰本線・播但線沿線の魅力を地域内外に発信。車両基地見学会（参加者約 200 名）、鉄道絵画コンクール（応募点数 87 点）等地域イベントを通して小・中・高校生の鉄道への関心、利用促進意識を醸成

□鉱石の道プロジェクトの推進（但馬）
　鉱石の道ガイド、各鉱山ガイド、観光・地域づくりに携わる方々に対し、「鉱石の道」の産業遺産を地域づくりのために活用し、その魅力を効果的に発信するための講座を実施

□但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた総合的推進（但馬）
　近年シカ等による食害と外来種の繁殖等により、自然植生が危機的な状況にあるため、地域の自然保護活動団体等で構成された「新さわやかな環境づくり但馬地域行動計画推進協議会」が中心となって、保全活動等を実施（実施件数：12 件）

□清流の郷づくり大作戦の実施（但馬）
　但馬北部の矢田川・岸田川・竹野川において、自然豊かな河川環境の復元を目指すにあたり、地域住民や漁協・高校生等の参画を得てイベントを開催し、農業用施設や環境保全に対する意識を高揚（環境保全イベント開催８回）

□コウノトリ翔る但馬まるごと感動市の開催（但馬）
　多様な農林水産品や地場産品等の但馬ブランド、地域づくりに向けた取組等の発信や様々な資源を活用したツーリズムを推進するため、“ 食・物産 ” と “ 観光 ” をテー

マとした集客・交流イベントを開催（来場者数延べ 86 千人、出店（展）団体数 128 ブース・ステージ出演 28 団体、ボランティアスタッフ参加者 117 人）

□日本海マリンツーリズムの推進（新規）（但馬）
　沿岸の漁業資源を有効に利用して、地域の活性化を図るため、漁業者、観光事業者、飲食店などが連携して、都市部の消費者に来て、見て、食べて、体験してもらうマリンツーリズムを開催（開催数　7 回、参加者数　163 名）

□丹波の森づくり 30 周年記念事業（新規）（丹波）
　昭和 63 年の「丹波の森宣言」に基づき、住民・事業者・行政が一体となって地域づくりに取り組んできた成果を振り返るとともに、「丹波の森づくり」の大切さを認識し、次世代へ繋ぐためのシンポジウムを開催（地域住民等 500 人参加）

□丹波の環境パートナーシップづくり事業（丹波）
　管内における貴重な動植物の保全・再生意識の高揚、環境学習の推進のため、環境パートナーシップ会議の開催や体験型エコツアーの実施のほか、環境学習プログラムを提供（参加者 555 人）

□地域農業の担い手の育成・農地フル活用推進事業（丹波）
　農家の減少・高齢化や耕作放棄地の拡大が進む中、持続可能な農業・農村を実現するための「人・農地プラン」の作成と実現に向けて、集落営農の組織化、農業への新規参入、農地のレベルアップ整備を推進

□淡路人形浄瑠璃の振興（淡路）
　国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃の継承・発展に向けて、島外公演や後継者交流会の開催、人形浄瑠璃のふるさと“西宮～淡路～徳島～京都”の関係者が集い情報交換等を実施

□「あわじ環境未来島」島民率先行動の推進（淡路）
　島民自らが豊かな環境の保全・創出・再生を目指して、「あわじエコライフスタイル」運動など『環境立島淡路』島民会議を主体に活動を進め、「あわじ環境未来島構想」の実現に向けた島民気運の醸成を図り、率先行動を推進

交流等を通じた活動のきっかけづくり支援

□「がんばる地域」交流・自立応援事業（地域振興課）
　住民や地域等が企画した、地域活動及び交流拠点等の整備に要する経費を支援し、多自然地域の自立に向けた取組を促進（実施地区 25 か所）

□わくわく幼稚園の開設（私学教育課）
　幼稚園や保育所に通っていない在宅幼児を対象に、私立幼稚園等で在園児と同等の基本的な生活習慣を身につける専門的幼児教育を実施（140 園）

□乳幼児子育て応援事業〔私立幼稚園〕（私学教育課）
　地域の幼児教育センターとして、在宅乳幼児の子育てを支援するため、地域の私立幼稚園等で幼児教育体験や親子交流会等を実施（165 園）

□地域ビジョン委員会の設置・運営（ビジョン課、各県民局・県民センター）
　公募委員と学識経験者などによる専門委員が、地域ビジョンの推進に向け、様々な実践活動を実施

□地域振興事業費補助（地域振興課）
　自然環境の保全や人材育成等、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する活動等に対して助成を実施(２団体)

□女性の就業サポート事業（男女家庭課）
　出産・育児等で仕事を離れた女性の再就業や継続就業を支援するため、セミナー等の開催や職業相談・職業紹介等を実施（H30 年度就職者数：202 人）

□地域づくり活動応援事業（県民生活課、各県民局・県民センター）
　地域団体の活性化やコミュニティの充実をめざして、地域団体が創意工夫により企画・提案する事業に対して助成。公開提案会や報告交流会を実施（助成件数 233 件、助成金額 46,883 千円）
　[主な内容]
　・熱気球サポータークラブ　人材育成事業（加西市）
　・医療と介護について「話せて学べて仲良く助け合う」場づくり（太子町）
　・兵庫・篠山とっておきの音楽祭（丹波篠山市）

□ひょうご若者被災地応援プロジェクトの実施（県民生活課）
　「ひょうごふるさと寄附金」を活用し、ひょうごの若者が被災地を継続的に支援する活動を応援することにより、被災地の復興を支援するとともに、今後の被災地支援を担う人材育成を実施（活動団体 16 団体、活動人数 206 人）

□ひょうご安全の日のつどいの実施（復興支援課）
　NPO・ボランティアとの協働により 1.17 のつどいやメモリアルウォークを実施（つどい参加者 2,100 人、メモリアルウォーク参加者 3,000 人）

□地域相互見守りモデル事業（通称「地域となり組」）実施（新規）（社会福祉課）
　子育て支援や高齢者の見守り、地域防犯活動など住民主体の地域づくり活動や住民交流の場づくり等を通じて、近隣住民が互いの顔の見える関係をつくることにより、世代・性別を問わず日頃から助け合いのできる地域コミュニティの構築を目指す取組を支援（９団体）

□わくわく保育所開設事業（こども政策課）
　地域における子育て支援の裾野を拡大するため、民間保育所における在宅児童（３～５歳児）等に対する幼児教育・体験保育を先導的に実施（87 園）

□乳幼児子育て応援事業〔民間保育所〕（こども政策課）
　地域における子育て支援の裾野を拡大するため、民間保育所において在宅の０～２歳児とその親を対象に実施する幼児教育体験や親教育、遊び指導等を支援（505 園)

□里親制度の推進（児童課）
　里親制度の推進・運営のために、研修や養育相談事業、里親里子交流等を実施

□商店街支援事業の実施（経営商業課）
　商店街でのイベント、地域資源活用などの地域特性や住民ニーズに応じた活性化事業を支援（活性化プラン策定事業２件、元気づくり事業 141 件、コミュニティ機能強化応援事業５件）

□多面的機能支払交付金制度の推進（農地整備課）
　農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮と地域資源の保全管理の担い手育成のため、自治会や子供会等の多様な団体との協働活動に支援（交付対象組織数 1,981 組織　H30 見込(H31.3 月時点把握値)）

□住民参画型森林整備（豊かな森づくり課）
　地域住民やボランティア等による自発的な森林整備活動に対し、資機材等を支援（13 地区（20.3ha））

□生物多様性ひょうご戦略の推進（自然環境課）
　行政、ＮＰＯ、事業者、県民等の連携･協働による生物多様性の保全・再生活動を支援するため、ＮＰＯ等による活動発表会などを実施（参加者 59 人）

□生物多様性普及啓発推進事業（新規）（自然環境課）
　生物多様性に対する県民意識の向上、未定着外来生物や希少種の正確な情報発信を目的として、県民・市町・事業者等を対象としたセミナーを実施（参加者 324 人）

□「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業（スポーツ振興課）
　全県スポーツサミット等の開催、大学・企業や障害者スポーツと連携したスポーツイベント及び親子で行うスポーツ大会等を実施（全県スポーツサミット参加者 223 人ほか）

□ひったくり防止キャンペーン事業（阪神南）
　ひったくり防止の気運を高め、地域の主体的な取組を支援するため、管内各警察署、防犯協会等関係機関とも連携しながら啓発活動等を推進（防止キャンペーン 10 回）

□自転車運転マナーアップキャンペーンの実施（阪神南）
　自転車関連事故の減少を図るため、各警察署、交通安全協会等と協働・連携して、啓発グッズの配布等のキャンペーンを実施（啓発キャンペーン 20 回）

□地域の見守り力アップ作戦の展開（但馬）
　次代を担う但馬の青少年を地域で守り、育て、温かく見守るという意識を高めるため、警察や学校、地域団体等と連携した取組を展開

□コウノトリの野生化推進事業（但馬）
　コウノトリの野生復帰を進めるため減農薬・無農薬の「コウノトリ育む農法」を普及させる等、住民の参画と協働による取組を推進（平成 31 年３月 31 日現在　野外個体数 140 羽）

□あわじ地域づくりプラットフォーム形成事業（新規）（淡路）
　NPO 法人等の地域団体が一堂に集まり、情報交換をして現状や課題を共有し、連携しながら、地域課題解決や地域づくり活動へつなげていく場（プラットフォーム）を形成するため、ラウンドテーブル（円卓会議）等を開催し、地域団体相互の連携を強化し、地域の活性化を実施（ラウンドテーブル等参加者 142 名）

□あわじ全島ゴミゼロ作戦の推進（淡路）
　分別・リサイクルなどによるごみの減量化や、漂着ごみ問題に対する住民の環境意識向上を図る取組を推進（一斉清掃年２回・参加者 62,810 人）

若者の育成、女性・シニア層の活躍促進

□男女共同参画リーダー養成講座の開催（男女家庭課）
　地域で男女共同参画社会を推進する人材を養成するための講座を開催（修了生 20 人（うち女性 16 人））

□男女共同参画推進員活動支援（男女家庭課）
　県民と行政が一体となって男女共同参画社会づくりを推進するため、男女共同参画社会づくり条例第 24 条に基づき地域や企業、労働組合に男女共同参画推進員を設置し、その活動を支援（1,397 人）

□女性の活躍推進（男女家庭課）
　企業訪問等を通じ企業における女性活躍の取組を働きかけるほか、女性の継続就業や職場復帰を目的としたセミナーを開催（企業訪問 84 社、セミナー開催 19 回）

□地域祖父母モデル事業（男女家庭課）
　子育て支援に携わりたいというシニア世帯が、支援を受けたい子育て世帯に対して祖父母のように日常的に行う見守りや相談、緊急時の一時預かり等を通じ、地域における三世代家族の育成、地域全体で安心して子育てができる環境づくりを推進（実施地区 55 地区、実施団体 21 団体、H30 マッチング数 892 組）

□「ひょうご子ども・若者応援団」活動促進事業（青少年課）
　青少年の健全育成に意欲ある企業･団体等と地域の青少年育成活動をつなぐため、ニーズマッチング及び寄附金を原資とした助成事業を実施（マッチング 244 件、助成 71 件）

□「ふるさとづくり青年隊」事業（青少年課）
　地域の青年が公募青年と協力し地域の課題解決や地域活性化に取り組む活動を支援（９団体）

□こころ豊かな人づくり 500 人委員育成事業の推進（青少年課）
　青少年育成活動や地域づくり活動に積極的に参画する担い手を育成するため、500 人委員会ＯＢ会等で構成する実行委員会を設置し、セミナーや交流活動を実施

□元気な高齢者や女性による地域安全まちづくり活動の推進（地域安全課）
　高齢者大学等に地域防犯講座を設置し、元気な高齢者の防犯活動への参加を促進するとともに、女性による女性のための地域安全ワークショップを開催し、女性の防犯意識の向上や防犯活動への参画を促進（防犯講座開催７回、ワークショップ参加者 10 人）

□老人クラブ活動強化推進事業の実施（高齢政策課）
　高齢者の生きがいづくりと社会参画を促進するため、老人クラブと市町老人クラブ連合会が実施する、会員の生きがいと健康づくりのための諸活動を支援（補助対象数 4,576 クラブ）

□高校生献血等推進ボランティア事業（薬務課）
　若年層の献血の普及啓発のため、高校生ボランティアが文化祭の場などを活用し、パネル展示等を実施（実施校数 32 校）

□ひょうご仕事と生活センター事業の推進（労政福祉課）
　ワーク・ライフ・バランスの全県的な普及を図り、多様で柔軟な働き方を推進するため、ひょうご仕事と生活センターにおいて、県内企業を対象に普及啓発、情報発信、相談・研修、各種助成事業等を実施（研修実施企業数 198 社）

□高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業（労政福祉課）
　高齢者の就業機会を創出するため、高齢者がコミュニティ・ビジネスを立ち上げる際に必要な経費の一部を補助（認定件数 11 件）

□ものづくり体験館体験事業の実施（能力開発課）
　中学生等の職業意識醸成のため、本格的なものづくり体験の機会と場を提供（ものづくり体験学習 105 校、11,943 人）

□若手起業家支援事業（新規）（新産業課）
　地域経済の活性化を図るため、有望なビジネスプランを有し、県内で起業・第二創業を目指す若手起業家を支援（補助件数 19 件、申請件数 62 件）

□女性起業家支援事業（新産業課）
　地域経済の活性化を図るため、有望なビジネスプランを有し、県内で起業・第二創業を目指す女性起業家を支援（補助件数 58 件、申請件数 207 件）

□シニア起業家支援事業（新産業課）
　地域経済の活性化を図るため、有望なビジネスプランを有し、県内で起業・第二創業を目指すシニア起業家を支援（補助件数 35 件、申請件数 78 件）

□「学びの農」実践活動促進事業（総合農政課）
　次代を担う子どもたちが、兵庫県の農林水産業を総合的に学び、ひいては本県農林水産業の理解者、応援団として育成するため、農林水産業の理解促進に資する活動を支援（副読本を県内公立小学校へ配布 289 校）

□ひょうごで輝く女性農業者の活躍促進（農業経営課）
　女性向けの就農セミナー相談（セミナー参加者 42 人、相談者 16 人）や、若手女性農業者の交流会の実施、地域で女性農業者が主となって活動するグループが新たに行う取組に対する助成（15 組）により女性農業者の活躍を促進、女性を雇用する事業者向けの雇用研修会（参加者 67 人）を開催

□高校生就業体験事業～インターンシップ推進プラン～の実施（高校教育課）
　高校生が就業について主体的な選択ができるよう、職業体験や職業人やキャリアアドバイザーによる進路講演会等の講話等を実施(インターンシップ 137 校（93.2%)、進路講演会の実施 137 校（93.2%）)

□阪神北若い力の魅力発信事業（阪神北）
　若い世代が持つ可能性を再認識し、ふるさと意識の更なる醸成を図るため、「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の場で、日頃の活動成果を発表する機会を提供するとともに、若者の感性を生かした広報・PR を展開

□西播磨就職フェアの実施（西播磨）
　西播磨地域での就職を希望する若年者等と、人材の確保を目指す企業とのマッチングの場を提供するため、西播磨就職フェアを実施（3/15　姫路商工会議所、参加企業 50 社、参加者：大学生 229 人、高校生 54 人）

□女性の起業応援事業（丹波）
丹波地域在住、または丹波地域で起業を目指す女性を対象に、起業に必要なビジネスプランの指南と、事業立ち上げ等に関する様々な課題解決や悩み相談等を実施（参加者 15 人、ビジネスプラン完成８人）

□学生等による地域貢献活動推進事業（丹波）
丹波地域で大学のフィールドワーク等に参加した経験のある学生が、自治会などの地域団体と連携し、地域の祭りや農作業の手伝い、放置竹林の整備と獣害対策等に取り組み、地域活性化を推進（これまで 17 地区に 10 大学、延べ 46 団体が活動）

◆ 活動団体の担い手を育成

地域づくり活動の核となるリーダーの育成や後継者の発掘･育成支援に取り組みました。
また、誰もが円滑に団体業務を担えるよう、活動に必要なノウハウ、相談・調整先等を学ぶ機会を提供しました。

□ふるさとひょうご創生塾の開設（県民生活課）
地域課題解決のための専門的な講義に加えてリーダーシップを身につけるための実践的なカリキュラムを実施し、一定の成果を収めた修了者を「ふるさとひょうご創生マイスター」として認定（入塾者数 21 人 卒塾者数 16 人　卒塾生累計 590 人、自治会等地域団体やＮＰＯのリーダー、審議会委員等として活躍）

□生涯学習リーダーバンクの設置（県民生活課）
県民の主体的な学習活動を支えるボランティア指導者の人材登録制度を運営（登録者数 244 人）

□事業所防犯責任者設置事業（地域安全課）
事業所における地域安全まちづくり活動を促進するため、防犯点検・改修の実施、事業所内の防犯体制の整備等の役割を担う「防犯責任者」の各事業所での設置を促進（設置届出数 9,036 人）

□自主防災組織の活性化（消防課）
複数の自主防災組織で行う訓練を支援する「自主防災組織体制強化推進事業」などを実施し、自主防災組織の活性化を推進（補助 21 件）

□ボランティア振興事業（社会福祉課）
地域福祉のコーディネーター育成のための研修・会議の開催や市町ボランティアセンターへの個別支援を推進し、地域における福祉コミュニティを形成

□認知症の人と家族を支える地域の人材育成（キャラバン・メイト等）（認知症対策室）
認知症の人とその家族を地域で支える体制づくりのため、正しい知識と具体的な対応方法等を市民に伝える講師役のキャラバン・メイトを養成（県養成者数 205 人）

□みんなの声かけ運動の推進（ユニバーサル推進課）
障害者、高齢者、妊婦など誰もがまちなかで困っているときに、みんなが声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」推進のため、推進員の登録及び企業・団体等との応援協定を締結（協定締結団体 29 団体（累計 197 団体））

□いずみ会のリーダー養成と組織育成・活動支援（健康増進課）
　よりよい食生活を地域へ浸透させ、県民の積極的な健康づくりを推進するため、兵庫県いずみ会リーダーの養成や健康課題を踏まえた食生活改善活動を展開（いずみ会リーダー養成数 190 人）

□ひょうご環境担い手サミット開催（環境政策課）
　NPO や企業、個人など多様なスタイルで環境保全・創造活動に取り組んでいる担い手が世代や分野を越えて一堂に会し、活動紹介や意見交換を通じて連携を深め、協働の取組による活動の拡がりを促進（参加者数 358 人）

□生涯学習ボランティア活動支援・推進事業の実施（社会教育課）
　博物館等におけるボランティア活動の拠点となる博物館ボランティアセンターを開設し、情報提供・相談を行うとともに、各種セミナー等を実施（養成セミナー参加者 392 人）

□共生博物館地域研究員養成事業の実施（社会教育課）
　ひとはく地域研究員をはじめ多様な個人・団体の研究や活動の成果発表機会を確保することで、人と自然の博物館との連携事業やボランティア活動等の実践におけるコーディネーターとしての更なる資質向上を推進（共生博物館地域研究員認定者　延べ 265 人）

□篠山層群化石を活用した地域活性化を目指す人材システム構築事業（社会教育課）
　篠山層群から出土した岩砕を活用して、丹波市および篠山市において研修会を行い（参加者延べ 902 人）、石割と化石剖出ボランティアの人材育成を実施（登録者：石割 73 人、化石剖出 14 人）

□篠山層群恐竜・鳥類卵化石発掘調査事業（新規）（社会教育課）
　平成 27 年に丹波竜発掘現場近くで発見された卵化石標本を発掘・採集の上、周辺エリアを含めボランティアとの協働で調査を実施（卵化石ボランティア 60 人(延べ 434 人)）

□自主防災組織パワーアップ事業（北播磨）
　自主防災組織のリーダー等を対象に、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験する研修会（ＨＵＧの実施）を開催（２会場８回、201 人参加）

□北播磨圏域認知症対策基盤整備支援事業の推進（北播磨）
　早期認知症対策として、地域の交流基盤の整備を支援し、認知症の人やその家族の応援団となる人材を育成するため、認知症カフェの立ち上げ支援及び認知症に関する専門研修等を実施（北播磨型認知症カフェ（絆カフェ）立ち上げ支援３か所）

□北播磨森林（もり）の担い手フォローアップ作戦（北播磨）
　森林組合作業員を対象とした先進事業体等での現地研修を実施（現地研修開催等 13 回、65 人受講）

□地域防災力の充実・強化（但馬）
　風水害や地震などの自然災害に対して、「自分の命は自分で守る」自助の取組を促すため、災害から「命を守る」ために必要なノウハウを学ぶ防災サバイバル講座を開催

□地域防災力の充実・強化事業（丹波）
　平成 26 年８月豪雨災害の経験をふまえ、地域防災訓練や人材育成等を継続するとともに、災害時に住民が自らの判断で適切な避難行動がとれるよう、インターネット上の防災情報を活用するための研修会を実施（109 自治会、165 人参加）

◆ 地域活動に取り組む多様な主体を育成

地域が抱える課題をビジネスの手法により解決していこうとする地域運営組織の設立（法人化）への取組、地域課題を解決するための地域団体の取組、生活支援サービス維持に向けた取組への支援や、大学や企業が保有する知見や活動資源（人材、資金、施設等）を地域づくりに活かす取組を支援しました。

グループ、団体・NPO 等の取組支援

□地域運営組織法人化推進事業（地域振興課）
地域活動から事業活動への転換を促進し、持続的、自立的な地域づくりの実現を図るために、専門アドバイザーなどの派遣を行うとともに地域運営組織の設立（法人化）のために必要な経費を支援（（補助実績５件）

□まちづくり防犯グループの活動支援（防犯カメラ設置補助）（地域安全課）
地域の見守り力の向上を図るため、まちづくり防犯グループ等の地域団体が行う防犯カメラの設置に係る経費を助成（492 団体・492 か所）

□地域安全マップ作成支援事業（地域安全課）
“死角のないまちづくり”に向けて、まちづくり防犯グループ等が行う活動地域内の危険箇所等を点検する地域安全マップ作成に係る研修を実施することにより、地域の防犯力向上を推進（18 か所）

□ＤＶ防止対策の実施（児童課、教育委員会、警察本部）
民間支援団体によるＤＶ被害者支援活動を強化するため、ＤＶ被害者支援ボランティア養成講座、ＤＶ被害防止啓発事業、ＤＶ被害者へのカウンセリング等を委託（委託団体数延べ 10 団体）

□商店街次代の担い手支援（経営商業課）
次代を担う商店街リーダーとして、商店街の若手商業者グループが取り組む活動を支援するとともに、活動の成果発表をする場（全県交流会）を設け若手商業者の交流を通じ、ネットワーク形成と学びの深化を支援（補助実績８件）

□商店街ご用聞き・共同宅配の実施（経営商業課）
買い物利便性の低い市街地や、中山間地域等における商店街等で行われている、地域特性や住民のニーズに応じた買い物利便性を高めるための取組を支援（実施件数　４件）

□地域団体等による藻場・干潟等の再生・創出支援事業（水大気課）
地域の多様な主体による瀬戸内海沿岸域の良好な環境の再生等、豊かで美しい「里海」づくりの取組を推進するため、地域団体等が行う新たな藻場等の再生・創出を支援

□レジ袋削減対策の推進（環境整備課）
「ひょうごレジ袋削減推進会議」は全県的にレジ袋の削減を推進することとし、消費者等にマイバッグの持参を推進

□「地域ふれあいの会」による地域安全活動の推進（警察本部）
地域住民と協働して地域安全活動を推進するため、県下全域に地域ふれあいの会を設置し、防犯パトロール・キャンペーン等を実施（委員活動回数 47,847 回）

□夏休み！交通安全コンサートの開催（阪神南）

受講機会の乏しい子育て親世代の理解促進のため、親子(未就学児等と保護者)で楽しみながら交通ルールを学ぶイベントを開催

□廃棄物不適正処理未然防止活動の推進（阪神北）

地域住民、県、市町、警察等の主体が連携して、監視パトロールやクリーン活動などの未然防止活動を行い、市民力を活かした廃棄物不適正処理に強い地域づくりを推進（不法投棄未然防止協議会：宝塚市西谷地区（13 自治会)、猪名川町阿古谷地区（３自治会)、猪名川町北部地区（４自治会））

□不法投棄・不適正保管への地域一体となった対応の強化（北播磨）

地域住民、事業所と行政が一体となって不法投棄、不適正保管への対応を強化し不法投棄、不適正保管を許さない地域づくりを効果的に推進するため、監視カメラ、啓発看板、防止ネット等を提供（不法投棄防止地区 272 地区、不法投棄防止協力事業所 119 事業所を指定）

□住民全体の介護予防・介護支援の推進（丹波）

地域住民が主体となって運営し、健康づくりを継続的に実践していく仕組みを構築するとともに、「丹波地域介護支援サポーター」の養成により、地域住民による介護力の底上げを推進（講座開催３回）

□廃棄物の適正処理の推進（淡路）

不法投棄防止看板や資材の貸し出し等、地域住民等が実施する不法投棄監視活動を支援することにより活動の活性化を図る。また、広域的に移動している産業廃棄物の不適正処理を未然に防止するため、廃棄物運搬車両の路上検問を徳島県と合同で実施（合同検問実施１回、検問車両 10 台）

□地域防災力の向上支援（淡路）

活動の機運醸成を図り、避難訓練の実施等の防災活動への取組を促進するため、イベントを開催するほか、島内小中高等学校に対して防災学習経費を補助（津波防災フォーラム来場 約 500 人）

コミュニティビジネス等の事業化の支援

□地域おこし協力隊等起業化モデル事業（地域振興課）

多自然地域において多様な集落活動サービスが利用できる地域づくりを進めるため、集落（地域）が集落に関わる人材（地域おこし協力隊・集落支援員等）と協力して起業する場合に支援（実施地域 13 地域）

□コミュニティ・ビジネス等総合支援事業（労政福祉課）

コミュニティ・ビジネスの起業や就業等を支援するため、運営等に関する相談対応等を実施（相談件数 18,985 件、起業団体数 131 件）

[主な起業例]

・コミュニティカフェの運営、ワークショップの開催等、コミュニティナースによる見守り・健康教室の開催（神戸市北区）

・シニア視点かつ地域密着型の情報誌発行およびシニア向けイベントやセミナー等の開催。他地域で同様の情報誌の制作、発行の啓蒙とその支援（尼崎市）

大学の活動支援

□大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業（地域振興課）
　持続可能な地域創生・再生の仕組みを構築するため、地域と大学等が連携した地域創生拠点の設置（12 か所）を支援

□大学等との連携による地域安全まちづくり活動の活性化（地域安全課）
　若い世代の防犯活動への参加を促進するため、地域安全まちづくり活動に熱心に取り組んでいる大学と県との間で学生の地域安全ボランティア活動への参加等を定めた協定を締結し、連携して活動を促進

□郊外型住宅団地再生先導的支援事業（住宅政策課）
　急激な人口減少・高齢化による地域活力の低下、空き家・空き地の増加等が懸念されているニュータウンにおいて、市町や地域住民に対し、再生に向けた取組を普及啓発するとともに、地域や市町が実施する再生に向けた取組を支援
　（出前講座による再生普及啓発：４件）

□関西学院大学柏原スタジオの運営支援業務（丹波）
　柏原地域の活性化のため、関西学院大学がまちづくり会社や市、商工会、観光協会等と連携して行う取組を支援

企業等の地域貢献支援

□兵庫県子育て応援協定団体等との協働事業（男女家庭課）
　地域団体等による特色を生かした子育て支援を推進するため、県と子育て応援協定を締結した団体等の活動を支援（４団体））

□企業の社会貢献活動の促進（県民生活課）
　地域密着型の CSR を行っている企業へのインタビューを HP「地域とともに歩むひょうごの企業」で発信（インタビュー4 社、累計 100 社）

□地域サポート施設の推進（高齢政策課）
　社会福祉法人の地域における公益的な取組を推進するため、地域サポート施設として認定し、積極的な普及啓発を実施（平成 30 年度認定施設 21 施設）

□企業の森づくり推進事業（豊かな森づくり課）
　「新ひょうごの森づくり」の趣旨に賛同する企業が所有者に代わって県内の森林を整備・保全する活動に対して支援し、多様な担い手による森づくりを推進（実績１社）

□阪神地域障がい者就労促進大会の開催（阪神南・阪神北）
　障がい者の自立と社会参加をめざし、阪神間の市町障害者就労支援センターとハローワーク、一般企業が、障がい者の働きたいとの希望を応援（シンポジウム参加者 154 人、就職面接会での就職者 17 人）

（５） 資金調達支援

◆ 活動の立ち上げと自立に向けた財政的支援

地域づくり活動に取り組む団体やボランティアグループ・ＮＰＯ等の活動が安定的・継続的に展開できるよう、持続的で自立に向けた取組や先導的な取組等を支援しました。

□ひょうごボランタリー基金助成（県民生活課）

ボランティアグループ・団体やNPO法人等が行う地域づくり活動に対する資金支援を行い、活動の活性化を推進。交流会の開催等を通じ、団体・グループの活動のレベルアップを支援

【県民ボランタリー活動助成】

法人格を持たないグループによる草の根の活動に対し助成（助成件数 3,517 件 助成金額87,925千円）

［助成内容］

朗読ボランティア、点訳ボランティア、手話サークル、傾聴ボランティア、ふれあい喫茶、ふれあい給食、いきいきサロン、防犯パトロール、子育て支援、読み聞かせ、留学生支援 等

【地域づくり活動NPO事業助成】

NPO 法人等が地域団体等と連携し、機動力、専門性を生かして地域づくりを進める活動に対し助成（助成件数32件 助成金額14,385千円）

［助成内容］

就学後の子育て支援、田舎暮らし体験、生活再建及び再犯防止のための支援、古民家再活用による地域活性化、認知症予防プログラムの実施 等

【中間支援活動助成】

地域のNPO法人等の活動を支援するNPO法人、公益法人等の活動に対し助成（助成実績21件 15,439千円）

［助成内容］

団体の組織力向上、ファンドレイズを中心とした相談、NPO・地域団体連携マッチング、中堅スタッフ育成、ネットワーク強化 等

◆ 活動資金を生み出す仕組みづくりを支援

ふるさとひょうご寄附金やコミュニティ・ビジネスへの支援など、多様な資金確保の仕組みによる地域活動への支援を行いました。

□「ふるさとひょうご寄附金」の募集事業（企画財政局総務課）

ふるさとひょうご寄附金として、16プロジェクトに対して寄附を募り、県内外から多くの寄附申し出（1,846件、177,816千円）

（６） 連携支援

◆ 多様な主体の連携を支援

ネットワーク会議の開催や、地域づくり活動の取組の報告会などの場を活用し、ボランティアグループ、団体・NPO、企業、大学・学校等の多様な主体が情報を共有し、地域での連携につながる支援をしました。

ネットワーク会議や事業報告会を通じたつながり形成の支援

□ひょうご家庭応援県民運動の推進支援（男女家庭課）

家庭の絆を深め、地域で家族を支える取組を進めるため、「ひょうご家庭応援ネットワーク会議」による「ひょうご家庭応援県民運動」の展開を支援（「家族の日」運動、ひょうご家庭応援県民大会（参加者 250 人））

□父親の子育て参画推進事業（男女家庭課）

家庭や地域、職場とのバランスの取れた環境づくりを推進するとともに、地域活動の新たな担い手として活躍できるよう、フォーラムを開催し、男性の子育てや地域活動への参画機会を広げるきっかけづくりを支援

□ひょうご子育てコミュニティ（男女家庭課）

子育て支援団体と支援を受ける者との交流会を開催することにより、少子対策ネットワークを構築し、子育て支援団体や少子対策団体の発展を図る（フォーラム３回、参加者延べ 1,118 人）

□ＮＰＯと行政の協働会議の開催（県民生活課）

中間支援団体と連携しながら、地域に関わる様々な課題について、ＮＰＯ法人、団体、行政等が協働で解決に取り組むための情報交換・意見交換会を実施（５回開催、参加者 297 人）

□被災地「絆」ボランティア活動支援事業（県民生活課）

「ひょうごボランタリープラザ」を中心に、東日本大震災や熊本地震災害の被災地においてボランティアバスの派遣などの支援活動を実施

□高齢者・障害者等の情報リテラシー強化事業（消費生活課）

高齢者・障害者等の消費者被害防止のため、市町や警察、福祉関係者団体等と連携し、地域における見守り支援や、障害者や周囲の人向けのリーフレットの作成・配布などの啓発を実施

□地域安全まちづくり推進員設置事業（地域安全課）

地域安全まちづくり活動に自ら取り組むとともに、活動の先導や団体の連携のリーダーとなる「地域安全まちづくり推進員」の委嘱を進め、研修等により活動を支援（推進員数 3,979 人）

□地域で守る！子どもの安全安心確保事業（地域安全課）

地域が一体となって、子どもの安全を確保する体制を構築するため、リーダー養成講座の開催や、地域における子ども等への実践的な訓練・研修会の実施を支援する子ども安全サポート事業を実施（リーダー養成数 1,156 人、サポート事業 36 団体）

□ユニバーサル社会づくり普及推進事業（ユニバーサル推進課）
　推進大会、先進事例顕彰、メールマガジンによる情報発信等を通じ、取組団体・機関等をネットワーク化（ユニバーサル社会づくり推進大会参加 350 人、ひょうごユニバーサル社会づくり賞 11 件）

□ユニバーサル社会づくりの充実強化（ユニバーサル推進課）
　「ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例」、「障害者等による情報の取得及び利用並びに意思疎通の手段の確保に関する条例」(愛称：ひょうご・スマイル条例)を平成 30 年 4 月 1 日に施行。また、福祉のまちづくり条例を含めた 3 条例の実施計画となる「ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針」を平成 30 年 10 月 1 日に改定。これらの基本理念等の周知及び必要な施策を実施
（みんなの声かけ運動の推進（応援協定締結　H30 年度 29 団体））

□配慮が必要な方に関するマークの普及啓発（新規）（ユニバーサル推進課）
　内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からわかりにくい方の社会参加を応援するため平成 23 年に制定した「譲りあい感謝マーク」及び平成 30 年 1 月より導入した「ヘルプマーク」について、公共交通機関等と連携した普及啓発を実施するとともに、バッジ、マーク等のグッズを配布（H30 年度配布実績「譲りあい感謝マーク」585 個、「ヘルプマーク」1,020 個）

□兵庫ゆずりあい駐車場の普及啓発（ユニバーサル推進課）
　障害者や難病患者、高齢者、妊産婦、傷病人などで歩行が困難な方が使用する障害者等用駐車区画の適正利用を図り、これらの方の社会参加を促進するため、協力駐車場の登録と利用証の交付を実施（協力駐車場（累計）1,833 施設・4,645 区画）

□幼児期の環境学習ネットワーク化推進事業（環境政策課）
　幼児期等の環境学習を支援するため、環境学習に取り組む幼稚園・保育所等へ専門家を派遣

□北播磨“ふるさと”情報の発信（北播磨）
　「生まれ育った北播磨」「生活し続ける北播磨」を大切に思う心を養うため、北播磨ふるさとフェスタを開催、ふるさと川柳コンテスト（応募 2,349 点）、ふるさと北播磨写真コンテスト（応募 169 点）を実施

□高齢者の消費者被害防止に向けた見守りの推進（西播磨）
　高齢者の消費者被害の防止のため、消費者団体と高校生が協働して啓発チラシを作成するなど、消費者被害に強い地域づくりを推進（配布枚数 20,000 枚）

□夢但馬応援事業の推進（但馬）
　夢但馬 2014 を契機に始まった次世代につなげる地域づくりとおもてなしによる交流の拡大に繋がる活動の取組を一過性のものとしないため、「あしたのふるさと但馬」を目指して取り組む地域づくり団体の活動を支援（助成：31 団体　5,930 千円）

専門家によるコーディネート等の支援

□地域再生アドバイザー派遣事業（地域振興課）
　過疎化・高齢化が進展する集落の活動を維持・継続するため、アドバイザーの派遣等により地域内外の合意形成や地域活動の試行的取組について支援（アドバイザー派遣回数 66 回）

□青少年愛護活動推進員の設置（青少年課）
　青少年課及び各県民局・県民センターに青少年愛護活動推進員を配置し、青少年を取り巻く良好な社会環境づくりと地域ぐるみでの青少年育成活動を効果的に実施。地域における環境浄化活動が推進され、有害役務営業への規制、図書類販売店・レンタルビデオ店における有害図書の区分陳列、カラオケハウス等における青少年の深夜立入り禁止掲示等の条例遵守の割合が向上

◆ 地域を越えた連携・交流を促進

地域相互の連携を深め、補完し合う関係をつくるため、地域づくり活動に関する情報の発信、交流の機会の充実に向けた取組を進めました。

兵庫県や地域に縁や関心のある人・団体とのネットワークづくりの推進

□ひょうごの元気ムラ大交流会（地域振興課）
　県政 150 周年記念事業として、特産品の販売や活動ＰＲに加え、地域活動を応援する団体も参画した活動発表会や研修会を開催

□交流を通じた地域づくり活動支援事業（地域振興課）
　地域づくり団体が、相互の情報交換や交流を行うため、全国研修交流会や地域づくりコーディネーター研修会への派遣等を実施し、団体間の交流やスキルアップに寄与

□アート de 元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業（芸術文化課）
　県内各地で開催されている地域資源を活かした芸術祭や、地域の文化力向上・まちおこしのためのアートプロジェクト等の連携を促進し、ノウハウの共有や県内外への情報発信力を強化（参画団体：９団体）。龍野アートプロジェクトの会場において、参画芸術祭の共同出品を行い、各地域の芸術祭及び開催地のＰＲを実施

□観光地魅力アップ支援事業（観光振興課）
　県内各地の観光地等への入り込みを増加させ、交流人口を拡大させることにより地域の活性化を目指すため、地域の観光資源を活かした新たな誘客促進等を支援（補助件数 11 件）

□プロから学ぶ創造力育成事業（義務教育課）
　様々な分野で世界の第一線で活躍する兵庫ゆかりのクリエーターを学校へ招聘し、中学生を対象に講話や実演を行うことで、これからの社会において、より豊かな感性を働かせ、新たなアイデアを生む力を身につける機会を支援（実施校数：113 校 参加生徒数：29,437 人）

□学校・家庭・地域の連携協力推進事業（社会教育課）
　社会教育法に基づき、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくため、地域学校協働活動を積極的に推進（地域学校協働本部の設置 36 市町 563 校 政令指定都市・中核市除く小・中学校）

□水辺の魅力アップ交流促進事業（東播磨）
　地域の小学生がため池や疏水を教材に学習し、地域の財産としての認識を高めるとともに、ふるさと意識の醸成につなげるため体験型のため池・疏水学習を推進（ため

池学習 13 校、疏水学習 10 校、ため池教育プログラム１校）
県民参加型によるアカミミガメなどの外来生物駆除対策等を支援（外来生物捕獲、防除講習会の開催１地区）

□北播磨インバウンド推進事業（北播磨）
ゴルフを主目的とした外国人旅行者を誘客し、地域体験観光や日本文化体験へと波及させる北播磨インバウンドを推進するため、事業者・商工観光団体・行政からなる兵庫・北播磨インバウンド推進会議が主体となり、誘客拡大にむけた PR 等を実施

□地域活動づくりへの支援（北播磨）
地域団体活動の活性化とふるさと意識の醸成を図るため、地域団体や高校生の創意工夫による取組を支援（支援件数 21 件）

□北播磨広域観光事業の推進（北播磨）
交流人口の拡大のため、「ハートにぐっと北播磨」をキャッチフレーズに、管内市町、商工観光団体と連携し、イベント出展や観光情報発信などの事業を展開

□中播磨地域活動交流メッセの開催（中播磨）
地域で先導的な活動を行っている様々な団体が互いの活動を知り、協働して活動するきっかけをつくるとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、団体の実践活動発表及び住民同士の交流の場となるイベントを開催

□ひめじ前どれ海の幸グレードアップ作戦（中播磨）
姫路の名物として前どれ水産物を定着させるため、観光関係者等と漁業関係者が連携し、漁協や漁業者による直売事業の活性化とイベント開催による交流人口の増加を促進

□食と農による夢前川流域の地域創生推進事業（中播磨）
夢前川流域において、食･農･観光の連携イベント等による地域活性化、健康レストラン且緩々を拠点とした交流活動支援、高齢者参画による耕作放棄地の有効活用(ハーブ育成等)

□兵庫・岡山県際交流の推進（西播磨）
兵庫・岡山県際地域の活性化を図るため、20 代後半から 30 代前半の女性をメインターゲットにした「兵庫・岡山県際じゃらん」を 10,000 部作成した他、県際地域で行われるイベントへの相互出店を実施

□西播磨魅力発信事業(ﾗｼﾞｵを活用した情報発信)「谷五郎のぐるっと西播磨暮らし」(西播磨)
西播磨地域への定住人口、交流人口の増加を図るため、ラジオ関西のパーソナリティ谷五郎氏の協力により、ラジオを通じて西播磨の魅力を県内外に情報発進

□都市部アンテナショップによる西播磨ファンづくり（西播磨）
神戸市北野地区に「西播磨ふるさと特産館」を開設し、西播磨地域の特産品を中心に販売。平成 30 年度は、開設からの来館者総数が 30 万人を突破し、1 日当たり 180 人、17 万円弱を売り上げ

□西播磨楽農大学（都市農村交流アグリツーリズム）（西播磨）
西播磨地域の山、川、海、田んぼを「キャンパス」に、野菜収穫やそば打ちなどの農林漁業体験活動を「講座」に見立てた「西播磨楽農大学」を開校し、参加者を「楽生」として登録（登録者数：749 名）し、講座を受講した回数に応じて楽位認定する

（単位発行数：251）など、継続した来訪を促し、都市農山交流を推進

□参画と協働による但馬地域ビジョン（バージョン２）の推進（但馬）
　但馬地域ビジョン（バージョン２）が目指す将来像を実現するため、但馬夢テーブル委員会を中心としたビジョンの普及啓発、実践活動を支援（実践活動数 98 回）

□まんきつ！シューベルティアーデ開催支援事業（丹波）
　丹波地域の秋の風物詩となった「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば」を一日中満喫できるよう、貸切列車・貸切バスを運行し、２つのふれあいコンサートとガラ・コンサートを巡るツアーを実施

災害に備えたネットワークの構築

□災害救援ボランティア活動支援システムの強化事業（県民生活課）
　市町社協等関係団体の連絡会議やボランティアコーディネーターの研修等、災害ボランティアに関わる主体のネットワークを強化（災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議４回開催・災害ボランティアコーディネーター養成研修２回）

2 県行政への参画と協働の推進

（１） 情報公開の推進

◆ 情報公開の推進

県民が的確な判断ができるよう、施策や各種調査データなどの情報を、様々な手段で提供しました。

□情報公開制度の運用（文書課）

公正で透明な開かれた県政を実現するため、公文書の公開、情報提供等、情報公開制度を適正に運営（請求件数 公開率(※) 4,193 件(89%）※公開率＝(全部＋部分公開)/(請求件数-取下)）

□県民情報センターでの情報公開・情報提供（文書課）

情報公開制度及び個人情報保護制度の推進、県の施策・計画・統計等の資料の閲覧サービスを実施

・県民情報センター
・地域県民情報センター（阪神南、阪神北、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路）

□収蔵資料検索・閲覧システムの構築（新規）（文書課）

公館県政資料館（歴史資料部門）において収蔵している約 10 万点の資料の目録をデータベース化し、インターネットで公開することにより、パソコン端末上での資料の検索を可能とするシステムを構築

□多様な広報媒体による広報活動（広報戦略課）

県民だよりひょうごのほか、Facebook などのＳＮＳを効果的に活用して県政情報を提供

・印刷媒体：全世帯配布広報紙「県民だよりひょうご」、「あなたの県政-ひょうご EYE-」
・電波･映像：県民情報番組「ひょうご発信！」、「こちら知事室！井戸敏三です」ほか
・そ の 他：点字広報誌「広報ひょうご」、声の広報「愛の小箱」ほか

□報道機関等への情報提供（広報戦略課）

知事の定例記者会見（週１回）により、新聞やテレビなどの報道機関を通じて情報を発信するとともに、会見の動画はインターネットでライブ・録画配信。また、県政記者クラブ等と連携し、記者レクを開催

□職員に対する広報研修の実施（広報戦略課）

広報マインドを高め、広報技術の向上を図るための職員研修を実施（計 685 名）

□広報官等外部専門人材の登用（新規）（広報戦略課）

外部専門人材として登用した広報官、メディアディレクター、編集・デザインディレクターのもと、統一コンセプトにより、県庁全体の広報力アップに向けた取組を実施

・全庁広報会議の開催（原則週１回）
・階層別の職員研修の実施
・庁内向けメールマガジンの発行（隔週）

□新たな広報手法・効果測定の導入（新規）（広報戦略課）
　地域への誇りや愛着の醸成、県内交流の促進、県外への五国の魅力発信を実施
　また、よりよい広報活動へつなげていくため、広報媒体の認知度等のインターネット調査を実施し、広報効果をできる限り客観的に把握
・兵庫五国連邦（Ｕ５Ｈ）プロモーションの実施
・「ヒョウゴアーカイブス」の開設
・インターネットを活用したアンケート調査の実施（計３回）

□県主催イベントにおける情報配慮支援事業（ユニバーサル推進課）
　聴覚障害者の社会参加促進のため、聴覚障害者が参加又は不特定多数の参加者が 300 人以上の県主催イベントで手話通訳者・要約筆記者の配置や磁気ループの設置を実施

□食の安心安全と食育審議会等の設置（生活衛生課）
　食の安全安心と食育に関する条例に基づき、学識経験者、消費者・事業者・関係団体の代表者及び公募委員により構成する審議会を年２回開催し、食の安全安心及び食育に関する推進計画に基づく施策の取組状況について公開で審議し、議事録をホームページで公表

□ひょうご住まいサポートセンターの運営（住宅政策課）
　高齢者向け住宅情報や住宅改修業者の登録情報など、住まいに関して行政が保有する情報をホームページで提供し、消費者の住宅に関する諸問題をサポート

□インターネットを活用した県民への情報発信（警察本部）
　兵庫県警察ホームページ、兵庫県警察フェイスブックページ、兵庫県警察ツイッター、ユーチューブ兵庫県警察公式チャンネルを活用し、積極的に情報発信

（２） 政策形成への参画機会確保

◆ 県行政に県民の意見・提案をつなぐ機会を積極的に確保

県民から広く意見を求める機会を確保するとともに、県民による提案が行われる仕組みを運用し、県民が県行政に提案できる多様な機会を確保しました。

□さわやか県民相談の実施（広聴課、各県民局・県民センター）
県民から寄せられる県政への意見や日常生活の諸問題等に関する相談に電話や面談で直接対応（相談件数 18,938 件）

□「さわやか提案箱」の実施（広聴課、各県民局・県民センター）
ホームページ上の専用送信フォームから県政に関する意見、提案等を受け付け、県民との対話機会を充実（受信件数 256 件）

□県民モニターを活用した広聴の推進（広聴課）
施策や事業の立案等に生かすため、インターネット上で募集した「県民モニター」の意見を聴取（登録者 2,555 人　平均回答率 74.8%）

□「21 世紀兵庫長期ビジョン」に基づく活動の促進（ビジョン課、各県民局・県民センター）
2040 年にめざす兵庫の未来像として「創造と共生の舞台・兵庫」を掲げたビジョンの実現に向け、地域の課題や解決策の共有と、具体的取組についての機会を確保

□地域夢会議の開催（ビジョン課、各県民局・県民センター）
地域ビジョンの普及と実践活動の輪を拡げることをねらいとして、県民との意見交換会を開催（開催・参加者 10 地域 10 回、970 人）

□地域ビジョン委員会の設置・運営（ビジョン課、各県民局・県民センター）
公募委員と学識経験者などによる専門委員が、地域ビジョンの推進に向け、様々な実践活動を実施

□長期ビジョン審議会の設置・運営（ビジョン課）
「兵庫 2030 年の展望」の策定に向けて、様々な観点から審議を実施

□「さわやかフォーラム、さわやかトーク」の開催（地域創生課、各県民局・県民センター）
知事と県民が気軽に語り合える場を設け、地域づくりについて幅広い意見交換を行う「さわやかフォーラム」や、地域活動グループを訪問し、現地で自由に意見交換を行う「さわやかトーク」を開催

□男女共同参画申出処理制度の運営（男女家庭課）
男女共同参画に関する県民からの申し出の窓口を設置し、申出処理委員が公平、中立な立場から対応

□県民意見提出手続（パブリック・コメント手続）の効果的な運用（県民生活課）
県民生活に密接に関わる計画や方針、条例案等を策定する際に、県民の意見を募集し、対応を公表（実施案件 26 件）

【パブリック･コメント意見提出手続を実施した計画･方針等】
・住吉川水系河川整備基本方針、石屋川水系河川整備基本方針、天上川水系河川整備基本方針

・兵庫 2030 年の展望
・暴力団排除条例の一部改正
・ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針（改定）
・「行財政運営方針」「行財政運営に関する条例の制定（骨子）
・兵庫県但馬地域における専門職大学基本構想
・ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）整備基本構想
・太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例改正の骨子
・兵庫県住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画
・第３期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」
・「ひょうご経済・雇用活性化プラン（2019～2023 年度）」
・受動喫煙の防止等に関する条例の改正について（改正骨子）
・兵庫県保健医療計画（圏域版）
・第５次兵庫県環境基本計画
・がん対策推進条例（骨子）
・「生物多様性ひょうご戦略」（改訂）
・地域安全まちづくり推進計画（第５期）
・兵庫水素社会推進構想
・兵庫県特別支援教育第三次推進計画
・第４次病院構造改革推進方策
・新・企業庁経営ビジョン（改定）
・第４期兵庫県地域福祉支援計画
・兵庫県 DV 防止・被害者保護計画
・兵庫県アルコール健康障害対策推進計画
・兵庫県環境創造型農業（人と環境にやさしい農業）推進計画（第２期）
・ひょうご・データ利活用プラン

□外国人県民共生会議の開催（国際交流課）
　外国人県民を取り巻く課題に対し、行政と外国人団体がその取組を協議する場として設置（開催回数１回）

□ひょうご農林水産ビジョンのフォローアップ（総合農政課）
　農林水産業・農山漁村施策の基本となる計画であり、県民の食と「農」に関する行動指針となる「ひょうご農林水産ビジョン」のフォローアップを実施

□「知事と神戸市民が語る集い」の開催（神戸）
　神戸市内で活動する地域団体のリーダーと知事が県政や地域課題等について意見交換を実施（自治会、婦人会、老人クラブ、神戸青年会議所）

□「県政懇話会」の開催（神戸）
　神戸市各区で地域団体の幹部等と神戸県民センター職員が、県政に係る意見交換を実施

◆ 審議会などへの県民の参画機会を拡大

審議会や委員会など県行政の政策形成にかかる審議に、県民が直接参画できる機会を確保し、審議会等にかかる情報の積極的な公開や、県民の広範なニーズの把握に努めました。

□附属機関等の委員公募の推進（県民生活課）

県が設置する附属機関等の審議に県民の意見等を反映させることを通じて、参画と協働による県行政を推進するため、委員公募を積極的に導入（実施 24 機関）

【委員公募を行った主な附属機関等】

男女共同参画審議会、長期ビジョン審議会、県民生活審議会、
地域安全まちづくり審議会、科学技術会議、障害福祉審議会、
兵庫県子ども･子育て会議、健康づくり審議会、薬事審議会、
食の安全安心と食育審議会、環境審議会、まちづくり審議会、
景観審議会、住宅審議会、県立図書館審議会　等

□審議会等の公開の推進（県民生活課）

県の政策の形成に関して調査審議する附属機関等の公開を推進（公開：51 機関）

【会議を公開した主な附属機関等】

男女共同参画審議会、長期ビジョン審議会、統計委員会、県民生活審議会、
地域安全まちづくり審議会、交通安全対策会議、公益認定等委員会、
防災会議、国民保護協議会、社会福祉審議会、障害福祉審議会、
兵庫県子ども・子育て会議、青少年愛護審議会、健康づくり審議会、
薬事審議会、食の安全安心と食育審議会、職業能力開発審議会、
農林水産政策審議会、環境審議会、環境影響評価審査会、河川審議会、
港湾審議会、まちづくり審議会、国土利用計画審議会、土地利用審査会、
景観審議会、都市計画審議会、住宅審議会、いじめ対策審議会　等

□病院運営懇話会の開催（病院局企画課）

病院運営に当たって、県民の多様な意見を求めることにより、医療ニーズの的確な反映を図るための懇話会を開催（県立病院ごとに設置）

□学校評議員制度の推進（高校教育課）

学校評議員が、学校の教育活動について地域住民などから幅広く意見を聞き、開かれた学校づくりを推進（学校評議員 956 人）

（３） 協働事業の機会確保

◆多様な公民協働の取組を展開

地域の課題解決に向けたグループ・団体・NPO 法人・大学・企業等との協働事業を展開するとともに、地域防犯などの特定分野の行政課題解決に向けて取り組む推進員の活動を支援しました。

また、県民局（センター）域ごとに取り組む地域特性（里山、ため池、芸術文化等）を活かした多彩な事業の開催や運営の中で、様々な公民協働を推進しました。

多様な主体の共催事業の推進

□ひょうご子育て応援の店（子育て支援パスポート）の普及促進（男女家庭課）

子育て世帯を社会全体で応援する取組として、店舗等事業者の協賛を得て、子育て世帯を対象とした商品割引・特典サービスを実施（会員数 95,087 世帯）

□第６次男女共同参画兵庫県率先行動計画の推進（男女家庭課）

県が男女共同参画のモデル職場となるよう行動することにより、企業や市町における取組を推進

□青少年愛護条例に基づく青少年を取り巻く社会環境の整備（青少年課）

青少年愛護条例の趣旨に則り、県民、事業者、県、市町の相互協力により、青少年の健全育成に向け、携帯電話のフィルタリング利用徹底、カラオケハウス、インターネットカフェにおける青少年の深夜立入り禁止掲示など環境整備を推進

□青少年を守り育てる県民スクラム運動の充実（青少年課）

関係団体、業界の参画を得て、効果的な青少年施策の展開方法や少年非行への対策等について協議する青少年育成スクラム会議を開催し、非行防止に向けた取組を展開（青少年スクラム会議開催 49 回）

□ひょうご性被害ケアセンター「よりそい」の運営（地域安全課）

警察に相談できない性暴力被害者の心身の負担軽減、被害の潜在化を防止するため、専用相談窓口と医療機関へのつなぎを一体的に行うセンターを運営

□「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進（交通安全室、各県民局・県民センター）

県民を交通事故から守るため、交通安全思想及び交通モラルの高揚を図るため、交通安全教室等を実施（交通安全教室 1,414 回、飲酒運転追放宣言書 2 店舗、キッズ交通保安官 166 人、出前式交通安全教育 35 回）

□県民文化普及事業の開催（芸術文化課）

県内全域に文化の裾野を拡大するため、県域文化団体が主体となり、県内各地で文化事業を展開（23 事業、参加者 41,812 人）

□がんばろう東日本・熊本！アート支援事業（芸術文化課）

被災者の心の復興や、被災芸術団体の復興を図るため、被災地における芸術文化活動や被災芸術団体との交流事業の取組を支援（４件、参加者 670 人）

□全国健康福祉祭予選会の開催（高齢政策課）
　全国健康福祉祭へ派遣する兵庫県代表選手を選考するため、全国健康福祉祭（ねんりんピック）の予選会を開催し、高齢者の交流を推進（出場者 1,093 人）

□企業との協働による健康づくり促進事業（健康増進課）
　従業員及び家族の受診促進など健康づくりに取り組もうとする企業を「健康づくりチャレンジ企業」として登録。健康情報の提供、専門人材の派遣や健康教室を実施した場合の助成等の支援を実施（登録数 1,416 件、補助金活用件数 77 件）

□健康ひょうご２１大作戦の推進（健康増進課）
　県民一人ひとりが自らの生活を見つめ直し、生活習慣の改善を図るため、県民総ぐるみで生活習慣病予防などの健康づくりを推進（参加団体の取組件数 164,516 件）

□まちの保健室による健康づくりステップアップ事業（健康増進課）
　身近な場所で気軽に健康や子育てについて相談できる「まちの保健室」を開設する兵庫県看護協会の取組を支援。運営にあたり、兵庫県理学療法士や兵庫県栄養士会との協働体制を整備（開設箇所 626 か所）

□健康づくり声かけ運動推進事業（健康増進課）
　高齢者や母子等への声かけと健康学習会の開催など健康づくり声かけ運動を展開する地域組織「愛育班」の活動を支援するため、交流会や研修会等を開催（愛育班員 1,124 人）

□悩みを抱える妊婦等の孤立防止対策（健康増進課）
　思春期保健や妊産婦を支援する関係団体が連携し、正しい性意識や性行動、妊娠・出産などのライフプランニングについて、シンポジウムの開催等により普及啓発を推進。「思いがけない妊娠ＳＯＳ」相談を開設（開設回数 91 回、相談者数 522 人）
　若者を対象としたピアサポートルームの開設（開設回数年 24 回）

□薬物乱用防止対策啓発事業（薬務課）
　地域での薬物乱用防止啓発活動を実施するため、県民に「薬物乱用防止指導員」を委嘱。ボーイスカウトやガールスカウト等とも連携し活動を展開（啓発活動回数 133 回、参加者 1,666 人）

□勤労者の骨髄等移植ドナー・環境づくり支援事業（薬務課）
　ドナー休暇制度の導入など、骨髄等ドナーが骨髄提供しやすい職場環境づくりに取り組む事業所に対して支援金を交付（交付先２事業所）

□障害者雇用・就業支援事業（労政福祉課）
　障害者の雇用事業所の開拓・確保に向けた啓発や事業主団体・関係機関との連携、障害者雇用優良事業所等の表彰を実施（優良事業所等の表彰 企業１社、勤労者３人）

□障害者雇用就業・定着拡大推進事業（労政福祉課）
　障害者就業・生活支援センターに推進員を配置し、障害者の実習、就職先の開拓や、障害特性・能力に応じた就職相談等を実施（支援による就職者 584 人）

□兵庫しごとカレッジ推進会議の運営（能力開発課）
　離転職者の早期就職を支援するため、職業能力開発実施機関や経営者団体、労働団体、行政機関等が連携し、能力開発プログラムの開発等を実施（推進会議開催２回）

□ひょうごツーリズム協会活動支援事業（観光振興課）
　民間の活力と地域の主体性を生かしながら国内外からの誘客、地域の活性化に取り組むひょうごツーリズム協会の活動を支援

□農山漁村活性化応援事業（楽農生活室）
　農林漁業体験の場や農産物特産品など様々な地域資源を有する農山漁村の魅力を生かし、都市住民等との交流に係る取組を計画・実施する NPO 法人等を支援（事業採択件数 10 件）

□おいしいごはんを食べよう県民運動の推進（楽農生活室）
　団体、企業、市町、県等が一体となった「おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会」を中核として、健康的な食生活や農業・農村の保全につながる米食を提唱する県民運動を展開

□都市農村交流資金の推進（農林経済課）
　都市と農山村の交流を促進するため、体験農園、農家民宿、農家レストラン等の農村体験交流施設の開設資金を支援（制度研修会開催 9 回）

□ふるさとの森公園の運営（豊かな森づくり課）
　地元住民と都市住民や世代間の交流の場、親子・家族のふれあいの場を提供し、人と自然が共生する豊かな森づくりを推進するため、やしろの森公園など６公園を整備し、県民の参画を得て、自然環境学習などの自主プログラムを展開（参加者 18,040 人）

□人と環境が適正な調和を保つ環境適合型社会づくり推進事業（環境政策課）
　環境月間の６月に、県民一人ひとりの地球環境問題に対する正しい理解と幅広い主体の連携による環境行動を呼びかける「地球と共生・環境の集い」を開催

□地球環境時代に適応した新しいライフスタイル展開推進事業（環境政策課）
　環境に配慮したライフスタイルへの転換を目指し、「地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会」が実施する調査・研究や省資源を目的とするキャンペーン、学習会の開催等の普及啓発活動を支援

□上山高原エコミュージアムの推進（自然環境課）
　上山高原の豊かな自然を次代へ継承するため、地域の魅力を体験する多彩なプログラムやイベントを地元住民の参画を得て実施（実施プログラム数 21 回、参加者 1,165 人）

□県民等とのパートナーシップによる道路・河川等の維持管理（ひょうごアドプト）（技術企画課、道路保全課、河川整備課、砂防課、港湾課、各県民局・県民センター）
　道路・河川・海岸などにおいて、地域団体・県・市町の３者による合意書を締結し、県民とのパートナーシップによる軽易な維持管理や美化活動を推進（団体数 376 団体）

□県民まちなみ緑化事業（都市政策課、各県民局・県民センター）
　都市の環境改善や防災性の向上を図るため、住民団体等が実施する植樹や芝生化などの緑化活動を支援（補助件数 201 件）

□緑化基金事業の推進（都市政策課、各県民局・県民センター）
　県民の緑化活動を支援するため、基金を活用し、緑化資材等を活動団体に提供（支援団体数 951 団体）

□オールドニュータウン再生モデル事業（明舞団地）の実施（住宅政策課）
　住民、行政、事業者等が連携し、地域の情報や課題等を共有するまちづくり委員会の開催、県営住宅の空き住戸を活用した学生シェアハウスの運営などの取組を実施（まちづくり委員会２回、学生シェアハウス事業入居者６人）

□播磨科学公園都市まちびらき 20 周年の検証を踏まえた今後の展開（新規）（地域整備振興課）
　播磨科学公園都市における参画と協働による魅力あるまちづくりを進めるため、住民等による地域活動を支援するとともに、住民が主体となった連続ワークショップを開催し、交流と創造の場としてコミュニティスペースを設置

□ＰＴＡによる学校、家庭、地域の連携強化事業（社会教育課）
　地域コミュニティ活性化による地域の教育力向上のため、ＰＴＡや地域団体との協働によりフォーラム等を開催（参加者約 1,500 人）

□ひょうご女性スポーツの会の活動（スポーツ振興課）
「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」への参加を促進するとともに、女性のスポーツ環境の向上、女性のスポーツ人口の増加を目指し、ひょうご女性スポーツの会の活動支援を実施（会員数 13 団体、約 9,000 人）

□「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業（スポーツ振興課）
　ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催に向けて気運醸成を図るため、県民が参加可能なオープン型の生涯スポーツ大会を開催（参加者 13,399 人）

□地域交通安全活動推進委員との協働による交通安全活動の推進（警察本部）
　公安委員会が委嘱した委員と警察が協働し、交通安全教育や違法駐車追放に向けたキャンペーン等の活動を展開（交通安全教育 2,102 回）

□業界団体との協働による高齢運転者交通安全推進事業（警察本部）
　自治体・企業・団体等の協力を得て、「高齢者運転免許自主返納サポート協議会」を設置し、交通機関の運賃割引等の措置を講じることで、運転に不安をもつ高齢者の運転免許自主返納を促進（高齢者返納数 20,270 人）

□県民局（センター）ごとに取り組まれている協働事業
神　戸　・川に親しむ多彩な活動の場整備　・湊川隧道の活用
　　・河川愛護活動の支援　・県立舞子公園の利活用の推進

阪神南　・「阪神地域障がい者就労促進大会」の開催（阪神南・北）
　　・尼崎 21 世紀の森づくりの推進　・尼崎港水質浄化プロジェクトの推進

阪神北　・阪神アグリパーク構想推進事業
　　・「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の開催
　　・北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）構想の推進

東播磨　・地域でキラリ☆走る環境学習教室　・水辺の地域づくりの推進
　　・新たなため池文化の創設（新規）　・東播磨観光ツーリズムの推進（新規）
　　・みんなでつくって食べよう「東はりま発ヘルシーメニュー」
　　・チャレンジショップ「きずな」定着支援事業

北播磨　・カムバック若者作成の展開　・「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進
・北はりま田園空間博物館交流事業の推進　・生物多様性保全活動の推進
・JR 加古川線・神戸電鉄栗生線・北条鉄道利用促進事業の推進
・孫ターンの推進　・地域包括ケアシステムの推進
・北播磨の６次産業化促進

中播磨　・JR 姫新線利便性向上対策事業
・「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業
・日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト
・銀の馬車道プロジェクトの推進

西播磨　・しゃくなげ優良個体保全と景観整備支援
・姫新線利用促進・活性化対策事業　・「宿場町平福」まちづくり
・空き家活用まちづくり　・赤穂線沿線地域活性化
・西播磨ツーリズム振興事業　・国道 29 号周辺地域活性化の推進
・高齢者口腔ケアの地域定着の推進
・「西播磨フードセレクション 2018　・西播磨ふるさとの風景づくり

但　馬　・“ 但馬はひとつ ” 夢但馬の推進　・「夢但馬」応援事業の推進
・夢但馬周遊ツーリズムの推進　・クリーン但馬１０万人大作戦の推進
・但馬地域鉄道利用の促進　・山陰海岸ジオパークの推進
・日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト
・鉱石の道プロジェクトの推進
・但馬の自然環境の保全・復活・再生に向けた総合的推進
・清流の郷づくり大作戦の実施　・コウノトリ翔る但馬まるごと感動市の開催
・但馬グリーン・ツーリズムの推進

丹　波　・丹波の森づくり 30 周年記念事業　・「丹波ファン」拡大チャレンジ事業
・地域医療を支える健康福祉ネットワーク推進事業
・地域を守れ！たんば感染症予防プロジェクト推進事業
・ＪＲ福知山線利便性向上対策推進事業　・丹波の里山づくり促進事業
・地域農業の担い手の育成・農地のフル活用推進事業

淡　路　・「御食国ブランド」の確立促進
・“ 御食国あわじ ” 島グルメフォトコンテストの実施
・あわじ全島ゴミゼロ作戦の推進
・放置竹林の拡大防止とその利用促進

指定管理者制度による施設運営の展開

□指定管理制度の効果的な運用

公の施設としての公共性、利用の公平性、運営の安定性を確保する一方で、施設の特性に応じ、民間事業者のノウハウを活用することにより、効率的で県民サービスの向上につながる質の高い管理運営が期待できる場合は、原則として公募により指定管理者を選定（30 年度公募実施 神戸生活創造センター、淡路島公園、県営住宅など６施設)

企業等との連携協定に基づく協働の推進

□男女共同参画社会づくり協定（男女家庭課）

男女共同参画社会づくりに向けた職場づくりに積極的に取り組む県内の事業者と県が協定を結び事業者の取組内容を広くＰＲする等、取組を支援（協定締結数 1,322 社・３団体）

□兵庫県子育て応援協定（男女家庭課）

連合兵庫、兵庫県経営者協会、兵庫県の三者が、少子対策･子育て支援に民間･行政が一体となって取り組むために締結した「仕事と生活の調和と子育て支援に関する三者合意」に基づき、地域の子育て家庭への応援や従業員の子育てと仕事の両立支援を進める企業・団体と協定を締結（協定締結数 1,329 社・38 団体）

□健康づくり推進サポート企業との健康づくり応援協定（健康増進課）

県と健康づくり推進サポート企業が協力して、健康教室の実施に係る相談、企画立案、講師の派遣、研修プログラムの提供等、より一層健康づくり支援メニューを充実（協定締結数 12 社）

□兵庫県地域見守りネットワーク応援協定（社会福祉課）

一人暮らし高齢者世帯などの孤独死が社会問題となる中、見守り活動や緊急事態への早期対応が課題となっていることから、各家庭を訪問し異変を発見する可能性のあるライフライン企業等と県、兵庫県社会福祉協議会、兵庫県民生委員児童委員連合会が協定を締結し、市町が取り組む見守り活動を支援（協定締結数 29 社）

推進員等の配置

地域福祉、防犯・防災、教育など特定分野の課題の解決に向けて県行政と協働して取り組む推進員を設置。その活動が円滑に進むよう活動に必要な情報提供や活動のＰＲ、他の推進員とのネットワークづくりを推進

〔推進員委嘱数〕70 職種、28,509 人

〔主な推進員〕男女共同参画推進員、青少年愛護活動推進員、くらしの安全・安心推進員、地域安全まちづくり推進員、民生・児童協力委員、地球温暖化防止活動推進員等

（４）評価・検証への参画機会確保

◆ 県行政の評価・検証への県民参画を促進

県民と政策目標を共有し、県事業への関心を高めるため、県施策の推進状況や成果等をわかりやすく公表する取組を推進するとともに、インターネットアンケート等を活用し、県民が県施策の事業評価に参画する機会を確保しました。

□外部監査人による監査（財政課）
監査結果とともに、監査結果に係る措置結果についても公表

□投資事業評価の実施と評価結果の公表（新行政課）
審査会において投資事業評価を実施し、審査結果、評価調書等を県ホームページ上で公表（96 件）

□県立試験研究機関に係る研究評価の実施と評価結果の公表（新行政課）
県立試験研究機関における内部評価に加え、外部評価委員会において研究課題の評価を実施し、評価結果を公表 (外部評価委員会開催４回)

□「21 世紀兵庫長期ビジョン」点検・評価指標の運用（ビジョン課）
「21 世紀兵庫長期ビジョン」の実現に向け、「全県ビジョンフォローアップ指標」や「兵庫のゆたかさ指標」等を活用し、評価・検証を実施

□「21 世紀兵庫長期ビジョンの推進状況報告書」の作成（ＨＰ掲載）（ビジョン課）
長期ビジョンの掲げる４つの社会像と 12 の将来像の体系に沿って、その推進状況を明らかにする報告書を作成し、ＨＰ上で公表

□「ひょうごの男女共同参画」の作成（男女家庭課）
市町等における意識醸成や取組推進のため、男女共同参画の推進状況をまとめ、ホームページ等で発信し市町へも周知

□ひょうごみどり白書の作成（総合農政課）
農林水産ビジョンの実現に向けた取組を評価・検証し、「ひょうごみどり白書」として作成・公表

□企業庁経営評価の実施と評価結果の公表（企業庁総務課）
外部委員で構成する「企業庁経営評価委員会」において、事業の経営状況等に係る指標を評価・検証（実施回数２回）し、ＨＰ上で公表

平成30年度　参画と協働関連施策一覧

（1）「地域づくり活動支援指針」に関する施策

情報提供・相談体制整備

県民の地域づくり活動への関わりを促進するとともに、取り組んでいる活動が拡充するよう、地域づくり活動に関する情報提供や活動の段階に応じた相談に対応します。

□地域づくり活動に関する情報をわかりやすく提供

■ふるさと意識醸成につながる情報発信

	ひょうごチャンネルの運営	広報戦略課
拡	「兵庫2030年の展望」の推進	ビジョン課
拡	『ひょうご五国の地域創生』の広報展開	地域創生課
新	「ひょうごe－県民制度」の推進	地域創生課
拡	高校生が考える県政150周年記念事業	高校教育課
新	県政150周年記念式典の開催	県政150周年記念事業課
新	フィナーレイベントの開催	県政150周年記念事業課
新	県政150周年記念事業の広報展開	県政150周年記念事業課
拡	県民との協働推進事業	県政150周年記念事業課
新	県政150周年みなと神戸花火大会の実施	県政150周年記念事業課
新	ひょうごのふるさと魅力発見事業（資料の作成）	義務教育課
	ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業	県民生活課
拡	ふれあいの祭典「ふれあいフェスティバルin東播磨」の開催	県民生活課・東播磨県民局地域振興室
	県政150周年を記念した情報発信事業の推進	情報企画課
	外国人県民安全安心ネットの推進（外国人県民相談・情報提供事業	国際交流課
	「あいたい兵庫2018キャンペーン」の実施	観光振興課
	農のゼロエミッションの推進	消費流通課
拡	地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業	温暖化対策課
新	明石公園・明石城　築城400周年記念プレ事業の推進	公園緑地課
	ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会の運営	住宅政策課
	兵庫県の祭り・行事調査の実施	文化財課
	ひょうごの遺産魅力発見事業	文化財課
	松帆銅鐸等埋蔵文化財を活用した地域振興への支援	文化財課
	「あにあん倶楽部」での阪神南の情報発信	阪神南県民センター県民交流室
拡	阪神アグリパーク構想推進事業	阪神北県民局阪神農林振興事務所
	東播磨観光ツーリズムの推進	東播磨県民局地域振興室
	北播磨移住促進事業の推進	北播磨県民局県民交流室
拡	日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト	中播磨県民センター県民交流室
新	「思わず行きたくなる中はりま」誘客促進事業	中播磨県民センター県民交流室
	銀の馬車道プロジェクトの推進	中播磨県民センター県民交流室
	「宿場町平福」まちづくり	西播磨県民局総務企画室、中播磨県民センター姫路土木事務所
拡	「但馬で働こう」大作戦の推進	但馬県民局地域政策室
拡	夢但馬周遊ツーリズムの推進	但馬県民局地域政策室
拡	山陰海岸ジオパークの推進	但馬県民局地域政策室
新	但馬地域の近代化遺産の情報発信	但馬県民局豊岡土木事務所
	移住・環流プロジェクト推進事業	丹波県民局県民交流室
新	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム開館記念イベント開催事業	丹波県民局県民交流室

拡	観光情報の戦略的発信事業	丹波県民局県民交流室
	「淡路島文枝100選」動画の活用	淡路県民局県民交流室
新	淡路島日本遺産ロールプレイングゲーム（RPG）の開発	淡路県民局県民交流室
拡	都市住民の転入促進事業	淡路県民局洲本土木事務所

■地域づくり活動に役立つ情報提供

多自然地域アンテナショップ運営事業	地域振興課
地域づくり活動情報システム「コラボネット」による情報発信	県民生活課
のじぎくボランタリーネットの運営	県民生活課
生涯学習情報コーナーでの情報提供	県民生活課
こころ豊かな美しい兵庫をめざす県民運動の推進	県民生活課
医療ビッグデータを活用した健康づくりへの支援	健康増進課

□活動の段階に応じた幅広い相談に対応

■地域づくり活動に関する様々な相談に応じる体制の構築

	カムバックひょうご促進事業	地域創生課
	ひょうごボランタリープラザでの活動相談	県民生活課
	NPO法人の認証・認定	県民生活課
	地域生活創造情報プラザの設置・運営	県民生活課
	神戸生活創造センターの運営	県民生活課
	東播磨生活創造センターの運営	県民生活課
	丹波の森公苑の運営	県民生活課
	生涯学習情報コーナーでの情報提供	再 県民生活課
	ICTを活用した市町消費生活相談支援事業	消費生活課
	地域活動コーディネーターの設置	青少年課
	ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会の運営	再 住宅政策課
	西播磨暮らしサポートセンターの運営等	西播磨県民局県民交流室
拡	たじま暮らしの推進	但馬県民局豊岡土木事務所
	移住・環流プロジェクト推進事業	再 丹波県民局県民交流室
拡	都市住民の転入促進事業	再 淡路県民局洲本土木事務所

知識・技能の習得機会の提供

地域づくり活動への興味や関心を喚起するとともに、活動に役立つ知識・技能を習得する機会を提供します。

□地域で活動するための知識や技能の学習機会を提供

■青少年の体験学習の充実

シニア世代から子育て世帯へのふるさと伝承事業	男女家庭課
「ひょうごっ子・ふるさと塾」の実施	青少年課
こどもの館子育てふれあい事業	青少年課
高等学校における消費者教育の推進	消費生活課
若者の消費者力アップ事業	消費生活課
ふるさと文化の伝承・発信サポート事業	芸術文化課
はばタンの環境学習	環境政策課

	環境体験事業の実施	義務教育課
	伝統文化の学びの充実事業	義務教育課
	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の 実施	義務教育課
	地域に活かす「トライやる・アクション」の実施	義務教育課
	自然学校の推進	義務教育課
	道徳教育推進事業の実施	義務教育課
	特別支援学校交流・体験チャレンジ事業	特別支援教育課
	高校生ふるさと貢献活動事業	高校教育課
	社会参画推進学習プログラム研究事業	高校教育課
	高等学校地域オープン講座の開設	高校教育課
拡	伝統文化研修館の活用推進	中播磨県民センター県民交流室
新	たじま子ども体験バスの運行	但馬県民局地域政策室
	“もりびと”育成事業	丹波県民局県民交流室

■多様な世代の生涯学習の充実

拡	ひょうご地域再生塾の開催	地域振興課
	文化会館等の活性化	県民生活課、北播磨・西播磨・但馬・淡路県民局
	生涯学習情報コーナーでの情報提供	再 県民生活課
	地域高齢者大学の運営	県民生活課
	いなみ野学園の運営	県民生活課
	阪神シニアカレッジの運営	県民生活課
	県立広域防災センターの運営	消防課
拡	楽農学校事業	楽農生活室
	ふるさとカムバック農業塾推進事業	農業改良課
	森林ボランティアの育成	豊かな森づくり課
	エコツーリズムバス運行支援事業	環境政策課
	ひょうご環境体験館の運営	環境政策課
	社会基盤学習の実施	技術企画課、各県民局・県民センター
	地域に学ぶ人権学習推進事業	人権教育課

■地域の魅力や課題を学ぶ取組の支援

新	地域遺産活用指針（仮称）の策定	地域遺産課
	若者等による地域資源の発掘・魅力の継承	地域遺産課
	六甲山における生物多様性保全事業の推進	神戸県民センター県民交流室
	ミュージアムロード魅力発進事業の実施	神戸県民センター県民交流室
新	県庁発祥の地再発見事業	神戸県民センター県民交流室
	神戸ジャズの歴史と魅力発進事業	神戸県民センター県民交流室
	淡山疏水の偉業にふれるツアーの実施	神戸県民センター神戸土地改良センター
	農都こうべ食農教育推進事業の実施	神戸県民センター神戸農林振興事務所
	阪神南リレーミュージアムの実施	阪神南県民センター県民交流室
	尼崎の森ファミリークラブの実施	阪神南県民センター尼崎港管理事務所
拡	「北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）」構想の推進	阪神北県民局県民交流室、宝塚土木事務所、阪神農林振興事務所
	「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の開催	阪神北県民局県民交流室
	地域ビジョン委員会シンボルプロジェクト「地域見本市」の開催	阪神北県民局総務企画室
	水辺の地域づくりの推進	東播磨県民局地域振興室
	東播磨「農」のブランド化大作戦	東播磨県民局加古川農林水産振興事務所
拡	地域活動づくりへの支援	北播磨県民局県民交流室
	来た、見た、知った！食の探検隊（バスツアー）	北播磨県民局加東健康福祉事務所
	ホントにゴミ？ゴミからお宝発見！リサイクルツアーに出かけよう	北播磨県民局県民交流室

	北はりま田園空間博物館交流事業の推進		北播磨県民局県民交流室
	孫ターンの推進		北播磨県民局県民交流室
拡	日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト	再	中播磨県民センター県民交流室
	銀の馬車道プロジェクトの推進	再	中播磨県民センター県民交流室
	西播磨環境学習の推進		西播磨県民局県民交流室
	県立高校との連携による人材育成		西播磨県民局県民交流室
	西播磨フロンティア祭2018の開催		西播磨県民局県民交流室
	「西播磨アグリフロンティアカレッジ」プロジェクト		西播磨県民局光都農林振興事務所
新	たじま子ども体験バスの運行	再	但馬県民局地域政策室
	環境学習の推進		但馬県民局地域政策室
拡	産業活性化の推進		但馬県民局地域政策室
	コウノトリと共生する地域づくりの推進		但馬県民局地域政策室
	因幡・但馬・丹後広域観光キャンペーンの推進		但馬県民局地域政策室
	ウスイロヒョウモンモドキ保護対策と交流の促進		但馬県民局地域政策室
	但馬グリーン・ツーリズムの推進		但馬県民局豊岡農林水産振興事務所
	『但馬みどりの回廊計画』の推進		但馬県民局朝来農林振興事務所
	丹波の環境パートナーシップづくり事業		丹波県民局県民交流室
新	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム開館記念イベント開催事業	再	丹波県民局県民交流室
	「丹波ファン」拡大チャレンジ事業		丹波県民局県民交流室
拡	観光情報の戦略的発信事業	再	丹波県民局県民交流室
	関西学院大学柏原スタジオの運営支援事業		丹波県民局丹波土木事務所
	学生等による地域貢献活動推進事業		丹波県民局丹波土木事務所
拡	あわじ環境未来島構想の推進		地域振興課、淡路県民局県民交流室
	日本遺産「国生みの島」推進事業		淡路県民局県民交流室
	「淡路くらしのひろば展」の開催		淡路県民局県民交流室
	「あわじ菜の花エコプロジェクト」の推進		淡路県民局県民交流室
拡	「淡路ふるさと学習副読本」、「あわじ環境未来島副読本」の活用		淡路県民局県民交流室
	淡路島の景観づくり運動の推進		淡路県民局洲本土木事務所
	「あわじ緑花スタイル」の推進		淡路県民局洲本土木事務所
	ため池交流保全の全島展開		淡路県民局洲本土地改良事務所

■地域づくり活動の実践的な知識やノウハウを学べる学習機会の確保

	子育て応援ネットの推進		男女家庭課
	いなみ野学園の運営	再	県民生活課
	阪神シニアカレッジの運営	再	県民生活課
	「参画と協働ガイドブック」を活用した県民への普及・啓発		県民生活課
	高齢者の特殊詐欺被害防止に向けた啓発事業		消費生活課
	防災リーダーの活動推進育成		消防課
	「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの実施		社会福祉課
	民生・児童協力委員活動支援事業		社会福祉課
	地域における認知症支援体制の強化（街頭キャンペーン等）		認知症対策室
	ひょうご介護サポーター研修事業		高齢政策課
	介護支援専門員への自殺予防研修の実施		いのち対策室
	いのちとこころを支える相談職員養成研修		いのち対策室
	ひょうごいのちとこころのサポーター養成事業		いのち対策室
	新規就農駅前講座等推進事業		農業経営課
	森林ボランティアの育成	再	豊かな森づくり課
新	認知症サポート商店街モデル事業		阪神北県民局宝塚健康福祉事務所
	移住・環流プロジェクト推進事業	再	丹波県民局県民交流室

活動・交流拠点確保

地域づくり活動に取り組む団体が、恒常的に活動に取り組める拠点や、住民の交流を促進する地域の「たまり場」づくりを支援します。

□身近な活動拠点や地域の「たまり場」づくりを支援

■身近なたまり場づくり支援

	子育てほっとステーション設置事業	男女家庭課
	まちの子育てひろば事業の推進	男女家庭課
	子どもの冒険ひろば事業の推進	青少年課
新	県民交流広場を活用した地域力の強化	県民生活課
	高齢者自立支援ひろば設置事業	高齢政策課
拡	職場と地域の健康づくりの環境整備事業	健康増進課
	商店街新規出店・開業等支援事業	経営商業課
拡	楽農学校事業	再 楽農生活室
	地域直売所整備促進事業	楽農生活室
	ふるさとむら活動の支援	楽農生活室
拡	空き家活用支援事業の推進	住宅政策課
拡	古民家再生促進支援事業の実施	住宅政策課
	「阪神南地域ビジョン交流プラザ」の運営	阪神南県民センター県民交流室
	ため池コウノトリプロジェクトの推進	東播磨県民局地域振興室
	空き家活用まちづくり	西播磨県民局総務企画室、中播磨県民センター姫路土木事務所
	西播磨ふるさとの風景づくり	西播磨県民局光都土地改良センター
新	丹波の里山づくり促進事業	丹波県民局丹波農林振興事務所

■生涯学習・地域づくり活動の広域的な拠点づくり

	青少年交流プラザの運営	青少年課
	生活創造センター構想の推進	県民生活課
	宝塚健康福祉事務所・阪神シニアカレッジの整備	県民生活課、社会福祉課
	文化会館等の活性化	再 県民生活課、北播磨・西播磨・但馬・淡路県民局
	神戸生活創造センターの運営	再 県民生活課
	東播磨生活創造センターの運営	再 県民生活課
	文化会館等の運営	県民生活課
	丹波の森公苑の運営	再 県民生活課
	嬉野台生涯教育センターの運営	県民生活課
新	但馬文教府の機能強化	県民生活課
新	生活創造センター等における地域づくり活動の推進	県民生活課
新	いなみ野学園50周年プレ事業の実施	県民生活課
	ひょうごボランタリープラザの運営	県民生活課
拡	兵庫陶芸美術館の運営	芸術文化課
	芸術文化センターの運営	芸術文化課
拡	ピッコロシアターの運営	芸術文化課
	原田の森ギャラリーの運営	芸術文化課
	横尾忠則現代美術館の運営	芸術文化課
	人と防災未来センターの運営	防災企画課
	ひょうご国際プラザの設置・運営	国際交流課

	ひょうごエコプラザの運営	環境政策課
	県立考古博物館の運営	文化財課
	県立歴史博物館の運営	文化財課
	県立美術館の運営	社会教育課

人材確保

県民が地域づくり活動を体験する機会づくり等を通じて活動への参画・協賛を促進します。また、活動団体の担い手や活動主体の育成に取り組みます。

口活動に参画・協賛する人材を確保

■地域資源を活かした多彩なプロジェクト事業への住民参画の促進

		ひょうご地域安全SOSキャッチ事業	地域安全課
新		潮芦屋まちびらき20周年事業	分譲推進課
新		ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業	スポーツ振興課
		ミュージアムロード魅力発信事業の実施	再 神戸県民センター県民交流室
新		県庁発祥の地再発見事業	再 神戸県民センター県民交流室
新		神戸ジャズの歴史と魅力発信事業	再 神戸県民センター県民交流室
		六甲山ビジターセンターの管理・運営	神戸県民センター県民交流室
		六甲山ビジターセンター環境学習プログラムの実施	神戸県民センター県民交流室
		六甲山名建築物特別公開事業の実施	神戸県民センター県民交流室
		川に親しむ多彩な活動の場整備	神戸県民センター神戸土木事務所
		河川愛護活動の支援	神戸県民センター神戸土木事務所
		尼崎21世紀の森づくりの推進	阪神南県民センター尼崎港管理事務所
拡		阪神アグリパーク構想推進事業	再 阪神北県民局阪神農林振興事務所
新		東播磨観光ツーリズムの推進	再 東播磨県民局地域振興室
新		新たなため池文化の創設	東播磨県民局地域振興室
拡		地域でキラリ☆走る環境学習教室	東播磨県民局地域振興室
		シニア世代地域デビュー・交流フェスタの開催	東播磨県民局地域振興室
		水辺の地域づくりの推進	再 東播磨県民局地域振興室
		東播磨「農」のブランド化大作戦	再 東播磨県民局加古川農林水産振興事務所
		東播磨の農業経営力アップ事業	東播磨県民局加古川農林水産振興事務所
		若手農業者のステップアップ事業	東播磨県民局加古川農林水産振興事務所
		生物多様性保全活動の推進	北播磨県民局県民交流室
		JR加古川線、神戸電鉄栗生線、北条鉄道利用促進・活性化事業の推進	北播磨県民局県民交流室
		東条川疏水ネットワーク博物館構想の展開	北播磨県民局加古川流域土地改良事務所
		北播磨の6次産業化促進	北播磨県民局加東農林振興事務所
		高校生による北播磨地産地消活動の推進	北播磨県民局加東農林振興事務所
拡		日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト	再 中播磨県民センター県民交流室
		銀の馬車道プロジェクトの推進	再 中播磨県民センター県民交流室
新		「思わず行きたくなる中はりま」誘客促進事業	再 中播磨県民センター県民交流室
拡		「中はりま縁結び交流会から～家島四十四（しあわせ）の島々アイランドブリーズから」の開催	中播磨県民センター県民交流室
拡		姫新線利用促進・活性化対策事業	西播磨県民局総務企画室
		西播磨環境学習の推進	再 西播磨県民局県民交流室
		「西播磨アグリフロンティアカレッジ」プロジェクト	再 西播磨県民局光都農林振興事務所
新		日本遺産認定記念「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力推進	但馬県民局地域政策室
		環境学習の推進	再 但馬県民局地域政策室

	クリーン但馬10万人大作戦の推進	但馬県民局地域政策室
	ラムサール条約湿地の調査・保全活動等による人材の育成	但馬県民局地域政策室
拡	但馬地域鉄道利用の促進	但馬県民局地域政策室
拡	山陰海岸ジオパークの推進	再 但馬県民局地域政策室
	鉱石の道プロジェクトの推進	但馬県民局地域政策室
	但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた総合的推進	但馬県民局地域政策室
	清流の郷づくり大作戦の実施	但馬県民局豊岡土地改良センター
	コウノトリ翔る但馬まるごと感動市の開催	但馬県民局豊岡農林水産振興事務所
新	日本海マリンツーリズムの推進	但馬県民局但馬水産事務所
新	丹波の森づくり30周年記念事業	丹波県民局県民交流室
	移住・環流プロジェクト推進事業	再 丹波県民局県民交流室
	丹波の環境パートナーシップづくり事業	再 丹波県民局県民交流室
新	丹波の里山づくり促進事業	再 丹波県民局丹波農林振興事務所
拡	地域農業の担い手の育成・農地フル活用推進事業	丹波県民局丹波農林振興事務所
	淡路人形浄瑠璃の振興	淡路県民局県民交流室
	「あわじ環境未来島」島民率先行動の推進	淡路県民局県民交流室

■交流等を通じた活動のきっかけづくり支援

	「がんばる地域」交流・自立応援事業	地域振興課
	わくわく幼稚園の開設	私学教育課
	乳幼児子育て応援事業（私立幼稚園）	私学教育課
	地域ビジョン委員の設置・運営	ビジョン課、各県民局・県民センター
	地域振興事業費補助	地域振興課
	女性の就業サポート事業	男女家庭課
	地域づくり活動応援事業	県民生活課、各県民局・県民センター
	ひょうご若者被災地応援プロジェクトの実施	県民生活課
	ひょうご安全の日のつどいの実施	復興支援課
	地域相互見守りモデル事業（通称「地域となり組」）実施	社会福祉課
	わくわく保育所開設事業	こども政策課
	乳幼児子育て応援事業（民間保育所）	こども政策課
	里親制度の推進	児童課
拡	商店街支援事業の実施	経営商業課
	多面的機能支払交付金制度の推進	農地整備課
	住民参画型森林整備事業	豊かな森づくり課
	生物多様性ひょうご戦略の推進	自然環境課
新	生物多様性普及啓発推進事業	自然環境課
	「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業	スポーツ振興課
	ひったくり防止キャンペーンの実施	阪神南県民センター県民交流室
	自転車運転マナーアップキャンペーンの実施	阪神南県民センター県民交流室
	地域の見守り力アップ作戦の展開	但馬県民局地域政策室
	コウノトリの野生化推進事業	但馬県民局地域政策室
新	あわじ地域づくりプラットフォーム形成事業	淡路県民局県民交流室
	あわじ全島ゴミゼロ作戦の推進	淡路県民局県民交流室

■若者の育成、女性・シニア層の活躍促進

	男女共同参画リーダー養成講座の開催	男女家庭課
	男女共同参画推進員活動支援	男女家庭課
拡	女性の活躍推進	男女家庭課
	シニア世代から子育て世帯へのふるさと伝承事業	再 男女家庭課

拡	地域祖父母モデル事業		男女家庭課
	「ひょうご子ども・若者応援団」活動促進事業		青少年課
	「ふるさとづくり青年隊」事業		青少年課
	こころ豊かな人づくり500人委員育成事業の推進		青少年課
	いなみ野学園の運営	再	県民生活課
	阪神シニアカレッジの運営	再	県民生活課
	元気な高齢者や女性による地域安全まちづくり活動の推進		地域安全課
	老人クラブ活動強化推進事業の実施		高齢政策課
	高校生献血等推進ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ事業		薬務課
拡	ひょうご仕事と生活センター事業の推進		労政福祉課
	高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業		労政福祉課
	ものづくり体験館体験事業の実施		能力開発課
新	若手起業家支援事業		新産業課
	女性起業家支援事業		新産業課
	シニア起業家支援事業		新産業課
	「学びの農」実践活動促進事業		総合農政課
	ひょうごで輝く女性農業者の活躍促進		農業経営課
	森林ボランティアの育成	再	豊かな森づくり課
	高校生就業体験事業−インターンシップ推進プラン−の実施		高校教育課
	阪神北若い力の魅力発信		阪神北県民局県民交流室
	シニア世代地域デビュー・交流フェスタの開催	再	東播磨県民局地域振興室
	高校生による北播磨の地産地消活動の推進	再	北播磨県民局加東農林振興事務所
	県立高校との連携による人材育成	再	西播磨県民局県民交流室
	西播磨就職フェアの実施		西播磨県民局県民交流室
	「西播磨アグリフロンティアカレッジ」プロジェクト	再	西播磨県民局光都農林振興事務所
	ラムサール条約湿地の保全活動等による人材の育成	再	但馬県民局地域政策室
	“もりびと”育成事業	再	丹波県民局県民交流室
	女性の起業応援事業		丹波県民局県民交流室
	学生等による地域貢献活動推進事業	再	丹波県民局丹波土木事務所

ロ活動団体の担い手を育成

拡	ひょうご地域再生塾の開催	再	地域振興課
	男女共同参画リーダー養成講座の開催	再	男女家庭課
	ふるさとひょうご創生塾の実施		県民生活課
	生涯学習リーダーバンクの設置		県民生活課
	事業所防犯責任者設置事業		地域安全課
	防災リーダーの活動推進育成	再	消防課
拡	自主防災組織の活性化		消防課
	ボランティア振興事業		社会福祉課
	認知症の人と家族を支える地域の人材育成（キャラバン・メイト等）		認知症対策室
	みんなの声かけ運動の推進		ユニバーサル推進課
	いずみ会のリーダー養成と組織育成・活動支援		健康増進課
拡	ひょうご環境担い手サミット開催		環境政策課
	生涯学習ボランティア活動支援・推進事業の実施		社会教育課
	共生博物館地域研究員養成事業の実施		社会教育課
	篠山層群化石を活用した地域活性化を目指す人材育成システム構築事業		社会教育課
新	篠山層群恐竜・鳥類卵化石発掘調査事業		社会教育課
	自主防災組織パワーアップ事業		北播磨県民局総務企画室
	北播磨圏域認知症対策基盤整備支援事業の推進		北播磨県民局加東健康福祉事務所
	北播磨森林（もり）の担い手フォローアップ作戦		北播磨県民局加東農林振興事務所

拡	地域防災力の充実・強化	但馬県民局総務企画室
	移住・環流プロジェクト推進事業	再 丹波県民局県民交流室
	地域防災力の充実強化事業	丹波県民局県民交流室

□地域活動に取り組む多様な主体を育成

■グループ・団体・NPO等の取組支援

拡	地域運営組織法人化推進事業	地域振興課
	こころ豊かな人づくり500人委員育成事業の推進	再 青少年課
	まちづくり防犯グループの活動支援（防犯カメラ設置補助）	地域安全課
	地域安全マップ作成支援事業	地域安全課
	DV防止対策の実施	児童課、教育委員会、警察本部
拡	商店街次代の担い手支援	経営商業課
拡	商店街ご用聞き・共同宅配の実施	経営商業課
	地域団体等による藻場・干潟等の再生、創出支援事業	水大気課
	レジ袋削減対策の推進	環境整備課
	「地域ふれあいの会」による地域安全活動の推進	警察本部
	ひったくり防止キャンペーンの実施	再 阪神南県民センター県民交流室
	自転車運転マナーアップキャンペーンの実施	再 阪神南県民センター県民交流室
	夏休み！交通安全コンサートの開催	阪神南県民センター県民交流室
	廃棄物不適正処理未然防止活動の推進	阪神北県民局県民交流室
	不法投棄・不適正保管への地域一体となった対応の強化	北播磨県民局県民交流室
拡	住民主体の介護予防・介護支援推進事業	丹波県民局丹波健康福祉事務所
	廃棄物の適正処理の推進	淡路県民局県民交流室
	地域防災力の向上支援	淡路県民局総務企画室

■コミュニティビジネス等の事業化の支援

	地域おこし協力隊等起業化モデル事業	地域振興課
	コミュニティ・ビジネス等総合支援事業	労政福祉課
	高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業	再 労政福祉課

■大学の活動支援

	大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業	地域振興課
	「ひょうご子ども・若者応援団」活動促進事業	再 青少年課
	大学との連携による地域安全まちづくり活動の活性化	地域安全課
	郊外型住宅団地再生先導的支援事業	住宅政策課
	関西学院大学柏原スタジオの運営支援事業	再 丹波県民局丹波土木事務所
	学生等による地域貢献活動推進事業	再 丹波県民局丹波土木事務所

■企業等の地域貢献支援

	兵庫県子育て応援協定団体等との協働事業	男女家庭課
	企業の社会貢献活動の促進	県民生活課
	地域サポート施設の推進	高齢政策課
	企業の森づくり推進事業	豊かな森づくり課
	阪神地域障がい者就労促進大会の開催	阪神南県民センター芦屋健康福祉事務所、阪神北県民局宝塚健康福祉事務所

資金調達支援

地域づくり活動に取り組む団体の活動が安定的・継続的に展開できるよう、活動に要する資金の調達を支援します。

□活動の立ち上げと自立に向けた財政的支援

拡	地域運営組織法人化推進事業	再 地域振興課
	「がんばる地域」交流・自立応援事業	再 地域振興課
	地域振興事業費補助	再 地域振興課
	「ふるさとづくり青年隊」事業	再 青少年課
	地域づくり活動応援事業	再 県民生活課、各県民局・県民センター
新	県民交流広場を活用した地域力の強化	再 県民生活課
	県民ボランタリー活動助成（ひょうごボランタリー基金助成）	県民生活課
	中間支援活動助成（ひょうごボランタリー基金助成）	県民生活課
	地域づくり活動NPO事業助成（ひょうごボランタリー基金助成）	県民生活課
	地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業	再 温暖化対策課
	西播磨ふるさとの風景づくり	再 西播磨県民局光都土地改良センター
新	丹波の里山づくり促進事業	再 丹波県民局丹波農林振興事務所

□活動資金を生み出す仕組みづくりを支援

拡	「ふるさとひょうご寄附金」の募集	企画財政局総務課
	コミュニティ・ビジネス等総合支援事業	再 労政福祉課
	高齢者コミュニティ・ビジネス離陸応援事業	再 労政福祉課

連携支援

地域づくり活動のさらなる拡がりに向けて、多様な活動主体の新たな出会いとつながりを生み出す仕組みづくりや様々な主体をつなぐネットワークの形成に取り組みます。

□多様な主体の連携を支援

■ネットワーク会議や事業報告会を通じたつながり形成の支援

	子育て応援ネットの推進	再 男女家庭課
	ひょうご家庭応援県民運動の推進支援	男女家庭課
拡	父親の子育て参画推進事業	男女家庭課
	ひょうご子育てコミュニティ	男女家庭課
	地域活動コーディネーターの設置	再 青少年課
	こころ豊かな人づくり500人委員育成事業の推進	再 青少年課
	地域づくり活動応援事業	再 県民生活課、各県民局・県民センター
新	県民交流広場を活用した地域力の強化	再 県民生活課
	地域づくり活動情報システム「コラボネット」による情報発信	再 県民生活課
	NPOと行政の協働会議の開催	県民生活課
	こころ豊かな美しい兵庫をめざす県民運動の推進	再 県民生活課
	被災地「絆」ボランティア活動支援事業	県民生活課

	のじぎくボランタリーネットの運営	再	県民生活課
	高齢者・障害者等の情報リテラシー強化事業		消費生活課
	地域安全まちづくり推進員設置事業		地域安全課
	地域で守る！子どもの安全安心確保事業		地域安全課
	ユニバーサル社会づくり普及推進事業		ユニバーサル推進課
	ユニバーサル社会づくりの充実強化		ユニバーサル推進課
新	配慮が必要な方に関するマークの普及啓発		ユニバーサル推進課
	兵庫ゆずりあい駐車場の普及啓発		ユニバーサル推進課
拡	ひょうご環境担い手サミットの開催	再	環境政策課
拡	幼児期の環境学習ネットワーク化推進事業		環境政策課
	北播磨”ふるさと”情報の発信		北播磨県民局県民交流室
	高齢者の消費者被害防止に向けた見守りの推進		西播磨県民局県民交流室
	夢但馬応援事業の推進		但馬県民局地域政策室
	あわじ全島ゴミゼロ作戦の推進	再	淡路県民局県民交流室

■専門家によるコーディネート等の支援

	地域再生アドバイザー派遣事業		地域振興課
	青少年愛護活動推進員の設置		青少年課

□地域を越えた連携・交流を促進

■兵庫県や地域に縁や関心のある人・団体とのネットワークづくりの推進

拡	ひょうごの元気ムラ大交流会		地域振興課
拡	交流を通じた地域づくり活動支援支援事業		地域振興課
	大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業	再	地域振興課
拡	『ひょうご五国の地域創生』の広報展開	再	地域創生課
	「ひょうご子ども・若者応援団」活動促進事業	再	青少年課
拡	ふれあいの祭典「ふれあいフェスティバルin東播磨」の開催	再	県民生活課、東播磨県民局地域振興室
	ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業	再	県民生活課
	地域づくり活動情報システム「コラボネット」による情報発信	再	県民生活課
新	県民交流広場を活用した地域力の強化	再	県民生活課
拡	アートde元気ネットワークin兵庫・神戸推進事業		芸術文化課
	「あいたい兵庫2018キャンペーン」の実施	再	観光振興課
	観光地魅力アップ支援事業		観光振興課
	ふるさとむら活動の支援	再	楽農生活室
	企業の森づくり推進事業	再	豊かな森づくり課
	ひょうご環境担い手サミットの開催	再	環境政策課
拡	幼児期等の環境学習ネットワーク化推進事業	再	環境政策課
	プロから学ぶ創造力育成事業		義務教育課
	学校・家庭・地域の連携協力推進事業		社会教育課
拡	「あにあん倶楽部」での阪神南の情報発信	再	阪神南県民センター県民交流室
新	東播磨観光ツーリズムの推進	再	東播磨県民局地域振興室
	水辺の魅力アップ交流促進事業		東播磨県民局地域振興室
	ため池コウノトリプロジェクトの推進	再	東播磨県民局地域振興室
新	新たなため池文化の創設	再	東播磨県民局地域振興室
拡	北播磨インバウンド推進事業		北播磨県民局県民交流室
拡	地域活動づくりへの支援	再	北播磨県民局県民交流室
	北播磨広域観光事業の推進		北播磨県民局県民交流室

	中播磨地域活動交流メッセの開催		中播磨県民センター県民交流室
拡	ひめじ前どれ海の幸グレードアップ作戦		中播磨県民センター姫路農林水産振興事務所
拡	食と農による夢前川流域の地域創生推進事業		中播磨県民センター姫路農林水産振興事務所
	兵庫・岡山県際交流の推進		西播磨県民局県民交流室
	西播磨魅力発信事業（ラジオを活用した情報発信）「谷五郎のぐるっと西播磨くらし」		西播磨県民局県民交流室
	西播磨フロンティア祭2018の開催	再	西播磨県民局県民交流室
	都市部アンテナショップによる西播磨ファンづくり		西播磨県民局県民交流室
	西播磨楽農大学（都市農村交流アグリツーリズム）		西播磨県民局光都農林振興事務所
	参画と協働による但馬地域ビジョン（バージョン2）の推進		但馬県民局地域政策室
新	丹波の森づくり30周年記念事業	再	丹波県民局県民交流室
新	まんきつ！シューベルティアーデ開催支援事業		丹波県民局県民交流室
拡	観光情報の戦略的発信事業	再	丹波県民局県民交流室

■災害に備えたネットワークの構築

ひょうごボランタリープラザの運営	再	県民生活課
ひょうご若者被災地応援プロジェクトの実施	再	県民生活課
災害救援ボランティア活動支援システムの強化事業		県民生活課

（2）「県行政参画・協働推進計画」に関する施策

情報公開の推進

ICT等を活用し、県民の視点に立ち、きめ細かな情報をわかりやすく提供します。

口県民に分かりやすく、主体的に選択できるよう情報提供

	情報公開制度の運用		文書課
新	収蔵資料検索・閲覧システムの構築		文書課
拡	多様な広報媒体による広報活動		広報戦略課
	報道機関等への情報提供		広報戦略課
	職員に対する広報研修の実施		広報戦略課
	ひょうごチャンネルの運営	再	広報戦略課
新	広報官等外部専門人材の登用		広報戦略課
新	新たな広報手法・効果測定の導入		広報戦略課
新	県政150周年記念事業の広報展開	再	県政150周年記念事業課
	県主催イベントにおける情報配慮支援事業		ユニバーサル推進課
	食の安全安心と食育審議会等の設置		生活衛生課
	ひょうご住まいサポートセンター運営事業		住宅政策課
	インターネットを活用した県民への情報発信		警察本部

政策形成への参画機会確保

県民から意見を広く求める機会を確保するとともに、県民による提案が行われる仕組みを運用し、県民の視点に立った施策展開を図ります。

□県行政に県民の意見・提案をつなぐ機会を積極的に確保

	「さわやか県民相談」の実施		広聴課、各県民局・県民センター
	「さわやか提案箱」の実施		広聴課、各県民局・県民センター
	県民モニターを活用した広聴の推進		広聴課
	「21世紀兵庫長期ビジョン」に基づく活動の促進		ビジョン課、各県民局・県民センター
	地域夢会議の開催		ビジョン課、各県民局・県民センター
	地域ビジョン委員会の設置・運営		ビジョン課、各県民局・県民センター
	長期ビジョン審議会の設置・運営		ビジョン課
拡	「兵庫2030年の展望」の推進	再	ビジョン課
	「さわやかフォーラム、さわやかトーク」の開催		地域創生課、各県民局・県民センター
	男女共同参画申出処理制度の運営		男女家庭課
	NPOと行政の協働会議の開催	再	県民生活課
	県民意見提出手続（パブリック・コメント手続）の効果的な運用		県民生活課
	外国人県民共生会議の開催		国際交流課
	ひょうご農林水産ビジョンのフォローアップ		総合農政課
	「知事と神戸市民が語る集い」の開催		神戸県民センター県民交流室
	「県政懇話会」の開催		神戸県民センター県民交流室
拡	「北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）」構想の推進	再	阪神北県民局総務企画室、県民交流室、宝塚土木事務所、阪神農林振興事務所
	水辺の地域づくりの推進	再	東播磨県民局地域振興室
新	新たなため池文化の創設	再	東播磨県民局地域振興室

□審議会などへの県民の参画機会を拡大

附属機関等の委員公募の推進		県民生活課
審議会等の公開の推進		県民生活課
病院運営懇話会の開催		病院局企画課
学校評議員制度の推進		高校教育課

協働事業の機会確保

公民協働による事業実施、施設の維持管理など多様な協働機会の確保に努めます。

□多様な公民協働の取組を展開

■多様な主体の共催事業の推進

	多自然地域アンテナショップ運営事業	再	地域振興課
拡	県民との協働推進事業	再	県政150周年記念事業課
	ひょうご子育て応援の店（子育て支援パスポート）の普及促進		男女家庭課
	ひょうご子育てコミュニティ	再	男女家庭課
	第6次男女共同参画兵庫県率先行動計画の推進		男女家庭課
拡	青少年愛護条例に基づく青少年を取り巻く社会環境の整備		青少年課
	青少年を守り育てる県民スクラム運動の充実		青少年課

	「ひょうごっ子・ふるさと塾」の実施	再	青少年課
	NPOと行政の協働会議の開催	再	県民生活課
拡	ふれあいの祭典「ふれあいフェスティバルin東播磨」の開催	再	県民生活課、東播磨県民局地域振興室
	ひょうご地域安全SOSキャッチ事業	再	地域安全課
	ひょうご性被害ケアセンター「よりそい」の運営		地域安全課
	「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進		交通安全室、各県民局・県民センター
拡	県民文化普及事業の開催		芸術文化課
	がんばろう東日本・熊本！アート支援事業		芸術文化課
	全国健康福祉祭予選会の開催		高齢政策課
	ユニバーサル社会づくり普及推進事業	再	ユニバーサル推進課
拡	職場と地域の健康づくりの環境整備事業	再	健康増進課
	企業との協働による健康づくり促進事業		健康増進課
	健康ひょうご21大作戦の推進		健康増進課
	まちの保健室による健康づくりステップアップ事業		健康増進課
	健康づくり声かけ運動推進事業		健康増進課
	悩みを抱える妊婦等の孤立防止対策		健康増進課
	高校生献血等推進ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ事業	再	薬務課
	薬物乱用防止対策啓発事業		薬務課
	勤労者の骨髄等移植ドナー・環境づくり支援事業		薬務課
	障害者雇用・就業支援事業		労政福祉課
	障害者雇用就業・定着拡大推進事業		労政福祉課
	兵庫しごとカレッジ推進会議の運営		能力開発課
	外国人県民安全安心ネットの推進（外国人県民相談・情報提供事業）	再	国際交流課
	ひょうごツーリズム協会活動支援事業		観光振興課
	農山漁村活性化応援事業		楽農生活室
	おいしいごはんを食べよう県民運動の推進		楽農生活室
	農のゼロエミッションの推進	再	消費流通課
	都市農村交流資金の推進		農林経済課
	ふるさとの森公園の運営		豊かな森づくり課
	人と環境が適正な調和を保つ環境適合型社会づくり推進事業		環境政策課
	地球環境時代に適応した新しいライフスタイル展開推進事業		環境政策課
	上山高原エコミュージアムの推進		自然環境課
	環境体験事業の実施	再	義務教育課
	県民等とのパートナーシップによる道路・河川等の維持管理（ひょうごアドプト）		技術企画課、道路保全課、河川整備課、砂防課、港湾課、各県民局・県民センター
	県民まちなみ緑化事業		都市政策課、各県民局・県民センター
	緑化基金事業の推進		都市政策課、各県民局・県民センター
拡	オールドニュータウン再生モデル事業（明舞団地）の実施		住宅政策課
新	播磨科学公園都市まちびらき20周年の検証を踏まえた今後の展開		地域整備振興課
	学校・家庭・地域の連携協力推進事業	再	社会教育課
	PTAによる学校、家庭、地域の連携強化事業		社会教育課
新	ひょうご女性スポーツの会の活動		スポーツ振興課
	「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業		スポーツ振興課
	地域交通安全活動推進委員との協働による交通安全活動の推進		警察本部
	業界団体との協働による高齢運転者交通安全推進事業		警察本部
	川に親しむ多彩な活動の場整備	再	神戸県民センター神戸土木事務所
	湊川隧道の活用		神戸県民センター神戸土木事務所
	河川愛護活動の支援	再	神戸県民センター神戸土木事務所
	県立舞子公園の利活用の促進		神戸県民センター神戸土木事務所
	「阪神地域障がい者就労促進大会」の開催	再	阪神南県民センター芦屋健康福祉事務所、阪神北県民局宝塚健康福祉事務所
	尼崎21世紀の森づくりの推進	再	阪神南県民センター尼崎港管理事務所
	尼崎港水質浄化プロジェクト		阪神南県民センター尼崎港管理事務所

	「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の開催	再	阪神北県民局県民交流室
拡	「北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）」構想の推進	再	阪神北県民局総務企画室、県民交流室、宝塚土木事務所、阪神農林振興事務所
拡	阪神アグリパーク構想推進事業	再	阪神北県民局阪神農林振興事務所
拡	地域でキラリ☆走る環境学習教室	再	東播磨県民局地域振興室
	水辺の地域づくりの推進	再	東播磨県民局地域振興室
新	新たなため池文化の創設	再	東播磨県民局地域振興室
新	東播磨観光ツーリズムの推進	再	東播磨県民局地域振興室
	みんなでつくって食べよう「東はりま発ヘルシーメニュー」		東播磨県民局加古川健康福祉事務所
	チャレンジショップ「きずな」定着支援事業		東播磨県民局加古川健康福祉事務所
拡	カムバック若者作戦の展開		北播磨県民局県民交流室
	「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進		北播磨県民局県民交流室
	北はりま田園空間博物館交流事業の推進	再	北播磨県民局県民交流室
	生物多様性保全活動の推進	再	北播磨県民局県民交流室
	JR加古川線、神戸電鉄栗生線、北条鉄道利用促進事業の推進	再	北播磨県民局県民交流室
	孫ターンの推進	再	北播磨県民局県民交流室
	地域包括ケアシステムの推進		北播磨県民局加東健康福祉事務所
	北播磨の6次産業化促進	再	北播磨県民局加東農林振興事務所
	JR姫新線利便性向上対策事業		中播磨県民センター県民交流室
	「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業		中播磨県民センター県民交流室
拡	日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト	再	中播磨県民センター県民交流室
	銀の馬車道プロジェクトの推進	再	中播磨県民センター県民交流室
	しゃくなげ優良個体保全と景観整備支援		西播磨県民局光都農林振興事務所
拡	姫新線利用促進・活性化対策事業	再	西播磨県民局総務企画室
	「宿場町平福」まちづくり	再	西播磨県民局総務企画室、中播磨県民センター姫路土木事務所
	空き家活用まちづくり	再	西播磨県民局総務企画室、中播磨県民センター姫路土木事務所
	赤穂線沿線地域活性化		西播磨県民局県民交流室
	西播磨ツーリズム振興事業		西播磨県民局県民交流室
	国道29号周辺地域活性化の推進		西播磨県民局県民交流室
	高齢者口腔ケアの地域定着の推進		西播磨県民局龍野健康福祉事務所
	西播磨フードセレクション2018		西播磨県民局光都農林振興事務所
	西播磨ふるさとの風景づくり	再	西播磨県民局光都土地改良センター
拡	“但馬はひとつ”夢但馬の推進		但馬県民局地域政策室
	夢但馬応援事業の推進	再	但馬県民局地域政策室
拡	夢但馬周遊ツーリズムの推進	再	但馬県民局地域政策室
	クリーン但馬10万人大作戦の推進	再	但馬県民局地域政策室
拡	但馬地域鉄道利用の促進	再	但馬県民局地域政策室
拡	山陰海岸ジオパークの推進	再	但馬県民局地域政策室
	”神子畑選鉱場誕生100周年”鉱石の道再発見プロジェクト	再	但馬県民局地域政策室
	但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた総合的推進	再	但馬県民局地域政策室
	清流の郷づくり大作戦の実施	再	但馬県民局豊岡土地改良センター
	コウノトリ翔る但馬まるごと感動市の開催	再	但馬県民局豊岡農林水産振興事務所
	但馬グリーン・ツーリズムの推進	再	但馬県民局豊岡農林水産振興事務所
新	丹波の森づくり30周年記念事業	再	丹波県民局県民交流室
	「丹波ファン」拡大チャレンジ事業	再	丹波県民局県民交流室
	地域医療を支える健康福祉ネットワーク推進事業		丹波県民局丹波健康福祉事務所
	地域を守れ！たんば感染症予防プロジェクト推進事業		丹波県民局丹波健康福祉事務所
	JR福知山線利便性向上対策推進事業		丹波県民局丹波土木事務所
新	丹波の里山づくり促進事業	再	丹波県民局丹波農林振興事務所
拡	地域農業の担い手の育成・農地のフル活用推進事業	再	丹波県民局丹波農林振興事務所
	「御食国ブランド」の確立促進		淡路県民局県民交流室

“御食国あわじ”島グルメフォトコンテストの実施		淡路県民局県民交流室
あわじ全島ゴミゼロ作戦の推進	再	淡路県民局県民交流室
放置竹林の拡大防止とその利用促進		淡路県民局洲本農林水産振興事務所

■指定管理者制度による施設運営の展開

指定管理者制度の効果的な運用		新行政課

■企業等との連携協定に基づく協働の推進

ひょうご子育て応援の店（子育て支援パスポート）の普及促進	再	男女家庭課
男女共同参画社会づくり協定		男女家庭課
兵庫県子育て応援協定		男女家庭課
健康づくり推進サポート企業との健康づくり応援協定		健康増進課
兵庫県地域見守りネットワーク応援協定		社会福祉課
企業の森づくり推進事業	再	豊かな森づくり課

■推進員等の設置

男女共同参画推進員活動支援	再	男女家庭課
青少年愛護活動推進員の設置	再	青少年課
推進員等の活動への支援		県民生活課
くらしの安全・安心推進員の設置		消費生活課
地域安全まちづくり推進員設置事業	再	地域安全課
民生・児童協力委員活動支援事業	再	社会福祉課
地球温暖化防止活動の推進		温暖化対策課

評価・検証への参画機会確保

政策の評価・検証への県民の参画機会を確保し、多面的な視点での行政運営に努めます。

□県行政の評価・検証への県民参画を促進

外部監査人による監査		財政課
投資事業評価の実施と評価結果の公表		新行政課
県立試験研究機関に係る研究評価の実施と評価結果の公表		新行政課
県民モニターを活用した広聴の推進	再	広聴課
「21世紀兵庫長期ビジョン」点検・評価指標の運用		ビジョン課
「21世紀兵庫長期ビジョンの推進状況報告書」の作成(HP掲載)		ビジョン課
「ひょうごの男女共同参画」の作成		男女家庭課
男女共同参画申出処理制度の運営	再	男女家庭課
ひょうごみどり白書の作成		総合農政課
ひょうご農林水産ビジョンのフォローアップ	再	総合農政課
企業庁経営評価の実施と評価結果の公表		企業庁総務課

〈参考：県の推進体制整備に関する施策〉

県民の参画と協働の推進に関する条例の推進		県民生活課
参画・協働推進連絡会議		県民生活課
「参画と協働ガイドブック」を活用した職員への普及・啓発	再	県民生活課

平成 30 年度　参画と協働関連施策の年次報告

令和元年　月

兵庫県企画県民部県民生活局県民生活課
参画協働・ボランタリー活動支援班
〒650-8567　神戸市中央区下山手通 5-10-1
電話：078-362-3996
E-Mail：kenminseikatsu@pref.hyogo.lg.jp

資料３

これまでの県民生活審議会での検討内容の整理（案）　「多様な力が集まる“住民主体の地域づくり”の充実～参画と協働の更なる展開」提言に向けて

地域社会の課題

□地域社会運営上の課題

担い手不足、ﾘｰﾀﾞｰ・後継者不足　⇔　役員の高齢化・固定化等

活動内容のマンネリ化　⇔　同じ行事の繰り返し、参加者が毎回同じ

□地域社会の脆弱化に伴う課題

個人・家庭への支援機能(共助機能)の脆弱化(治安悪化、高齢者見守り等)

地域の活力の低下(地域の帰属意識低下、空き家の増加、人口流出等)

→ 住民主体の地域づくり　多様な主体によるきめ細かな対応、自助・共助・公助のバランス

課題解決への糸口

□各地域で活動するリーダーや多様な取組の顕在化

・自治会やまちづくり協議会等のリーダーとその経験・スキル・ノウハウ

・ＮＰＯ・中間支援組織、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｸﾞﾙｰﾌﾟ等の活動が多様化・充実

・起業、大学・学校など多様な主体の活動が展開

□市町の生涯学習・地域づくり活動支援施策の展開

生涯学習ｾﾝﾀｰ等の充実、地域包括交付金導入、職員の地域担当制等

□交流・関係人口の増大

重点方向　住民主体の地域づくりを進めるためには、地域力（課題解決力＋人材確保・養成力）強化が必要

課題解決力：

住民自らが、より良い地域づくりに向け、地域の人材や資源を生かすとともに、多様な主体と協働しながら事業を展開し、住民主体で地域を運営する力

人材確保・養成力：

地域において、担い手・リーダーとなる人材を発掘、地域の中でその人に合った活躍の場と機会を提供し、スキルアップを支援していく力

地域力を高める仕組み

※下線はゲストスピーカーの事例を踏まえた追加
□は第２回部会ゲストスピーカーのポイント

（地域コミュニティの課題解決力を高める仕組み）

・多様な主体と協働する力（団体・ＮＰＯ・企業・大学等との協働、地域間交流、アニメ等共通の関心を媒介とする参加、関係人口、行政職員の専門性の活用）

・事業を展開する力（寄附や投資が集まる仕掛け、生活支援ビジネス展開、“もうかる農業”を指向）

・情報収集・発信する力（情報誌、HP・SNS 等多様なメディアを活用する力、IT・ｱﾌﾟﾘ活用した情報共有）

・地域を持続的に運営する力(合意形成・プロセス重視により構成員の力活用、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ的自治会、自治組織の法人化)

（地域コミュニティの人材確保・養成力を高める仕組み）

・できる時にできる方法で関わる仕組み（ちょボラ・プロボノ、地域外からの参加、関心分野のみ参加できる仕組み）

・参加・スキルアップのきっかけづくり（交流機会、学習機会、活動機会、参加者への一任と経験者のﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ）

・若者等がチャレンジできる機会や雰囲気（若者に一定の役割を委ねる、若い世代の主体的な参加）

・何かしたいときに気軽に立ち寄れる拠点（拠点の充実支援）等

ふるさと意識　＝地域への愛着と誇り＋帰属意識

・多くの人が地域の魅力を知っている(自然・文化・社会体験機会、地域資源の発掘・再発見の取組)

・多くの人が地域の課題を我がこととして感じている(防災、防犯、青少年育成、環境・緑化、消費者問題、交通安全)

・人と人のつながりが豊か(信頼、互酬性の規範、緩やかなネットワーク、多様な価値観・個性の受け入れ)等

県民生活部会でのヒアリング内容の整理

検討課題：住民主体の地域づくりにおける地域運営と個人との関係

論 点 例：

①義務付けの可否　自治会とボランティアが協調して地域課題に取り組むことができる、参加や負担を人に合わせて決める形、ギブアンドテイクが起きなくてもお互い認め合うことで前に進んでいくことができる(涼風町自治会)
学生の客観的な視点や熱意、アニメ等共通の関心を媒介とした参加等も地域の活性化に有効(谷村准教授)

②住 民 代 表 性　自治会維持が困難な状況にもあり、新しい形の組織も認められる素地がある(涼風町自治会)

③法　人　制　度　〔第２回総合部会ヒアリング団体〕自治会だけでなく、協議会・ＮＰＯ等法人制度を上手く活用する事例

兵庫 2030 年の展望

（基本方針）

「すこやか兵庫」の実現

- 「未来の活力」の創出
- 「暮らしの質」の追求
- 「ダイナミックな交流・環流」

（兵庫の 2030 年の姿）

全員活躍社会
年齢・性別等に関わりなく働き続けられる環境づくり、何度でもチャレンジできる環境づくり、起業支援の充実　等

充実する「自由時間」
地域づくり活動の推進、生涯ｽﾎﾟｰﾂの先進地づくり等

未来に挑む人づくり
地域住民の参画推進、学校教育の充実、大学等の機能強化　等

安全な暮らし
地域防災力の強化、暮らしの安全確保　等

豊かな生活空間
都市機能の充実強化、多世代の混在化　等

関連施策・新たな施策イメージ

多様な主体の協働推進

・地域づくり活動応援事業　・中間支援活動助成
・地域活動コーディネーターによる支援
・専門家・アドバイザーの紹介　・参画協働フォーラム
・地域づくりネットワーク会議　・ひょうごe-県民登録制度
・地域おこし協力隊ﾈｯﾄﾜｰｸ構築　・県版地域おこし協力隊　等

事業展開の支援

・地域での起業に関する支援
ｺﾐｭﾆﾃｨ・ﾋﾞｼﾞﾈｽ等総合支援事業、高齢者ｺﾐｭﾆﾃｨ・ﾋﾞｼﾞﾈｽ離陸応援事業、女性起業家支援事業、若手起業家支援事業
・生きがいしごとサポートセンター
・地域づくり活動情報システムによる情報提供
・寄附・投資による地域づくり活動支援の推進
・大学等との連携による地域創生拠点形成支援
・「がんばる地域」交流・自立応援事業
・小規模集落企業促進事業　等

情報発信・発信支援

・地域づくり活動情報システムの運営(再掲)
・「のじぎくボランタリーネット」の運営　等

地域づくり活動に関する人材養成

・高齢者大学、大学院　・ふるさとひょうご創生塾　等

地域の持続的運営支援

・専門家・アドバイザーの紹介・地域運営組織法人化支援
・市町との連携強化・合同研修　等

ちょボラ・プロボノ等多様な関わり方提案

・参画と協働ガイドブックの活用　等

交流機会・学習機会・活動機会充実

・ふるさとひょうご創生塾・先導的な人材養成手法の検討
・各種人材養成講座の実施・参画協働フォーラム(再掲)
・地域づくりﾈｯﾄﾜｰｸ会議(再掲)・ひょうご地域再生塾
・ふるさと応援交流ｾﾝﾀｰ(仮称)　・ふるさとにぎわい拠点　等

若者チャレンジ支援

・ふるさとづくり青年隊　・若手起業家支援事業

拠点の充実支援

・県民交流広場を活用した地域力の強化
・参画と協働のガイドブック活用(再掲)

〇兵庫 2030 年の展望　〇地域創生戦略見直し

資料４

ゲストスピーカーについて

１　趣旨

参画と協働の更なる展開に向けた審議を行うため、地域力を高める仕組みづくりの一例として、次の視点でゲストスピーカーに報告を依頼

（１）若者も含めた地域住民の参加を促す機会や雰囲気づくりと人材育成

（２）NPO 団体等とも連携した利益をもたらす地域活動への展開

２　ゲストスピーカーの概要

テーマ	若い世代も活躍する地域一丸となった活動への取組み
団体名	与布土（よふど）地域自治協議会（朝来市）
報告者	与布土地域自治協議会つながりの郷部会長　馬袋 真紀

【概要】

・平成 19 年に協議会を設立。
・問題解決に向けた事業の企画立案のため、６つの部会に分けて活動中。
・「誰でもが主役になれる」しくみづくりを実施。
・多くの若者が地域づくりに参画。
・多様な主体と連携して、NPO 団体の設立に向け検討中。

６つの事業部会と目的

〇かえるの郷部会

与布土の自然を学び、学び、つなぐ活動を行う

〇ごくらくの郷部会

「よふど温泉」の周辺整備を行うなど、与布土地域の観光資源として「よふど温泉」を地域で盛り上げる

〇みのりの郷部会

集落農業者集落営農などへの取り組みについて研究し、耕作放棄地の減少や有効活用により農地環境を守り、また、地域の農作物を使った特産品の開発や販売を行う

〇はぐくみの郷部会

地域のみんなで地域の子どもたちを見守り、育てていくことで子育てを地域で支援する活動と、伝統文化・郷土歴史などの継承を行う

〇すみやすい郷部会

子どもや高齢者が安全な環境で安心して生活できるよう、地域ができる取組みについて研究・実践活動を行う

〇つながりの郷部会

地域住民相互の交流イベントを行ったり、講座や勉強会などを開催。また、各部会から委員を募り、「広報委員会」を設置し、与布土地域自治協議会の広報誌「よふど通信」の発行や、ホームページの作成を行う

〇よふど百笑村

地産地消や都市農村交流活動を中心とし、与布土地域の元気な農業の復活を目指し与布土地域自治協議会のプロジェクトチームとして平成 20 年 7 月に設立。農林水産省の農山漁村地域力発掘支援モデル事業の助成を受けながら、活動を展開し、地域自治協議会の自主財源の確保に取組み、地域の自立を目指す